平成２７年度旧富ケ丘北部会館保育所改修工事
閲覧特記事項書

１．官庁その他への手続き関係

イ）工事施工に必要な諸手続き（建築確認申請手続きを除く）、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ）本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

２．下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷町内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

３．建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

４．諸検査等について

諸検査については工事期間内に行うものとする。

５．縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（Ａ－３版二つ折り製本）３部を提出すること。

工　　事　　名	平成27年度　旧富ケ丘北部会館保育所改修工事　仕様書(参考資料)			
金　　額	一金　　円也　　(内消費税額　　円)			
構　造　規　模	鉄筋コンクリート造　旧地区集会所改修工事　　改修面積　255．53㎡			
仕　様　概　要	別紙明細のとおり			
項　　目	名　　称	金　　額		摘　　要
直接工事費				
共通仮設費				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費等				
工事価格				
改　　メ				
消　費　税				
総　合　計				

項　目　別　内　訳　表

項　　目	名　　称	金　　額	摘　　要
	直　接　工　事　費		
A.	建　築　工　事		
B・	電　気　設　備　工　事		
C・	機　械　設　備　工　事		
	合　　計		

項　目　別　内　訳　表

項　　目	名　　称	金　　額	摘　　要
A. 建築工事	直　接　工　事　費		
1	仮　設　工　事		
2	土　工　事		
3	コ　ン　ク　リ　ー　ト　工　事		
4	型　枠　工　事		
5	鉄　筋　工　事		
6	鉄　骨　工　事		
7	防　水　工　事		
8	木　工　事		
9	屋　根　工　事		
10	金　属　工　事		
11	左　官　工　事		
12	金　属　製　建　具　工　事		

項　目　別　内　訳　表

項　　目	名　　称	金　　額	摘　　要
13	木　製　建　具　工　事		
14	ガ　ラ　ス　工　事		
15	塗　装　工　事		
16	内　外　装　工　事		
17	雑　工　事		
18	解　体　工　事		
19	Ｖ　Ｏ　Ｃ　測　定		
	合　計		

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1. 仮　設　工　事						
墨　　出　　し	外壁.軒天改修	1.0	式			
養　　生	外壁.軒天改修	1.0	式			
整 理 清 掃 後 片 付 け	外壁.軒天改修	1.0	式			
外　部　仕　上　足　場	改修 脚立足場	1.0	式			
墨　　出　　し	複合改修 内部改修	1.0	式			
養　　生	複合改修 内部改修	1.0	式			
整 理 清 掃 後 片 付 け	複合改修 内部改修	1.0	式			
内　部　仕　上　足　場	改修 脚立足場	1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2.　土　工　事						
根　切　り	小規模土工	10.2	m3			
床　付　け		14.7	m2			
埋　戻　し	転用土 小規模土工	6.4	m3			
発　生　土	敷き均し	3.8	m3			
砂　利　地　業	再生切込砕石	1.5	m3			
土　工　機　械　運　搬	小規模土工	1.0	式			
小　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3. コンクリート工事						
捨てコンクリート	FC-18N/mm2 SL-15	0.7	m3			
生コンクリート	基礎.地中梁 FC-21+S3N/mm2 SL-15	5.3	m3			
生コンクリート	踏込.床版 FC-21+S3N/mm2 SL-15	2.0	m3			
生コンクリート	上部開口部塞ぎ FC-21+S3N/mm2 SL-15	0.4	m3			
コンクリート打設手間	捨てｺﾝ 人力打設	0.7	m3			
コンクリート打設手間	基礎.地中梁 ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満	5.3	m3			
コンクリート打設手間	踏込.床版 ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満	2.0	m3			
コンクリート打設手間	上部開口部塞ぎ 人力打設	0.4	m3			
ﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3/回未満		回			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4. 型　枠　工　事						
普　通　合　板　型　枠	基礎躯体	9.9	m2			
普　通　合　板　型　枠	地上軸部	2.3	m2			
打　放　合　板　型　枠	基礎躯体 B　種	3.0	m2			
打　放　合　板　型　枠	地上軸部 B　種	2.6	m2			
型　枠　運　搬　費	廃材処理･運搬費(往復) 4t車　30km程度	17.8	m2			
根廻り 打　放　し　面　補　修	B　種　ｺｰﾝ処理無し 部分目違いばらい	3.0	m2			
外壁 打　放　し　面　補　修	B　種　ｺｰﾝ処理 部分目違いばらい	2.6	m2			
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ板打込み	t=25	0.4	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5. 鉄　筋　工　事						
異　形　鉄　筋	SD-295A D-10	0.1	t			
異　形　鉄　筋	SD-295A D-13	0.8	t			
異　形　鉄　筋	SD-345 D-19	0.1	t			
異　形　鉄　筋	SD-345 D-22	0.4	t			
ス ク ラ ッ フ ゜ 控　除		1	式			
鉄 筋 加 工 組 立 費	小型工作物	1.3	t			
鉄　筋　運　搬　費	4t車 30km程度	1.3	t			
後 施 工 ア ン カ ー	床面施工 D13	11.0	本			
後 施 工 ア ン カ ー	壁面施工 D13	17.0	本			
後 施 工 ア ン カ ー	天井面施工 D13	11.0	本			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6. 鉄 骨 工 事						
H 形 鋼	SS-400 H-200×100×5.5×8	0.2	t			
H 形 鋼	SS-400 H-250×125×6×9	0.6	t			
溝 形 鋼	SS-400 [-200×70×7×10	0.2	t			
角 形 鋼 管	STKR-400 □-60×30×2.3	10.0	Kg			
角 形 鋼 管	STKR-400 □-150×100×3.2	10.0	Kg			
角 形 鋼 管	STKR-400 □-150×150×9	1.2	t			
等 辺 山 形 鋼	SS-400 L-30×30×3	10.0	Kg			
等 辺 山 形 鋼	SS-400 L-50×50×6	0.1	t			
等 辺 山 形 鋼	SS-400 L-100×100×10	10.0	Kg			
軽 量 リ ッ フ ° 溝 形 鋼	SSC-400 溶融亜鉛メッキ処理 C-100×50×20×2.3	0.2	t			
平 鋼	SS-400 FB-16×200	0.6	t			
切 板	SS-400 PL-4.5	10.0	Kg			
切 板	SS-400 PL-6.0	0.1	t			
切 板	SS-400 PL-9.0	0.1	t			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
切　　板	SS-400 PL-12.0	20.0	Kg			
切　　板	SS-400 PL-16.0	0.1	t			
切　　板	SS-400 PL-22.0	0.1	t			
縞　　鋼　　板	SS-400 PL-4.5	0.5	t			
ターンバックル	既製品　水平ブレース M-16　L1500～2000	4.0	本			
	ターンバックル.FBプレート付き					
ターンバックル	既製品　水平ブレース M-16　L2000～2500	4.0	本			
	ターンバックル.FBプレート付き					
特殊高力ボルト	(F8T)溶融亜鉛メッキ M-16×45	73.0	組			
特殊高力ボルト	(F8T)溶融亜鉛メッキ M-16×50	50.0	組			
特殊高力ボルト	(F8T)溶融亜鉛メッキ M-16×60	148.0	組			
中　　ボ　ル　ト	溶融亜鉛メッキ M-12×35	37.0	組			
構造用 アンカーボルト	ABR-400 M16　L480	24.0	本			
後施工アンカー	壁面施工 SUS製　M-12	7.0	本			
スクラップ控除	(H2)	1.0	式			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(　労　務　費　)						
工場加工組立費		3.6	t			
加　工　取　付　費	軽量形鋼	0.1	t			
副資材.消耗品費		3.7	t			
溶融亜鉛メッキ処理費		3.7	t			
鉄　骨　運　搬　費		3.7	t			
鉄　骨　建　方　費		3.7	t			
揚　重　機　費	(建方､地組用) ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 25t	1.0	式			
特殊高力ﾎﾞﾙﾄ締付け		260.0	本			
中ﾎﾞﾙﾄ締付け		36.0	本			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込み手間	間柱(階段ｻｻﾗ桁) M-16 L=400	4.0	本			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込み手間	主柱 M-16 L=500	20.0	本			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾍﾞｰｽ下 無収縮モルタル塗り	t=30　310×310	5.0	ヵ所			
ﾍﾞｰｽ下 無収縮モルタル塗り	t=30　240×110	2.0	ヵ所			
鉄骨足場	高所作業車	1.0	式			
水平安全ネット張り		1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7.　防　水　工　事						
(外部)						
外部通路立上り部 防水端部処理金物	ｱﾙﾐ製　水切りﾀｲﾌﾟ 既存防水端部防水処理含む	1.2	m			
床目地ｼｰﾙ シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 20×20	2.6	m			
笠木見切ｶﾊﾞｰ取合 シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 20×20　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材入れ	1.7	m			
(建具)						
建具廻り シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 15×10	17.4	m			
建具廻り シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 20×15	3.6	m			
(内部)						
床取合 シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 15×10	7.1	m			
床/巾木取合 シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 5×5	45.5	m			
甲板取合 シーリング	変成ｼﾘｺｰﾝ系 10×10	27.6	m			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8.　木　工　事						
下　地　材	杉 特一等 正角	0.04	m3			
下　地　材	杉 特一等 平割	0.2	m3			
造　作　材	杉 上小節 平割	0.4	m3			
上　が　り　框	(ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ オーﾏｲﾃｨ框)程度 150×90 L250+2870	1.0	ヵ所			
	単体框 材工共					
付　け　框	(ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ オーﾏｲﾃｨ框)程度 H150 L1150	1.0	ヵ所			
	付け框 材工共					
床 耐　水　ラ　ワ　ン　合　板	材工共 5.5t	5.8	m2			
床 耐　水　ラ　ワ　ン　合　板	材工共 9t	5.8	m2			
壁 ラ　ワ　ン　合　板	材工共 5.5t	32.0	m2			
防　腐　塗　装　処　理		3.5	m2			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
（大工手間）内訳						
出　入　口　枠	（片開き）	1.0	ヵ所			
出　入　口　枠	（片引き）	4.0	ヵ所			
窓　　枠	（引違い窓）	1.0	ヵ所			
窓　　枠	（Fix窓）	1.0	ヵ所			
木　建　枠	75×110	5.2	m			
木　建　枠	25×210	2.0	m			
木　建　枠	40×210	2.0	m			
木　額　縁　交　換	24×130	9.3	m			
床　見　切　縁	30×45	5.8	m			
見　切　縁	25×35	1.4	m			
見　切　縁	25×50	57.1	m			
壁　見　切　枠	25×210	2.5	m			
付　額　縁	25×100	4.6	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｶﾊﾞﾝ掛けフック用受け木	25×60	4.7	m			
床 転　ば　し　床　組	土台　90×90　@900 根太　45×40　@300	5.8	m2			
壁 木　胴　縁　下　地　組	掲示板 21×30　@360程度	32.0	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
9. 屋　根　工　事						
屋外階段屋根 ｶﾗｰ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板馳締め折板	t=0.6 山高88～90程度（働き巾600）	13.5	m2			
水　上　面　戸	(規格品)	4.3	m			
ｴﾌﾟﾛﾝ+水切鋼板	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.6　糸300程度	2.9	m			
ｹﾗﾊﾞ包み	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.6　糸170～305程度	4.5	m			
ｹﾗﾊﾞ包み	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.6　糸180程度	9.8	m			
壁際/折板 ｹﾗﾊﾞ包み	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.6　糸200程度	3.0	m			
雪　止　め	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理品 L-50×50×3	5.5	m			
軒　樋	塩ﾋﾞ製(鉄芯入)前高150	2.8	m			
自在ﾄﾞﾚｲﾝ		1.0	ヵ所			
竪　樋	(ｴﾙﾎﾞｰ5箇所付.呼び樋共) VP80A　延べ6.600	1.0	ヵ所			
ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ	(規格品)	14.9	m			
ｹﾗﾊﾞ用ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ	(規格品)	18.0	ヵ所			
小　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
10. 金　属　工　事						
(外部)						
	手摺.支柱　φ42.7×3.2 手摺子　φ21.7×1.9　@80					
鉄骨屋外階段 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=3,470 H900	1.0	箇所			
鉄骨屋外階段 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=4,740 H1150	1.0	箇所			
鉄骨屋外階段 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=3,470 H900	1.0	箇所			
鉄骨屋外階段 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=830 H1150	1.0	箇所			
鉄骨屋外階段 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=920 H1150	1.0	箇所			
廊下ラペット 階　段　手　摺　り	溶融亜鉛ﾒｯｷ処理 L=2,840+1,050 H1150	1.0	箇所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
折版取合部 アルミ庇	既製品 ﾌﾞﾗｹｯﾄ式.軒樋付き D700×L1.300	1.0	箇所			
折版部以外 アルミ庇	既製品 ﾌﾞﾗｹｯﾄ式.軒樋付き D900×L4.200	1.0	箇所			
庇取付け費		1.0	式			
軒天 軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満	6.3	m2			
	下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途					
(内部)						
壁見切縁	ｱﾙﾐ製	3.0	m			
ｸｯｼｮﾝ付きｺｰﾅｰ	(YM工業 万能ｸｯｼｮﾝｺｰﾅｰ YMCY-15程度) L500	11.0	ヵ所			
ｸｯｼｮﾝ付きｺｰﾅｰ	(YM工業 万能ｸｯｼｮﾝｺｰﾅｰ YMCY-25程度) L500	10.0	ヵ所			
間仕切 軽量鉄骨壁下地	50形 @300	6.9	m2			
間仕切 軽量鉄骨壁下地	65形 @300	50.6	m2			
間仕切 軽量鉄骨壁下地	100形 @300	3.8	m2			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ 軽量鉄骨壁下地	65形 @300	13.0	m2			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
開　口　部　補　強	扉等三方補強 50形　W　900×H2000程度	1.0	ヵ所			
開　口　部　補　強	扉等三方補強 65形　W　900×H2000程度	3.0	ヵ所			
開　口　部　補　強	扉等三方補強 65形　W1200×H2000程度	1.0	ヵ所			
開　口　部　補　強	扉等三方補強 65形　W1800×H2000程度	3.0	ヵ所			
開　口　部　補　強	窓等四方補強 65形　W1800×H　900程度	2.0	ヵ所			
開　口　部　補　強	扉等三方補強 100形　W　900×H2000程度	1.0	ヵ所			
下り壁 軽　量　鉄　骨　壁　下　地	 50形　@300	0.2	m2			
天井 軽　量　鉄　骨　天　井　下　地	19型(屋内) ふところ1.5m未満	20.6	m2			
	下地張りあり　@360 ｲﾝｻｰﾄ別途					
天井 軽　量　鉄　骨　天　井　下　地	19型(屋内) ふところ1.5m未満	51.3	m2			
	下地張りなし　@225 ｲﾝｻｰﾄ別途					
天井 軽　量　鉄　骨　天　井　下　地	19型(屋内) ふところ1.5m未満	20.3	m2			
	下地張りなし　@300 ｲﾝｻｰﾄ別途					
天　井　点　検　口	ｱﾙﾐ額縁ﾀｲﾌﾟ 600角	4.0	ヵ所			
天　井　点　検　口	ｱﾙﾐ目地ﾀｲﾌﾟ 600角	10.0	ヵ所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
天井開口部補強	点検口 600×600 ﾎﾞｰﾄ等切込み共	15.0	ヵ所			
天井開口部補強	換気扇 350×350 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	13.0	ヵ所			
天井開口部補強	照明器具 200φ ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2.0	ヵ所			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
11.　左　官　工　事						
(外部)						
床 コンクリート金鏝直仕上		12.5	m2			
踏面 コンクリート金鏝直仕上		0.7	m2			
外壁 複　層　塗　り　材　E	(ｱｸﾘﾙ系吹き付ﾀｲﾙ) 打放し面下地調整費(C-1)共	1.0	式			
	小面積 2.6m2					
建具廻り 防　水　モ　ル　タ　ル　充　填	外部	5.4	m			
(　　内　　部　　)						
既存床 モ　ル　タ　ル　薄　塗　り　補　修	(仕上材撤去部) ﾀﾀﾐ下地面	8.0	m2			
既存床 下　地　調　整　モ　ル　タ　ル　金　鏝	(仕上材撤去部) 27～35t ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ面	14.6	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
12. 金 属 製 建 具 工 事						
a. ア ル ミ 建 具		1.0	式			
d. ｽﾗｲﾃﾞﾝｸﾞｳｵｰﾙ		1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
12. 金属製建具						
a. アルミ建具						
AD-1 片開きアルミドア新設	ｼﾙﾊﾞｰ 防火設備 70 W 800×H1920	1.0	ヵ所			
取付調整費	(運搬費共)	1.0	式			
PW-1 プリーツ網戸	W 750×H1570	3.0	ヵ所			
PW-2 プリーツ網戸	W 750×H1570	2.0	ヵ所			
取付調整費	(運搬費共)	1.0	式			
b. ガーード						
FF 暖房機用ガード	サンポット SGK同等	4.0	ヶ所			
取付調整費	(運搬費共)	1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
12. 金 属 製 建 具						
d. ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｵｰﾙ						
SLW-1+SLW-1a ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ+戸袋ﾊﾟﾈﾙ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑ+ｼﾅ合板FD 5.5t 50 W6282×H2595	1.0	ヵ所			
	戸袋 W1320×H2595 ｱﾙﾐ押出型材ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ					
	ｺｰﾅｰ部直角ﾚｰﾙ 天井裏下地補強含む					
	アルミエッジ仕様					
取 付 調 整 費	(運搬費共)	1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
13. 木 製 建 具 工 事						
WD-1 片 開 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 730×H1200	1.0	ヵ所			
	ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯(ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ仕様) 附属金物一式共					
WD-2 額 入 り 片 開 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 800×H2000	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
WD-3 ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ付き 額 入 り 片 開 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 720×H2000	2.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
WD-4 額 入 り 片 引 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 900×H2000	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
WD-5 ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ付き 額 入 り 片 引 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 760×H2000	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
WD-6 額 入 り 片 引 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 680×H2000	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
WD-7 小 窓 付 き 片 引 き 木 製 ﾄﾞｱ	ﾎﾟﾘ合板張り 40 W 680×H2000	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
WW-1 引　違　い　木　製　窓	ｽﾌﾟﾙｰｽ 33　W1380×H　880	1.0	ヵ所			
	附属金物一式共					
TB-1 ト　イ　レ　フ゛　ー　ス	ﾊﾟﾈﾙ見込　40･扉見込　20 W2030×H1140	1.0	ヵ所			
	隔板　W　820×H1140(1枚) 仕切板　W　760×H1140					
	ﾎﾟﾘ合板張り 板(ｱﾙﾐｴｯｼﾞ仕様)					
	ﾄﾞｱ部　高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧 板(ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙｴｯｼﾞ仕様)					
	附属金物一式共					
WD-11,12 引き違い木製額入ドア	ﾎﾟﾘ合板　木枠、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ共 36　W1800×H1995　金物共	2.0	ヵ所			
WD-13 引き違い木製額入ドア	ﾎﾟﾘ合板　木枠、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ共 36　W1660×H1995　金物共	1.0	ヵ所			
WD-14,15 片引き木製額入ドア＋袖FIX	ﾎﾟﾘ合板　木枠、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ共 36　W1800×H1995　金物共	3.0	ヵ所			
	袖枠加工共					
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
14. ガ ラ ス 工 事						
強 化 フ ロ ー ト ガ ラ ス	4t 2.0m2以下 シーリング止め.清掃共	6.6	m2			
強 化 型 板 ガ ラ ス	4t 2.0m2以下 シーリング止め.清掃共	0.9	m2			
網 入 り 磨 板 ガ ラ ス	6.8t 特寸2.18m2以下 防火対応シール止め.清掃共	1.5	m2			
ADW-1 目 隠 し フ ィ ル ム 張 り	(エアコン屋外機置場)	0.6	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
15. 塗　装　工　事						
(　外　部　)						
軒天 E　P　－　G　塗　り	石綿珪カル板面下地調整　RB種(新規面) 改修仕様工程　B種(見上)	6.3	m2			
軒天 E　P　－　G　塗　り	石綿珪カル板面下地調整　RB種(塗り替え面) 改修仕様工程　B種(見上)	13.5	m2			
(　内　部　)						
壁 E　P　－　G　塗　り	ﾎﾞｰﾄﾞ面(継目) 改修仕様	19.1	m2			
	工程B種(一般) 下地調整RB種(新規面)					
壁 E　P　－　G　塗　り	ﾓﾙﾀﾙ面 改修仕様	42.2	m2			
	工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)					
E　P　－　G　塗　り	木部 改修仕様	3.1	m2			
	工程A種 下地調整RA種(新規面)					
E　P　－　G　塗　り	木部　糸幅300mm以下 改修仕様	157.0	m			
	工程A種 下地調整RA種(新規面)					
E　P　－　G　塗　り	木部　糸幅300mm以下 改修仕様	13.9	m			
	工程B種 下地調整RB種(塗替え面)					

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
E　P　－　G　塗　り	鉄鋼面 改修仕様	6.2	m2			
	工程B種　錆止工程C種 下地調整RB種(塗替え面)					
壁 E　P　塗　り	ﾎﾞｰﾄﾞ面(継目) 改修仕様	11.1	m2			
	工程B種(一般) 下地調整RB種(新規面)					
壁 E　P　塗　り	ﾎﾞｰﾄﾞ面 改修仕様	11.4	m2			
	工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)					
壁 E　P　塗　り	ﾓﾙﾀﾙ面 改修仕様	14.8	m2			
	工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)					
O　S　塗　り	木部　糸幅300mm以下 改修仕様素地付着物辞去(新規面)	5.8	m			
2　－　U　C　塗　装	木部(造付家具面) 工程B種　素地こしらえ共	1.9	m2			
2　－　U　C　塗　装	木部(ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞ面) 工程B種	42.6	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
16. 内 外 装 工 事						
(外 部)						
軒天 石 綿 珪 カ ル 板 張 替 え	6.0t	6.3	m2			
窯 業 系 サ イ テ゛ィ ン ク゛	小面積:2.4㎡程度 カラー塗装品 12.t	1.0	式			
(内 部)						
床 長 尺 ヒ゛ ニ ル シ ー ト 貼 り	一般床 2.0t 熱溶接工法	47.4	m2			
床 長 尺 ヒ゛ ニ ル シ ー ト 柄 替 え	一般床(履き替え居ろ替え) 2.0t 熱溶接工法	4.0	ヵ所			
床 発 泡 複 層 ビ ニ ル 床 シ ー ト	3.5t HS	168.0	m2			
床 ス タ イ ロ タ タ ミ 敷 込 み	(ｽﾁﾚﾝ床JAS A-5914相当) 30t 1帖物	7.0	枚			
床 ス タ イ ロ タ タ ミ 敷 込 み	(ｽﾁﾚﾝ床JAS A-5914相当) 30t 半帖物	1.0	枚			
床 防 湿 フ ィ ル ム 敷 き	0.15t	8.0	m2			
巾木 ヒ゛ ニ ル 巾 木	H=60	144.0	m			
壁 石 膏 ホ゛ ー ト゛ 張 り	(不燃)鋼製下地 12.5t 継目処理	38.1	m2			
壁 石 膏 ホ゛ ー ト゛ 張 り	(不燃)鋼製下地 12.5t 突付けV目地	75.7	m2			
壁 石 膏 ホ゛ ー ト゛ 張 り	(不燃)鋼製下地 12.5t 下地張り	7.5	m2			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
壁 石 膏 ﾎﾞｰﾄﾞ 張 り	(不燃)RC直張り GL工法 12.5t 継目処理	37.2	m2			
壁 石 膏 ﾎﾞｰﾄﾞ 張 り	(不燃)RC直張り GL工法 12.5t 突付けV目地	7.4	m2			
壁 石 膏 ﾎﾞｰﾄﾞ 張 り	(不燃)RC直張り GL工法 12.5t 下地張り	3.3	m2			
壁 不 燃 キッチンﾊﾟﾈﾙ 張 り	6t	7.2	m2			
壁 ﾋﾞﾆﾙ ク ロ ス 貼 り	ﾎﾞｰﾄﾞ面 ｸﾛｽ柄貼り分け含む	123.0	m2			
壁 ﾋﾞﾆﾙ ク ロ ス 貼 り	既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 ｸﾛｽ柄貼り分け含む	29.8	m2			
壁 ﾋﾞﾆﾙ ク ロ ス 貼 り	既存ﾓﾙﾀﾙ面 ｸﾛｽ柄貼り分け含む	91.8	m2			
壁 掲 示 板 ク ロ ス 貼 り	合板面 ｸﾛｽ柄貼り分け含む	32.0	m2			
既存壁 下　地　調　整	(仕上材撤去部) ﾎﾞｰﾄﾞ面	23.5	m2			
既存壁 下　地　調　整	(仕上材撤去部) ﾓﾙﾀﾙ面	55.2	m2			
準 耐 火 間 仕 切	準耐火 QFO45NP-9043同等 LGS65+PB9.5t 2枚張(両面)	14.9	m2			
同上取合 耐 火 シ ー ル 処 理	10X10	29.6	m			
壁 現 場 発 泡 ウ レ タ ン 吹 き 付	25t	11.8	m2			
間仕切内 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 充 填	(24kg/m3品) 100t	3.1	m2			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
下り壁 石　膏　ﾎﾞｰﾄﾞ　張　り	(不燃)鋼製下地 12.5t　突付けV目地	0.2	m2			
下り壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り	ﾎﾞｰﾄﾞ面	0.2	m2			
既存壁取り合い 見　　切　　縁	塩ﾋﾞ製	5.4	m			
天井 廻　　り　　縁	塩ﾋﾞｼﾞｮｲﾅｰ	158.0	m			
天井 石　膏　ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5t　継目処理	20.3	m2			
天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	(準不燃)ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ程度 9.5t	64.8	m2			
天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	(準不燃)杉杢･柾 9.5t　専用LGS下地共	4.1	m2			
既存天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ取外再設置	(準不燃)杉杢･柾 9.5t　専用LGS下地共	8.1	m2			
天井 岩綿吸音板張り	12t　下地GB-R　9.5t共	23.6	m2			
天井 不燃防カﾋﾞﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	ﾎﾞｰﾄﾞ面	20.3	m2			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
17.　雑　　工　　事						
(　　外　　部　　)						
外部通路 床　テ゛ッ　キ　敷　き	PCﾊﾟﾈﾙ t=40　下地金物共	3.1	m2			
同 上 荷 揚 げ 費 、雑 費		1.0	式			
(　　内　　部　　)						
ﾋ゜　ク　ト　サ　イ　ン　(A)	平付ﾀｲﾌﾟ　200□程度 ﾀﾓ練り付け合板(既製品)	3.0	ヵ所			
	表示　ｼｰﾄ(ﾋﾟｸﾄ)1色					
ﾋ゜　ク　ト　サ　イ　ン　(B)	平付ﾀｲﾌﾟ　200□程度 ﾀﾓ練り付け合板(既製品)	3.0	ヵ所			
	表示　ｼｰﾄ(ﾋﾟｸﾄ)1色					
室　　名　　札　　(C)	平付ﾀｲﾌﾟ　200□程度 ﾀﾓ練り付け合板(既製品)	5.0	ヵ所			
	表示　ｼｰﾄ(ﾋﾟｸﾄ)1色					
ﾋ゜　ク　ト　サ　イ　ン　(D)	平付ﾀｲﾌﾟ　150□程度 ｼｰﾄｻｲﾝ	1.0	ヵ所			
AWD-1 ﾚｰｽｶｰﾃﾝ+ﾄ゜ﾚｰﾌ゜ｶｰﾃﾝ	引き分け W4340×H2580	3.0	ヵ所			
	ｱﾙﾐｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(ﾀﾞﾌﾞﾙ)共					

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
AWD-2 ﾚｰｽｶｰﾃﾝ+ﾄﾞﾚｰﾌﾟｶｰﾃﾝ	引き分け W2570×H2580	1.0	ヵ所			
	ｱﾙﾐｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(ﾀﾞﾌﾞﾙ)共					
PM-1 ﾍﾞﾈｼｬﾝﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	W 750×H1570	1.0	ヵ所			
無地ﾎﾟｽﾋﾟﾀﾙｶｰﾃﾝ	ｱﾙﾐ曲面ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共 W2800×H1800	1.0	ヵ所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(内部.仕上ユニット工事)						
ステンレス流し台	(既製品) L1050	3.0	ヵ所			
ステンレス流し台	(既製品) L1500	1.0	ヵ所			
調理台	(既製品) L600	1.0	ヵ所			
調理台	(既製品) L450	1.0	ヵ所			
吊戸棚	(既製品) L1050×H500	1.0	ヵ所			
吊戸棚	(既製品) L1050×H700	2.0	ヵ所			
吊戸棚	(既製品) L 600×H700	1.0	ヵ所			
	下面及び側面不燃処理品					
水切棚	(既製品)SUS製 L1050(1段)	3.0	ヵ所			
水切カハ゛ー	(既製品)ｱﾙﾐ製 L1050　D60程度	2.0	ヵ所			
水切カハ゛ー	(既製品)ｱﾙﾐ製 L2550　D60程度	1.0	ヵ所			
同上 運搬・据付費		1.0	式			
消火器ボックス	完全埋め込み型 ｽﾁｰﾙ焼き付け　樹脂扉付	1.0	ヶ所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
（内部．家具工事）						
F-1 ロッカー	保育室 W1870×D510×H1100	4.0	ヵ所			
F-2a 流し台	保育室 W1500×D510×H600	2.0	ヵ所			
F-2b 流し台	保育室 W1500×D510×H650	1.0	ヵ所			
F-2c 流し台	保育室 W1500×D510×H700	1.0	ヵ所			
F-2 コップ棚	保育室 W1500×D110×H170	4.0	ヵ所			
F-3 吊戸棚	保育室 W3370×D470×H860	4.0	ヵ所			
F-4c 吊戸棚	事務室 W1080×D500×H650	1.0	ヵ所			
F-4e 吊戸棚	幼児用ﾄｲﾚ･沐浴室 W1880×D400×H650	1.0	ヵ所			
F-5 下足入れ	廊下 W2200×D270×H1060	1.0	ヵ所			
F-6 カウンター（下部下足入れ）	ﾎｰﾙ W1530×D430×H900	1.0	ヵ所			
F-7 作業台	検収･下処理室 W 395×D305×H800	1.0	ヵ所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
F-8a ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	幼児用ﾄｲﾚ･沐浴室 t20×W1760×D285	1.0	ヵ所			
F-8b ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	調乳室 t20×W1210×D300/615	1.0	ヵ所			
F-8c ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	更衣室 t20×W 710×D120	1.0	ヵ所			
F-8d ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	幼児用ﾄｲﾚ t20×W1300×D120	1.0	ヵ所			
F-8e ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	調理室 t20×W 600×D120	1.0	ヵ所			
F-8f ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	調理室 t20×W3220/690×D150/120	1.0	ヵ所			
F-8g ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	検収･下処理室 t20×W1100×D150	1.0	ヵ所			
F-8h ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	職員ﾄｲﾚ t20×W 900×D150	1.0	ヵ所			
F-8i ラ イ ニ ン ク ゛ 甲 板	職員ﾄｲﾚ t20×W1070×D150	1.0	ヵ所			
F-9 吊　　戸　　棚	幼児用ﾄｲﾚ･沐浴室 W2060×D230/350×650/950	1.0	ヵ所			
F-10 木　　製　　階　　段	廊下 W1419×D780×h495(3段)	1.0	ヵ所			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
19. 解体撤去工事						
(　　外　　部　　)						
カッター入り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	11.8	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.3	m3			
アルミサッシ撤去	引違ｻｯｼ 見込70 集積共	2.9	m2			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	0.01	m3			
シーリング撤去	集積共	6.8	m			
軒天 ﾎﾞｰﾄ撤去	一重張り 6.0t ｱｽﾍﾞｽﾄ含有 集積共	6.3	m2			
軒天 天井下地撤去	集積共	6.3	m2			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	6.8	m			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ ステンレスﾀﾗｯﾌﾟ切断撤去	W400×H1,700 部分	1.0	ヵ所			
樹木伐採抜根	機械併用 幹周25～40cm未満	4.0	本			
(　　内　　部　　)						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
床　ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ撤去	2t　一般 集積共	16.2	m2			
床　ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ撤去	2.5t 集積共	195.0	m2			
ｽﾃｰｼﾞ床　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ撤去	15t 集積共	13.2	m2			
転がし床組撤去	集積共	13.2	m2			
床　ｽﾀｲﾛﾀﾀﾐ撤去	30t　1帖物 集積共	35.0	枚			
ｽﾃﾝﾚｽ床見切撤去	40×30　L1640 集積共	1.0	ヵ所			
ｽﾃﾝﾚｽ床見切撤去	40×30　L1950 集積共	1.0	ヵ所			
上り框　ﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	60×150 集積共	4.7	m			
木製上り框撤去	120×200 集積共	6.4	m			
床木製見切縁撤去	30×30 集積共	22.0	m			
ﾋﾞﾆﾙ幅木撤去	H60 集積共	116.0	m			
カッター入り	ﾓﾙﾀﾙ面 厚さ20～30mm	40.8	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	3.0	m3			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去	人力 集積共	1.2	m3			
壁　タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共 集積共	1.9	m2			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
壁　石 膏 ﾎﾞｰﾄ 撤 去	集積共	3.1	m2			
壁　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 撤 去	集積共	98.0	m2			
天 井 岩 綿 吸 音 板 撤 去	12t　下地PB　9t共 集積共	40.2	m2			
石　綿　珪　カ　ル　板　撤　去	6t 集積共 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	29.1	m2			
化 粧 石 膏 ﾎﾞｰﾄ 撤 去	9t 集積共	48.7	m2			
天　井　下　地　撤　去	集積共	98.9	m2			
木　製　建　具　撤　去	片開き戸 集積共	15.7	m2			
木　製　建　具　撤　去	両開き戸 集積共	4.8	m2			
ｽﾗｲﾃﾞｨｸｳｫｰﾙ 撤 去	55t　戸袋.ﾚｰﾙ等含む 集積共	17.3	m2			
ト　イ　レ　フ　ﾞ　ー　ス　撤　去	40t 集積共	11.9	m2			
カ　ﾞ　ラ　ス　撤　去	4t 集積共	0.2	m2			
玄関 下　足　箱　撤　去	集積共 W2060×D400×H1050	1.0	ヵ所			
ﾎｰﾙ 下　足　箱　撤　去	集積共 W2570×D400×H900	1.0	ヵ所			
湯沸室 流　し　台　・　水　切　共	集積共 W1500×D650×H900	1.0	ヵ所			
湯沸室 カ　ﾞ　ス　キ　ャ　ヒ　ﾞ　ネ　ッ　ト	集積共 W　600×D650×H900	1.0	ヵ所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
湯沸室 食　器　棚	集積共 W 900×D550×H1800	1.0	ヵ所			
湯沸室 吊　戸　棚	集積共 W1500×D400×H650	1.0	ヵ所			
湯沸室 レンシ゛フート゛	集積共 W 600×D600×H650	1.0	ヵ所			
家具、流し等類 運　搬　費	処分費共	1.0	式			
発生材積込み	人力 ｺﾝｸﾘｰﾄ類	4.5	m3			
発生材積込み	人力 仕上材類	21.8	m3			
発生材積込み	機械 樹木類	1.9	m3			
発生材運搬	DID有り 6.0km以下 人力 有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類	3.3	m3			
発生材運搬	DID有り 6.0km以下 人力 がら類(ﾓﾙﾀﾙ.CB等)	1.2	m3			
発生材運搬	DID有り 23.0km以下 人力 木くず類	2.6	m3			
発生材運搬	DID有り 23.0km以下 人力 木くず類(塗装品.木製建具等)	2.7	m3			
発生材運搬	DID有り 14.5km以下 人力 ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.4	m3			
発生材運搬	DID有り 14.5km以下 人力 ｾﾒﾝﾄ板類(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)	0.2	m3			
発生材運搬	DID有り 14.5km以下 人力 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ﾋﾞﾆｰﾙﾀｲﾙ.ｼｰﾄ等)	1.8	m3			
発生材運搬	DID有り 14.5km以下 人力 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ等)	0.1	m3			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬	DID有り 14.5km以下 人力 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ｽﾀｲﾛﾀﾀﾐ等)	1.5	m3			
発生材運搬	DID有り 23.0km以下 人力 ｶﾞﾗｽ.陶器類	0.1	m3			
発生材運搬	DID有り 24.0km以下 機械 伐採木材類	1.9	m3			
発生材処分	中間処分場(東北黒沢建設工業) 有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類	3.3	m3			
発生材処分	中間処分場(東北黒沢建設工業) がら類(ﾓﾙﾀﾙ.CB等)	1.2	m3			
発生材処分	中間処分場(サイコー仙台港) 木くず類	2.6	m3			
発生材処分	中間処分場(ｳｯﾄﾞﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ) 木くず類	1.9	m3			
発生材処分	中間処分場(サイコー仙台港) 木くず類(塗装品.木製建具等)	2.7	m3			
発生材処分	中間処分場(サイコー仙台港) ｶﾞﾗｽ.陶器類	0.1	m3			
発生材処分	ｾﾒﾝﾄ板類(ｽﾍﾞｽﾄ含有)	0.2	t			
発生材処分	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	t			
発生材処分	最終処分場(宮城県環境事業公社) ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ﾋﾞﾆｰﾙﾀｲﾙ.ｼｰﾄ等)	2.7	t			
発生材処分	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ等)	0.2	t			
発生材処分	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ廃材(ｽﾀｲﾛﾀﾀﾐ等)	0.4	t			
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
20. ＶＯＣ測定費						
ＶＯＣ測定	5物質 2室 報告書共	1.0	式			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1. 電 灯 分 岐 設 備						
電　　線　　管	E39 ｲﾝﾍﾟｲ	1.0	m			
メ タ ル モ ー ル	A型	13.0	m			
メ タ ル モ ー ル	B型	1.0	m			
メ タ ル モ ー ル	C型	3.0	m			
ア ウ ト レ ッ ト ﾎﾞ ッ ク ス	102□x44 ｶﾊﾞｰ付	1.0	個			
ア ウ ト レ ッ ト ﾎﾞ ッ ク ス	102□x54 ｶﾊﾞｰ付	3.0	個			
メタルモール用スイッチﾎﾞｯｸｽ	A型	13.0	個			
メタルモール用スイッチﾎﾞｯｸｽ	B型	1.0	個			
メタルモール用コーナーﾎﾞｯｸｽ	A型	13.0	個			
メタルモール用コーナーﾎﾞｯｸｽ	B型	1.0	個			
メタルモール用コーナーﾎﾞｯｸｽ	C型	1.0	個			
フ ﾟ ル ホ ﾞ ッ ク ス	SS形 150□x150	1.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	SS形 250□x200	1.0	個			
電　　線	EM-IE1.6mm 管内	17.0	m			
電　　線	EM-IE5.5sq 管内	8.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6mm-2C 管内	12.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6mm-2C 天井内	121.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6mm-3C 管内	8.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6mm-3C 天井内	20.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0mm-2C 天井内	8.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET14sq 管内	3.0	m			
ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET14sq 天井内	5.0	m			
埋込スイッチ	1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2.0	個			
埋込スイッチ	1P15Ax1+PLSWx1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	6.0	個			
埋込スイッチ	1P15Ax2+PLSWx1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	3.0	個			
埋込スイッチ	1P15Ax2+PLSWx2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
人　感　セ　ン　サ　ー	DS-1-AN	3.0	個			
埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P15Ax1　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1.0	個			
電　　灯　　盤	L-A	1.0	面			
照　明　器　具　A322	FSS9-321-PH	6.0	台			
照　明　器　具　B162	FSS9-162-PH	1.0	台			
照　明　器　具　B322	FSS9-322-PH	4.0	台			
照　明　器　具　C322	FDS2-FSS6-322-PX	2.0	台			
照　明　器　具　D1	LRS1-950LM	2.0	台			
照　明　器　具　D2	LRS1-1400LM	2.0	台			
照　明　器　具　E201	FL20Wx1　GH	2.0	台			
照　明　器　具　F201	FL20Wx1　GH	1.0	台			
照　明　器　具　G15	EFD15Wx1(WP)	1.0	台			
誘　導　灯　a20	SH1-FSF20-C	2.0	台			
壁　貫　通　補　修	100φ	3.0	箇所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
防火区画貫通処理	39	1.0	箇所			
既設電線（撤去）	IV1.6mm　管内	259.0	m			
既設電線（撤去）	IV2.0mm　管内	9.0	m			
既設埋込スイッチ（撤去）	1P15Ax1	2.0	個			
既設埋込スイッチ（撤去）	1P15Ax2	1.0	個			
既設埋込スイッチ（撤去）	1P15Ax2+PLx1	3.0	個			
既設埋込スイッチ（撤去）	1P15Ax4+PLx1	1.0	個			
既設埋込スイッチ（撤去）	1P15Ax5+PLx1	1.0	個			
既設照明器具　A1(撤去)	FL40Wx1　露出型	9.0	台			
既設照明器具　A2(撤去)	FL40Wx2　露出型	1.0	台			
既設照明器具　C(撤去)	FL15Wx1　露出型	5.0	台			
(取外再取付) 既設照明器具　A1	FL40Wx1　露出型	1.0	台			
(取外再取付) 既設照明器具　B	FL110Wx1　露出型	4.0	台			
(取外再取付) 誘導灯	FL10Wx1　露出型	1.0	台			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
非　常　照　明　b9	K1-IRS4-JE9	2.0	台			
非　常　照　明　b13	K1-IRS4-JE13	2.0	台			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2. コ ン セ ン ト 設 備						
電　　線　　管	E25 ｲﾝﾍﾟｲ	1.0	m			
電　　線　　管	E39 ｲﾝﾍﾟｲ	1.0	m			
電　　線　　管	G22 露出	13.0	m			
メ タ ル モ ー ル	A型	71.0	m			
メ タ ル モ ー ル	B型	5.0	m			
メ タ ル モ ー ル	C型	3.0	m			
ア ウ ト レ ッ ト ﾎﾞ ッ ク ス	102□x54 ｶﾊﾞｰ付	1.0	個			
メタルモール用スイッチﾎﾞｯｸｽ	A型	32.0	個			
メタルモール用スイッチﾎﾞｯｸｽ	B型	5.0	個			
メタルモール用コーナーﾎﾞｯｸｽ	A型	31.0	個			
メタルモール用コーナーﾎﾞｯｸｽ	B型	3.0	個			
露 出 ﾎ ﾞ ッ ク ス	角型1方出 G22	2.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
露　出　ﾎﾞ　ｯ　ｸ　ｽ	丸型2方出　G22	1.0	個			
露　出　ﾎﾞ　ｯ　ｸ　ｽ	丸型3方出　G22	1.0	個			
ﾌﾟ　ﾙ　ﾎﾞ　ｯ　ｸ　ｽ	SS形　150□x150(WP)SUS	2.0	個			
ｹ　ー　ﾌ　ﾞ　ﾙ	EM-EEF2.0mm-2C　管内	14.0	m			
ｹ　ー　ﾌ　ﾞ　ﾙ	EM-EEF2.0mm-2C　天井内	23.0	m			
ｹ　ー　ﾌ　ﾞ　ﾙ	EM-EEF2.0mm-3C　管内	63.0	m			
ｹ　ー　ﾌ　ﾞ　ﾙ	EM-EEF2.0mm-3C　天井内	248.0	m			
埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P15Ax2　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	5.0	個			
埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P15AEx1　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2.0	個			
埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P15AEx2　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	13.0	個			
埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P20AEx1　250V　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	4.0	個			
防　水　コ　ン　セ　ン　ト	2P15AEx1	8.0	個			
リ　ー　ラ　ー　コ　ン　セ　ン　ト	2P15AEx2　引掛型　1.8m	1.0	個			
ﾌﾞ　ラ　ン　ク　フ　ﾟ　レ　ー　ト	金属製　角型	3.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
壁　貫　通　補　修	100φ	9.0	箇所			
電　線（　撤　去　）	IV2.0mm　管内	160.0	m			
既設埋込コンセント（撤去）	2P15Ax2	4.0	個			
既設埋込コンセント（撤去）	2P15AEx2	1.0	個			
既設ｶﾞｽ漏れ検知器（撤去）		1.0	個			
既設サーモスタッット（撤去）		2.0	個			
既設ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ（撤去）		2.0	個			
既設フロアーコンセント（撤去）	2P15Ax1	4.0	個			
(取外再取付) 既　設　埋　込　コ　ン　セ　ン　ト	2P15Ax2	2.0	個			
防　火　区　画　貫　通　処　理	39	1.0	箇所			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3. 動力幹線設備						
電線管	G22 露出	6.0	m			
フルホックス	SS形 500□x500(WP)SUS	1.0	個			
電線	EM-IE8sq 管内	32.0	m			
ケーフル	EM-CET60sq 天井内	13.0	m			
動力盤	P-A 屋内露出型	1.0	面			
接地工事	ED	1.0	箇所			
壁貫通補修	100φ	3.0	箇所			
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4. 動 力 分 岐 設 備						
電　　線　　管	G22 露出	6.0	m			
電　　線　　管	G36 露出	6.0	m			
電　　線　　管	G54 露出	3.0	m			
金 属 製 可 と う 電 線 管	F230(WP)	6.0	m			
金 属 製 可 と う 電 線 管	F238(WP)	8.0	m			
フ゜ル ホ゛ッ ク ス	SS形 200□x200(WP)SUS	3.0	個			
フ゜ル ホ゛ッ ク ス	SS形 350□x300(WP)SUS	1.0	個			
電　　線	EM-IE2.0mm 管内	53.0	m			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-CE5.5sq-3C 管内	11.0	m			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-CE5.5sq-3C 天井内	14.0	m			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-CET14sq 管内	11.0	m			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-CET14sq 天井内	38.0	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ケ　ー　フ゛　ル	EM-CET22sq 管内	6.0	m			
手　元　開　閉　器	MCB3P50AF/NT	3.0	個			
壁　貫　通　補　修	100φ	4.0	箇所			
電　線　管（撤　去）	G28　露出	8.0	m			
電　線　管（撤　去）	G54　露出	8.0	m			
既設ケーフ゛ル（撤去）	EM-CE5.5sq-3C　管内	8.0	m			
既設ケーフ゛ル（撤去）	EM-CET22sq　管内	8.0	m			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5. 構内交換設備						
電線管	G16　露出	6.0	m			
電線管	PF16　ｲﾝﾍﾟｲ	1.0	m			
メタルモール	A型	2.0	m			
メタルモール用スイッチボックス	A型	1.0	個			
メタルモール用コーナーボックス	A型	1.0	個			
プルボックス	SS形　200□x200(WP)SUS	1.0	個			
電話用プレート	金属製	1.0	個			
接地工事	ED	1.0	箇所			
壁貫通補修	100φ	1.0	箇所			
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6. 拡　声　設　備						
メ　タ　ル　モ　ー　ル	A型	14.0	m			
ア ウ ト レ ッ ト ボ ッ ク ス	102□x44 カバー付	1.0	個			
メタルモール用スイッチボックス	A型	7.0	個			
メタルモール用コーナーボックス	A型	7.0	個			
プ ル ボ ッ ク ス	SS形 150□x150	1.0	個			
ケ　ー　フ　ル	EM-HP1.2mm-2C 天井内	40.0	m			
ケ　ー　フ　ル	EM-HP1.2mm-3C 管内	14.0	m			
ケ　ー　フ　ル	EM-HP1.2mm-3C 天井内	28.0	m			
ア　ッ　テ　ネ　ー　タ	3W 金属プレート	8.0	個			
天 井 埋 込 ス ピ ー カ	SC4-Hi-3V0	7.0	個			
壁　貫　通　補　修	100φ	4.0	箇所			
既 設 ケ ー フ ル (撤 去)	HP1.2mm-3C 管内	25.0	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既設天井埋込ｽﾋﾟｰｶ(撤去)		2.0	個			
既設ｱｯﾃﾈｰﾀ(撤去)		3.0	個			
(取外再取付) 既設天井埋込ｽﾋﾟｰｶ		1.0	個			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7.テレヒ゛共同受信設備						
メ　タ　ル　モ　ー　ル	A型	5.0	m			
メタルモール用スイッチホ゛ックス	A型	2.0	個			
メタルモール用コーナーホ゛ックス	A型	2.0	個			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-5C-FB　管内	5.0	m			
ケ　ー　フ゛　ル	EM-5C-FB　天井内	6.0	m			
直　列　ユ　ニ　ッ　ト	端末用　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1.0	個			
フ゛ランクフ゜レート	金属製　角型	1.0	個			
既設直列ユニット(撤去)		1.0	個			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8. インターホン設備						
電線管	PF16　ｲﾝﾍﾟｲ	3.0	m			
メタルモール	A型	3.0	m			
メタルモール用スイッチボックス	A型	2.0	個			
メタルモール用コーナーボックス	A型	3.0	個			
ケーブル	EM-AE1.2mm-2C 管内	3.0	m			
ケーブル	EM-AE1.2mm-2C PF内	3.0	m			
ケーブル	EM-AE1.2mm-2C 天井内	10.0	m			
インターホン親機	AC100V	1.0	個			
インターホン増設親機		1.0	個			
ドアホン子機		1.0	個			
壁貫通補修	100φ	3.0	箇所			
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
9. 自 動 火 災 報 知 設 備						
メ　タ　ル　モ　ー　ル	A型	2.0	m			
メタルモール用コーナーボックス	A型	1.0	個			
プ　ル　ボ　ッ　ク　ス	SS形　150□x150	1.0	個			
ケ　ー　ブ　ル	EM-AE1.2mm-2C　天井内	30.0	m			
ケ　ー　ブ　ル	EM-AE1.2mm-4C　管内	2.0	m			
ケ　ー　ブ　ル	EM-AE1.2mm-4C　天井内	10.0	m			
差 動 式 スポット型 感 知 器	2種　露出型	6.0	個			
定 温 式 スポット型 感 知 器	1種　防水型	4.0	個			
壁　貫　通　補　修	100φ	7.0	箇所			
既 設 ケ ー ブ ル (撤 去)	AE1.2mm-2C　管内	20.0	m			
(撤去) 既 設 差 動 式 スポット型 感 知 器		1.0	個			
(撤去) 既 設 定 温 式 スポット型 感 知 器		3.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(取外再取付) 既設差動式スポット型感知器		3.0	個			
(取外再取付) 既　設　煙　感　知　器		1.0	個			
小　　計						

項　目　別　内　訳　表

項　　目	名　　称	金　　額	摘　　要
	直　接　工　事　費		
1	空　気　調　和　設　備　工　事		
2	換　気　設　備　工　事		
3	衛　生　器　具　設　備　工　事		
4	給　水　設　備　工　事		
5	排　水　設　備　工　事		
6	給　湯　設　備　工　事		
7	消　火　設　備　工　事		
8	ガ　ス　設　備　工　事		
9	産　廃　処　分　費		
	合　　計		

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1. 空 気 調 和 設 備 工 事						
ACP1 同時ツイン 空冷ヒートポンプパッケージ	屋内機天吊露出×2台 冷房能力14.0Kw暖房能力16.0K	2.0	組			
ACP2 住宅用マルチ 空冷ヒートポンプパッケージ	屋内機壁掛露出×2台 冷房能力5.2Kw暖房能力6.2Kw	1.0	組			
ACP3 住宅用 空冷ヒートポンプパッケージ	屋内機壁掛露出 冷房能力3.6w暖房能力4.2Kw	1.0	組			
PH1 電 機 パ ネ ル ヒ ー タ	1.0kw	2.0	台			
冷　　媒　　管	15.88Φ	41.0	m			
冷　　媒　　管	9.52Φ	74.0	m			
冷　　媒　　管	6.35Φ	33.0	m			
ド　　レ　　ン　　管	屋内一般 VP25A	8.0	m			
ド　　レ　　ン　　管	屋内一般 VP20A	13.0	m			
化 粧 塩 ビ ケ ー ス	100×70	74.0	m			
は つ り 補 修 費	100Φ-150L	2.0	個所			
高　所　作　業　車			日			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
撤　去　工　事						
温風暖房機取外し再設置	暖房能力6,370kcal/h	4.0	台			
電気パネルヒーター	500w	2.0	台			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2. 換気設備工事						
FC1 レンジフード	600タイプ 350m3/h	1.0	台			
FC2 天井換気扇	24時間換気 150Φ×140(65)m3/h	5.0	台			
FC3 天井換気扇	強弱スイッチ 230Φ×500(250)m3/h	3.0	台			
FC4 天井換気扇	150Φ×140)m3/h	4.0	台			
FC5 パイプファン	100Φ×60m3/h	1.0	台			
ベンドキャップ	深形200Φ	2.0	個			
ベンドキャップ	深形150Φ	2.0	個			
ベンドキャップ	深形100Φ	3.0	個			
AF1 自然給気口	天井埋込グリルサイレンサー ダクト200Φ用	2.0	台			
スパイラルダクト	200Φ	2.0	m			
スパイラルダクト	150Φ	20.0	m			
スパイラルダクト	100Φ	11.0	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
保　温　工　事	隠蔽 GW25 200Φ	2.0	m			
保　温　工　事	隠蔽 GW25 150Φ	7.0	m			
保　温　工　事	隠蔽 GW25 100Φ	5.0	m			
保　温　工　事	隠蔽 RW50 150Φ	1.0	m			
撤　去　工　事						
天井換気扇撤去		7.0	台			
スパイラルダクト撤去	150Φ	15.0	m			
スパイラルダクト撤去	100Φ	5.0	m			
はつり補修費	125Φ-150	4.0	個所			
はつり補修費	175Φ-150	2.0	個所			
はつり補修費	225Φ-150	2.0	個所			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
3. 衛 生 器 具 設 備						
洋 風 大 便 器	付属品一式 SC230B SH230BA	1.0	組			
幼 児 用 大 便 器	付属品一式 CS301B S300BK	2.0	組			
幼 児 用 て す り	付属品一式 YYB10P2R	3.0	組			
幼 児 用 大 便 器	付属品一式 CS300B S300BK	2.0	組			
幼 児 用 小 便 器	付属品一式 U310GY	4.0	組			
幼 児 用 マ ル チ シ ン ク	付属品一式 SKL300LMAP	2.0	組			
幼 児 用 バ ス	付属品一式 PFS1400CBN	1.0	組			
汚 物 流 し	付属品一式 SK35	1.0	組			
洗 面 器	付属品一式 L260C	1.0	組			
手 洗 器	付属品一式 L30MD	1.0	組			
手 洗 器	付属品一式 LSH870AP	1.0	組			
化 粧 鏡	耐食鏡 ≒450×600	3.0	枚			
化 粧 鏡	耐食鏡 ≒300×450	18.0	枚			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
水　　栓	TL106AQR	12.0	個			
湯水混合栓	泡沫自在　シングルレバー13A	2.0	個			
洗濯機パン	付属品一式 900×640	1.0	組			
洗濯機用水栓	TY11R	1.0	個			
撤去工事						
和風大便器撤去	ロータンク	2.0	組			
洋風大便器撤去	ロータンク	1.0	組			
小便器撤去	ハイタンク共	3.0	組			
鏡撤去		4.0	枚			
掃除用流撤去		1.0	組			
洗面器撤去		4.0	組			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
4. 給水設備						
屋外給水設備						
給水取出	32A本管～メータまで	1.0	式			
仕切弁	JIS10K コア内蔵GV32	1.0	個所			
量水器取付	32A	1.0	個			
水抜栓	32A-0.45	1.0	個			
水抜栓	25A-0.45	3.0	個			
水抜栓	20A-0.45	2.0	個			
量水器ボックス		1.0	組			
弁ボックス	VC-P	7.0	組			
埋設表示テープ		68.0	m			
地中埋設標		10.0	個所			
ポリエチレン管	埋設 PP32A	27.0	m			
ポリエチレン管	埋設 PP25A	40.0	m			
ポリエチレン管	埋設 PP20A	2.0	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土　　工　　事	根切　機械0.13m3	17.3	m3			
土　　工　　事	砂埋戻し	6.9	m3			
土　　工　　事	残土処分	6.9	m3			
土　　工　　事	埋戻　　機械0.13m	10.4	m3			
屋　内　給　水　設　備						
ポ　リ　粉　体　鋼　管	便所機械室 SGP-PB　25A	23.0	m			
ポ　リ　粉　体　鋼　管	便所機械室 SGP-PB　20A	95.0	m			
保　　温　　工　　事	屋外露出25A	14.0	m			
保　　温　　工　　事	屋外露出20A	25.0	m			
保　　温　　工　　事	屋内隠蔽25A	10.0	m			
保　　温　　工　　事	屋内隠蔽20A	69.0	m			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
はつり補修費	50Φ-150	30.0	個所			
既設管切断プラグ止め	25A	1.0	個所			
仕切弁	JIS10K コア内蔵GV20	1.0	個所			
撤去工事						
給水管撤去	25A	4.0	m			
給水管撤去	20A	14.0	m			
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
5. 排 水 設 備 工 事						
公 設 桝 入 替 工 事		1.0	式			
塩　　ビ　　桝	T-8 90L 100-150 -300	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90Y 100-150 -390	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90Y 100-150 -440	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90L 100-150 -710	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 ST 100-150 -820	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90L 100-150 -860	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90Y 100-150 -900	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90Y 100-150 -970	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	T-8 90WY 100-150 -1,050	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90L 100-150 -300	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90Y 100-150 -350	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90Y 100-150 -380	1.0	組			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
塩　　ビ　　桝	90Y 100-150 -440	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90Y 100-150 -470	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90L 100-150 -300	1.0	組			
塩　　ビ　　桝	90Y 100-150 -350	1.0	組			
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	埋設 VP100A	73.0	m			
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	埋設 VP50A	2.0	m			
土　　工　　事	根切 機械0.13m3	35.8	m3			
土　　工　　事	砂埋戻し	4.4	m3			
土　　工　　事	残土処分	4.4	m3			
土　　工　　事	埋戻　 機械0.13m	31.4	m3			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
アスファルト舗装解体復旧工事		1.0	式			
撤　去　工　事						
RC　桝　撤　去	300□	3.0	個所			
排　水　管　撤　去	埋設VP65	15.0	m			
屋　内　排　水　設　備						
床　上　掃　除　口	COA100	3.0	個			
床　上　掃　除　口	COA80	1.0	個			
床　上　掃　除　口	COA65	1.0	個			
床　上　掃　除　口	COA50	2.0	個			
間　接　排　水　口	50A　トラップ付き	1.0	個			
通　気　金　物	VC50	3.0	個			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管	便所機械室 VP100	10.0	m			
硬質塩化ビニル管	便所機械室 VP75	9.0	m			
硬質塩化ビニル管	便所機械室 VP65	4.0	m			
硬質塩化ビニル管	便所機械室 VP50	34.0	m			
耐火二層管	便所機械室 VP100	11.0	m			
耐火二層管二層管	便所機械室 VP75	15.0	m			
耐火二層管二層管	便所機械室 VP65	5.0	m			
耐火二層管二層管	便所機械室 VP50	41.0	m			
はつり補修費	100Φ-150	35.0	個所			
はつり補修費	150Φ-150	18.0	個所			
切断プラグ止め	100A	1.0	個所			
切断プラグ止め	80A	1.0	個所			
切断プラグ止め	65A	2.0	個所			

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
撤　去　工　事						
排　水　管　撤　去	鋼管100A	9.0	m			
排　水　管　撤　去	鋼管80A	5.0	m			
排　水　管　撤　去	鋼管65A	9.0	m			
排　水　管　撤　去	鋼管50A	12.0	m			
掃　除　口　類　撤　去		8.0	個			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
6. 給湯設備工事						
EHW1 電気温水器	飲料用 貯湯量35L 付属品一式	1.0	台			
EHW2 電気温水器	飲料用 水栓共 貯湯量12L 付属品一式	2.0	台			
GHW1 ガス給湯機	屋内設置形 FF式 16号 付属品一式	1.0	台			
保温付銅管	便所機械室 CUP20Φ	13.0	m			
はつり補修費	50Φ-150	2.0	個所			
はつり補修費	150Φ-150	1.0	個所			
撤去工事						
小計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
7. 消 火 設 備 工 事						
消　　火　　器	ABC10形	3.0	本			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
8. ガ ス 設 備 工 事						
既 設 管 切 断 接 続	20A	1.0	個所			
ガ　ス　コ　ッ　ク	GC20	2.0	個			
配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管 (白)	便所機械室 SGP20A	5.0	m			
は　つ　り　補　修　費	50Φ-150	3.0	個所			
小　　計						

明　　細　　書

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
9. 産 廃 処 分 費						
陶　　器　　類	サイコー 仙台港資源化センター	1.0	m3			
撤 去 材 運 搬	ダンプ2トン 24.0km以下	1.0	m3			
小　　計						

平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事

（有） 冠 設 計

特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名　平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・

2 工事場所　黒川郡富谷町富ヶ丘三丁目1-398の一部
（住居表示：黒川郡富谷町富ヶ丘三丁目１番２８号）

3 用途地域等
都市計画区域（◎ 内 ・ 外）　用途地域（ 二種中高層住居専用地域 ）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ◎ 指定なし ◎ ２２条 ）
その他の地域・地区（　　）

4 主要用途　保育所

5 敷地面積　4,295.61　㎡

6 工事の概要
既存建物：ＲＣ造２階建て
富ヶ丘北部会館各用途変更し保育所に改修
２階改修面積　255.53 ㎡
１箇天井、設備配管変更に伴う改修　一式
鉄骨階段 １箇所新設

7 その他

8 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印ものご構成する。
・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 ◎ 電気設備工事特記仕様書 ◎ 機械設備工事特記仕様書

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（平成25年版）[平成26年3月改定]」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（平成25年版）[平成26年3月改定]」（以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の＜ ＞、（ ）及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図及び当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般	①. 一般事項	◎ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ◎ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ◎ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、構造、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②. 適用基準等	◎ 建設工事執行規則（昭和39年3月宮城県規則第9号） ◎ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成25年9月1日施行） ◎ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版） ◎ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版）及び工事写真の撮り方（建築編）第２編 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	③. 概成工期	工事工期より　　日前　(1.1.2)
共通事項	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	(1.1.4) ※ 適用する（請負時請負額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤. 発生材の処理等	(1.3.8) 発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（　　） ・ 特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ◎ 再生資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
◎ コンクリート塊	東北興栄建設工業	大和町上谷子苅7-1(12.6)	
◎ アスファルトコンクリート塊	仙台港合所	富谷町上桜木2-5-1(3.0) 仙台市宮城野区蒲生2-2-1(20.1)	
◎ 建設発生木材 ﾁｯﾌﾟ、陶器類	ﾀｲﾗｰ仙台清資源ｾﾝﾀｰ	仙台市宮城野区蒲生2-2-1(20.1)	
◎ 木くず（抜根）	ｳｯﾄﾞﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ	大和町落合松坂字銀山36-1(15.7)	
・			

○その他の廃棄物（安定型）

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考

○その他の廃棄物（管理型）

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、ﾄﾞﾗｲｳｫｰﾙﾗｲﾅｰ、ｾﾒﾝﾄ粉	宮城県環境事業公社小鶴沢処分場	大和町鶴巣小鶴沢字大沢5(14.3)	

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・ 有（数量：　） [5.4.3]
・ 無

PCB含有シーリング材　・ 有（施工範囲は図示） [5.4.4]
・ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事　・ 有（図示　） ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事　・ 有（図示　） ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事　・ 有（図示　） ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード　◎有（図示　） ◎無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。※解体時に調査し報告
<対象となる石膏ボード>
小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称：宮城県環境事業公社 小鶴沢処分場　所在地(km)　大和町鶴巣小鶴沢字大沢5(14.3)】

⑥. 電気保安　・ 適用する　※ 適用しない　(1.3.3)

⑦. 事故報告　(1.3.10)
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等　(1.4.2)
材料の品質等
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承認を受ける。
特定のものが特記された場合は、同様に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。

1 一般共通事項

⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定　(1.6.9)（1.5.9)
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm）
※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm）
※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm）
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　3,800μg/m3 ・ 0.88ppm）
※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm）

測定する室等：（ ０歳児室、事務室 ２部屋　　）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では８時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を２部提出する。
・測定結果
・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質ﾌﾗｲ指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

◎ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定方所等については、末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

⑩. 特別な材料の工法　「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪. 建築基準法による風圧力等の指定　(3.5.4)（3.9.3)（5.12.5)（13.2.3)（13.3.3)

適用工事	建築基準法の指定
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0)　※30
・ アルミニウム笠木 ・ 金属板屋根葺	地表面粗度区分　・Ⅱ ・Ⅲ
◎ 折板屋根葺 ・ ガラスブロック	多雪地域の指定　・有 ・無

⑫. 設計GL　※ 図示　・ 現状平均地盤高

⑬. 施工調査　(1.5.2)
施工数量調査
・ 既存吸分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。（1.5.3)

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品

⑭. 技能士　(1.6.2)
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
・ 現場において再利用を図るもの（　　）
・ 再生資源化を図るもの

工事種目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
防水改修工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業）
外壁改修工事	・左官（左官作業）　・タイル張り（タイル張り作業） ・樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事作業） ・塗装（建築塗装作業）
建具改修工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
内装改修工事	・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業）
	・表装（壁装作業）
塗装改修工事	・塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業） ・型枠施工（型枠工事作業）　・とび（とび作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） ・鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック・ＡＬＣパネル	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
・乾式張りセメント系工事	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
石工事	・石材施工（石張り作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍｲﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍｲﾝﾄﾞﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
	・スレート施工（スレート工事作業）

⑮. 完成図等　(1.8.1)（1.8.2)（1.8.3)
営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。
※ 完成原図　1部
※ ~~マイクロフィルム（乗指定様式）~~　~~1部~~
※ 白焼２つ折製本　1部
※ 白焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　1部
※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　3部
※ 完成図面電子データ、JWW形式又はDXF形式
若しくはTIFF形式（解像度3000P以程度）　CD1枚

⑯. 完成写真　※ 作成する
宮城県建築工事写真撮影要領により、次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真撮影要領の 完成写真程度 ・ 箇所 枚	※1部 ・ 部	※工事用アルバムA4版 ・ポケット式程度 ・フリーアルバム （台紙寸法323×270程度）

・ 作成しない

⑰. 設備工事との取合い　施工範囲　各工事の区分表による。
施工図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承認を受ける。

⑱. 火災保険等　工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・
保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

2 仮設工事

1．仮囲い　※ 設ける　・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・ 万能鋼板（H＝　）・波形鉄板（H＝　）・単管シート（H＝　）
・ シートゲート（H＝　，W＝　）×　箇所

2．交通誘導員　・ 配置する（　日 × 人 ＝　人日）　※ 配置しない

3．工事表示板　※ 設置する（設置枚数　1 枚）　・ 設置しない
当該工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

④. 足場その他　内部足場　※ 脚立、足場板等　・　(2.2.1)
外部足場　※ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　(表2.2.1)
・ Ｄ種　・ Ｅ種
防護シート　※ 設ける　・ 設けない
材料の運搬　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　(表2.2.2)
・ Ｄ種　※ Ｅ種
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑤. 養生　家具の移動　・ 行う（図示）　◎ 行わない　(2.3.1)
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管　・ 行う　◎ 行わない
養生の方法
保管場所

6．仮設開口切り　・ 設ける（図示）　(2.3.2)（表2.3.1)
・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種

⑦. 監督職員事務所　※ 設けない（調良者事務所に打合せ会議室を確保する）　(2.4.1)
・ 設ける（規模　㎡程度　調良者事務所と同様　・可　・否）
備品（　　）

⑧. 工事用水　構内既存の施設　◎ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない

⑨. 工事用電力　構内既存の施設　◎ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く

10. 工事用通路　※ 指定しない　・ 指定する（図示）

3 防水改修工事

1．アスファルト防水　(3.1.4)（3.3.3)（表3.1.1)（表3.3.3~10)

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所
・ Ｄ１－１		
・ Ｄ１－２		
・ Ｅ１－１		

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※３種　(3.2.2)

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　(3.3.3)
種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造元又はその指定業者とする。

2．伸縮調整目地　(3.3.2)（3.5.5)
※ 成型伸縮目地（天端　ＥＰＴゴム、サイド　プチルゴム製）

3．改質アスファルトシート防水　(3.1.4)（3.4.3)（表3.1.1)（表3.4.1~2)

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・ ＡＳ－Ｔ			※ カラー
・ ＡＳ－Ｊ			・ シルバー
・ ＡＳＩ－			

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　(3.4.3)
種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造元又はその指定業者とする。

4．合成高分子系ルーフィング シート防水　(3.1.4)（3.5.3)（表3.1.1)（表3.5.1~2)

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・ Ｓ－Ｆ			※ カラー
・ Ｓ－Ｍ			・ シルバー
・ ＳＩ－			

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　(3.5.3)
種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造元又はその指定業者とする。

5．塗膜防水　(3.1.4)（3.6.3)（表3.1.1)（表3.6.1~2)

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・ Ｘ－１			※ カラー
・ Ｘ－２			・ シルバー
・ Ｙ－２			

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　(3.6.3)
種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造元又はその指定業者とする。

⑥. シーリング材料の種別及び施工箇所　(3.7.2)（表3.7.1)
※ 被着体に応じたものとし、（表3.7.1）を標準とする。
・ （表3.7.1）によらない箇所及びシーリング材料

（表3.7.1）によらない箇所	シーリング材料

7．シーリング改修工法　(3.1.4)（3.7.4~8)（表3.1.2)

改修工法の種別	施工箇所
・ シーリング充てん工法	
・ シーリング再充てん工法	
・ 拡幅シーリング充てん工法	
・ ブリッジ工法（　　）	

8．とい　(3.8.2)（表3.8.1)（表3.8.3~4)

材種	防錆
・ 配管用鋼管（SGP）	※（表3.8.3~4）により行う
・ 硬質塩化ビニル管（VP）	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。

9．ルーフドレイン　鋼管製といの防露巻き　(3.8.3)（表3.8.5)
※（表3.8.5）による。
※ 鋳鉄製　(3.8.3(h))（表3.8.1)
※ 樹型　・ 横型

10．アルミニウム製笠木　部材の種類　(3.9.2)（表3.9.1)
・ 押出 ２５０形 ・ 押出 ３００形 ・ 押出 ３５０形
・ 板材折曲げ形
付属部品の材料、角名部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。

表面処理　(3.9.2)（表5.2.2)
※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種

11．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4 建具改修工事

①. 一般事項　改修工法　(5.1.3)
・ かぶせ工法 ◎ 撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等　(5.1.5)
製作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による）　(5.1.7)

②. アルミニウム製建具　外部に面する建具　(5.2.2)（5.2.4)（表5.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
◎ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、１００）
・ Ｂ種	Ｓ－５			
・ Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	※１００　・

※ 適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種、Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

4 建具改修工事

③ 網戸　防音ドアセット、防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット、断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセット、耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の面内変形　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　(5.2.3)
◎ 内部納まりのプリーツ式
防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ステンレス（SUS 316）　※合成樹脂
防鳥網　※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

4．樹脂製建具　外部に面する建具性能等級等　(5.3.2)（表5.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	※建具表による
・ Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５	
・ Ｃ種	Ｓ－６			

※ 適用箇所は図示による
防音ドアセット、防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない　(表5.3.2)
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－Ａ種　・ Ｔ－Ｂ種
断熱ドアセット、断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない　(表5.3.3)
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－Ａ種　・ Ｈ－Ｂ種
表面色　(5.3.4)
・ 標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）
簡易気密型ドアセット　(5.4.2)（5.4.4)（表5.4.2)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

5．鋼製建具　鋼板　(5.4.3)
※溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）
・溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317）
建具寸法が(5.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓		枠類、方立、無目	（表5.4.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			（表5.4.2)に同じ

⑥ 鋼製軽量建具　標準型鋼製建具　※ 使用する　・ 使用しない　(5.4.6)
簡易気密型ドアセット　(5.5.2~4)（表5.5.1)
※ 使用する（適用箇所は図示による）
気密性　※ Ａ－３　・
・ 使用しない
戸の鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被覆鋼板　・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具　※ 使用する　・ 使用しない　(5.5.6)
標準型鋼製軽量建具の小窓枠、ガらり　※ 鋼製　・ アルミ製

7．ステンレス製建具　簡易気密型ドアセット　(5.6.2)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

8．木製建具　表面処理　※ ＨＬ　・　(5.6.4)
鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・ かど出し曲げ　(5.6.5)
建具材の加工、組立時の含水率　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　(16.7.2~4)
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度 桟、鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※ 新島の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※ 戸ふすま 工法（・ 在来型　・ チップ型）

⑨ 建具用金物　(5.7.2)（表5.7.1)

金物の種類	型式	製造所
シリンダー箱錠		
本締り付きモノロック		
モノロック		
シリンダー本締り錠		
グレモン錠		
トアクローザー		
フロアヒンジ		
ピンクロクローザー	ピボット形	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所
ドあたり	あおり止め付き	

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具（準標準型共）のドアクローザー、シリンダー箱錠は会共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの作成　・ 要　◎ 不要　(5.7.4)
◎ 不要（既存マスターキーで施解錠可能とする。）

10．自動ドア開閉装置　性能　・ スライディングドア　(5.8.2)（表5.8.1~2)
・ スイングドア
センサーの種類　・ 光線式（反射）スイッチ　(5.8.3)（表5.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ式
・
※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする
凍結防止装置　・ 要　※ 不要
全半開装置　※ 設ける（半開幅＝　　）
・ 設けない

11．重量シャッター

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置（自動開錠型） ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外壁用 ・ 屋内用	※ 設ける ・		※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。
・ 防煙シャッター				

12．軽量シャッター　スラット及びシャッターケース用鋼板　(5.10.3)
※溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312）

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	建具表及び図示による	※ インターロッキング型	障害物感知装置（自動開錠型）
・ 上部電動式（手動併用）	・ 設けない		※ オーバーラッピング型	※ 設ける ・ 設けない

13．オーバーヘッドドア　スラットの材質　(5.11.3)
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312）
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3322）　(5.12.2~3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ロー・ヘッド形 ・ ハイ・リフト形 ・ バーチカル形	※ ５０ ・ ７５ ・ １００ ・ １２５ （JIS A4715による強さ（Ｎ/区分）	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

5 内装改修工事

①. 改修範囲　既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　(6.1.3)
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
◎ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
◎ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
◎ 図示の範囲

2．既存床の撤去・下地補修　合成樹脂塗床の除去方法　(6.2.2(a))
・ 目荒工法　・ 機械的除去工法

③ 改修後の床の清掃範囲　◎ 当該室全体　・ 図示の範囲　(6.2.2(c))

④ 既存壁の撤去・下地補修　開仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法　(6.3.2(a))
※ (4.4.9)による　・（　　）

⑤ 木材　表面仕上げの程度　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　(6.5.1(c))
含水率　下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種　(6.5.2(a))（表6.5.2)
造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種
造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種　(6.5.2(b))（表6.5.3)
代用樹種を使用しない箇所　(表6.5.4)
※ なし　・ あり（　　）

6．集成材　造作用集成材は(6.5.2(c)(ⅰ))による　(6.5.2)

見付け材面	JASによる集成材	その他
等級	※ １等　・ ２等	※ JAS集成材１等同等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

7．床張り用合板　床下貼り用合板　(12.2.1)
※ JASの構造用合板　特類　２等以上　C－DIX上
・（　　）

8．防腐・防蟻・防虫処理　薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　(6.5.5)
適用部位（　　）　保存処理性能区分　・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材　保存処理性能区分　※Ｋ１

⑨ 軽量鉄骨天井下地材　野縁などの種類　(6.6.2)（表6.6.1)
屋内　※ １９型　・ ２５型（室名：　　）
屋外　・ １９型　※ ２５型
インサート　(6.6.4(a))
◎ 既存インサートを使用する　◎ あと施工アンカーを設ける
あと施工アンカーの引抜き試験　(6.6.4(a))
・ 行う　※ 行わない
耐震性を考慮した補強　(6.6.4(i))
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）
耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天共等）　(6.6.4(k))
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

⑩ 軽量鉄骨壁下地材　(6.7.3)（表6.7.1)
スタッド、ランナーなどの種類は（表6.7.1)による。
※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

11．体育館の鋼製床下地　※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

⑫ ビニル床シート張り　JIS A5705のJIS表示認証製品　(6.8.2)（6.8.3)

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
◎ 発泡層のあるもの	○ＨＳ ・ＫＳ	◎ 歪目	◎ 3.5	・	・

13．ビニル床タイル張り　JIS A5705のJIS表示認証製品　(6.8.2)

種類	記号	厚さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ ＫＴ	※ 300×300 ・	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ＦＴ	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

14．ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能　帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2~3.1程度又は耐電圧（JIS L 1023）3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2~5.1程度又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×107オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の

15．視覚障害者用床タイル　(6.8.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	３００×３００

⑯ ビニル幅木　材種　※ 軟質　・ 硬質　・ 溶接　(6.8.2)
高さ(mm)　◎ ６０　※ ７５　・ １００
厚さ(mm)　・ １．５　※ ２．０

4 建具改修工事

⑭. ガラス　(5.13.2)（5.13.3)（表5.13.1)
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類
強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類
熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種（・ Ｕ３－１　・Ｕ３－２）
・ ４種　・ ５種
封止の加速耐久性による区分
※ Ⅲ類
熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ Ａ類　・ Ｂ類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　※ 行う　・ 行わない
ガラスの留め材
※ シーリング　・ ガスケット（可動アーミ製建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの清掃については、（表5.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの清掃は図示による。
複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

15．ガラスブロック（中空）　(5.13.5)

表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）			厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５	・ １６０×１６０	・ ８０	
	・ ２００×２００	・ ３２０×３２０	・ ９５	
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５	

品質等

| ガラスの種別 | 柄 | 目地色 | 金属枠 |

5 内装改修工事

17. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (6.9.3～4)〈表6.9.1〉

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
・	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・〈6.9.3(c)〉による

・ タイルカーペット (6.9.3～4)〈表6.9.1〉

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第1種 ・第2種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

18. 合成樹脂塗床 (6.10.2)

材料の種類
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類 (6.10.3)
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ

19. フローリング張り

・単層フローリング (6.11.2～6)〈表6.11.1～6〉

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※15 幅 75 ・ 長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※15 303×303	・モルタル埋込み工法 ・接着工法	・オイルステン塗りの上ワックス
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・6 ・8 ・9	・接着工法	・生地のままワックス ・既塗装品
・	・	・		

・複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング	※ナラ ・サクラ	・A種 ・B種	・行う ・行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス
・ 複合2種フローリング	・ヒノキ	※C種			
・ 複合3種フローリング	・	・			
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法 （体育館床）	・生地のままワックス ・既塗装品

20. 畳敷き

畳の種類 ・ A種 ・ B種
※ C種 ・ D種（ ） (6.12.2)〈表6.12.1〉

21. 石こうボードその他のボード張り

(6.13.2～3)〈表6.13.1〉〈表6.13.5〉

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
付い板ガルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄	壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）GW－B	ガラスクロス（JIS A 3414 EP18程度）膨縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301（32K）
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) 〇 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品）GB－R		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）GB－S		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB－NC	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB－D	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ※ 突き付けV目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

22. 遮音シール材

・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (6.13.2)

23. 壁紙張り (6.14.2)

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

24. タイル張り

タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 (6.16.3)

施工箇所	形状寸法(mm)	裏あしくずし 施	裏あしくずし 無	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

内装タイルの工法 (6.16.3～4)
・ 改良積上げ張り 施工箇所（ ）
・ 接着剤張り 施工箇所（ ）

25. セルフレベリング材塗り

種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 (6.17.2～3)
塗厚 ※ 10mm ・

6 塗装改修工事

1. 防火材料 (7.1.3)

※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（ ）

2. 錆止め塗料塗り

〈7.3.2～3〉〈表7.2.2～3〉〈表7.3.1～4〉

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
鉄鋼面	新規	※RA種・RB種・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種
	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ・B種 ※C種	(3層の場合)
亜鉛めっき鋼面	新規建具	・RA種 ・RB種 ※RC種	※A種 ・B種 ・C種	※A種・B種
	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種	※C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種	(3層の場合)

3. 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

〈7.2.2〉〈7.4.2～5〉〈表7.2.1～3〉〈表7.4.1～3〉

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
木部	新規	・RA種 ※RB種・RC種	※A種(外部) ※B種(内部) ・C種	※1種 ・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
鉄鋼面	新規	※RA種・RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
亜鉛めっき鋼面	建具塗替	・RA種 ※RB種・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種 ・2種
	新規	※RA種 ・RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	

④ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）

〈7.2.5～7〉〈7.10.2〉〈表7.2.4～7〉〈表7.10.1〉

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
コンクリート面 ALCパネル面 押出成形セメント板面	新規	※RA種・RB種・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
モルタル面	新規	・RA種 ※RB種・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
プラスター面	塗替え	・RA種 ※RB種・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
石こうボード	新規	※RA種・RB種・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
その他の	塗替え	※RA種(錆目処理工法)	・A種 ※B種 ・C種	
ボード等の面		※RB種(その他)・RC種		

7-1 鉄筋工事（鉄筋改修工事）

1. 鉄筋の種類 (8.2.1)〈表8.2.1〉

規格名称	種類の記号	径(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A ※ SD345	※ D16以下 ・ ※ D19以上 ・

2. 溶接金網

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 (8.2.2)
線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100
使用箇所（ ）

3. 鉄筋の継手

径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 (8.3.4)

4. 柱の帯筋

・ 図示

5. 圧接完了後の抜取試験

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 (8.3.9)

7-2 躯体改修工事（コンクリート工事）

1. 設計基準強度 (8.1.3)

設計基準強度	適用箇所
※ 21	窓開廻 鉄骨階段基礎

2. レディーミクストコンクリート

類別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 (8.1.3)〈表8.1.1〉

3. 打放し仕上げの種別 (8.1.4)〈表8.1.3〉

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

4. セメントの種類 (8.2.5)

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

5. 骨材

細骨材の塩分含有量（NaCl換算） ※ 0.04 %wt 以下 (8.2.5)

6. 混和材料

混和剤 ※ AE剤及びAE減水剤標準形Ⅰ種 (8.2.5)

7. 軽量コンクリート (8.10.1)〈表8.10.1〉

種別	適用箇所	気乾単位容積質量(t/m3)

適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 (6.14.1)

適用箇所

8. 無筋コンクリート

9. グラウト材

無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 (8.2.11)
圧縮強度(N/mm2) ：30以上
コンシステンシーJ14：ロート値(秒) 6～10
乾燥収縮(×10-4)：0

10. 柱底等の均しモルタル

無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない (8.2.11)

11. 型枠

せき板の種類 ※ 12mm合板 ・
せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 (8.2.7)

12. コンクリートの打込み工法

※ 流込み工法 ・ 圧入工法 (8.19.8)〈8.21.5〉

13. 既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ (8.19.2)
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・

7-3 あと施工アンカー等（鉄筋改修工事）

1. あと施工アンカー

(8.2.4)
Ⓐ 接着系アンカー 〔引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)〕
アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式
接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系
〇 金属系アンカー 〔引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)〕
打込み方式 ※ 本体打込み式改良型

2. あと施工アンカーの試験

性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う (8.2.4)
施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない (8.11.5)

3. 埋込配管等の探査

範囲 ※躯体図所すべて ・図示 (8.11.2)

7-4 耐震改修工事（鉄骨工事）

1. 鉄骨製作工場

※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・ S ・ H ・ M ・ R ・ J (8.1.5)

2. 鋼材の種類 (8.2.8)〈表8.2.7〉

材質	規格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	
・	

3. 高力ボルト (8.2.9)

ボルト種別	セットの種類
※トルシア形高力ボルト	※2種(S10T) ・
・ＪＩＳ形高力ボルト	※2種(F10T) ・
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※1種(F8T相当) ・

4. 溶接部の試験

※超音波探傷試験 (8.14.11)〈8.14.12〉

5. 錆び止め塗装

(7.3.2～3) による。 (8.16.3)

6. 耐火被覆 (8.17.2)〈8.17.4～7〉

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	改修標仕6章15節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づき定められたものの又は認定を受けたもの	※半乾式 ・湿式
・耐火板張り		
・耐火塗布仕		

7. アンカーボルト

材質 ※SS400 ・SNR400B (7.2.4)

8. 既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ (8.20.2)
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・

7-5 耐震改修工事（仕様強工事）

1. 工法

・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.21.5)
溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手
コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設
・ 圧入工法 ・ 流し込み工法
・ 鋼板巻き工法 (8.21.6)
・ 帯板巻き付け工法 (8.21.6)
・ 連続繊維補強工法 (8.21.7)
製造所（ ）
引張強度試験及び付着強度試験
・ 行う ・ 行わない

2. 既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ (8.21.2)
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・

7-6 耐震改修工事（耐震スリット）

1. スリットの種類

・ 完全スリット ・ 部分スリット (8.22.1)

2. スリットの充填材

耐火材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない (8.22.2)
適用箇所 ※ 図示
遮音材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない
適用箇所 ※ 図示

8-1 断熱材

1. 断熱材の打込み及び現場発泡工法 (9.5.2～3)

種類	適用箇所	厚さ(mm)	備考
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	※A種押出法2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
	※A種押出法3種b（スキン層付き）	接地部分及び屋根防水部ピット内部		
〇 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による難燃性・2級 ※3級
・	・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類	適用箇所	厚さ(mm)	備考
・ ＪＩＳ発泡プラスチック保温材	※A種ビーズ法2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS表示認証製品
	※A種押出法3種b（スキン層付き）	接地部分及び屋根防水部ピット内部		
〇 グラスウール保温材			※ 100 ・	※ 24K品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り （重ね100）

9 土工事

1. 埋戻し及び盛土の種別

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3)〈表3.2.1〉
C種の場合 建設発生土受入れ量 m3
発生場所
受入条件

2. 建設発生土の処理

・ 構外に搬出し適切に処理する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所（km）
・ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

10 パネル・押出成形セメント板工事

1. コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2)〈表8.3.1〉
※ 空洞ブロック 16 ・
（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。）

11 舗装工事

1. 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

2. 盛土材料

路床の盛土材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料

遮 断 層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

5. 路床締固め度の試験

・ 行わない ※ 行う（箇所：埋戻し及び盛土部） (22.2.5)

6. 路盤材料

(22.3.3)〈表22.3.3〉
※ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

7. 路盤の締固め度の試験

※ 行う (22.3.5)

8. アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2)〈22.4.4〉(表22.4.5)

表層	※	再生密粒度アスファルト混合物（13）	舗装の厚さは図示による
	・	密粒度アスファルト混合物（13）	
	・	細粒度アスファルト混合物（13）	
	・		
基層	※	再生粗粒度アスファルト混合物（20）	
	・	粗粒度アスファルト混合物（20）	
	・		

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

9. コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし

10. ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 (22.9.2)〈表22.9.1〉
・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

11. 縁石及び側溝

地築の材料 ・再生クラッシャラン (21.4.2)

12. 砂利敷き

・ A種（通路） ※ B種（建物周辺） (22.10.2)

13. 区画線

※ ＪＩＳＫ5665 3種1号

12 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.00 ※ 0.66	・ 3,000 ・ 5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し（吸い込み）パネル ※ なし
・ 有り（※図定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2. 可動間仕切（パーテーション）

構造形式による種類 スタッド式（内蔵） (20.2.3)
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色） t＝0.5以上
遮音性 36dB/500Hz以上
防火性能 不燃

③ 移動間仕切（スライディングドア）

パネルの操作方法による種類 規定しない (20.2.4)
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板（標準色）
t＝0.5以上 図示仕様
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB/500Hz以上
防火性能 不燃 図示仕様
取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による

④ トイレブース

(20.2.5)

表面材	ポリエステル メラミン化粧板（標準色）
幅木	ステンレス製 H＝60 図示仕様
フレーム	アルミ製 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ。 帽子掛け戸当たり付き
扉	

5. 階段滑り止め（ノンスリップ）

材 種 ステンレス（SUS304） (20.2.6)
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 床目地棒

ステンレスFB（SUS304） t5～6×H12 (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7. 鏡

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き (20.2.9)

8. 表示

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品 (20.2.10)
誘導標識 市販品
室名札 アクリル板

⑨ 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 〇 600×600 ・ 450×450 ※ 600×600	Ⓐ 目地タイプ 〇 額縁タイプ ※ 一般型點物用 ・ 一般型充填用
床	※ アルミニウム製		

10. 視覚障害者用誘導ブロック

屋 外 ※ コンクリート製
・ 磁器質タイル（※100角 ・150角）

13 総合性能

1. 一般事項

試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質

測定対象化学物質は、下記４-1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3. 測定方法

1) クロマトグラムよりC「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2) トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3) 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	870 μg/m3	0.20 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m3	0.02 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m3	0.0076 ppm
⑫クロルピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400 μg/m3	（暫定目標値）

4. 測定する室

1) １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・ 室名：

2) ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・ 室名：

・ 屋外（周囲の建物から離れた場所１カ所）

5. 測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1) 測定結果（アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2) 試料採取時の状況（気温・湿度（屋外、室内）、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数）
3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他

表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。
また屋外からのサンプルの追加測定も行う。

各工事の区分表

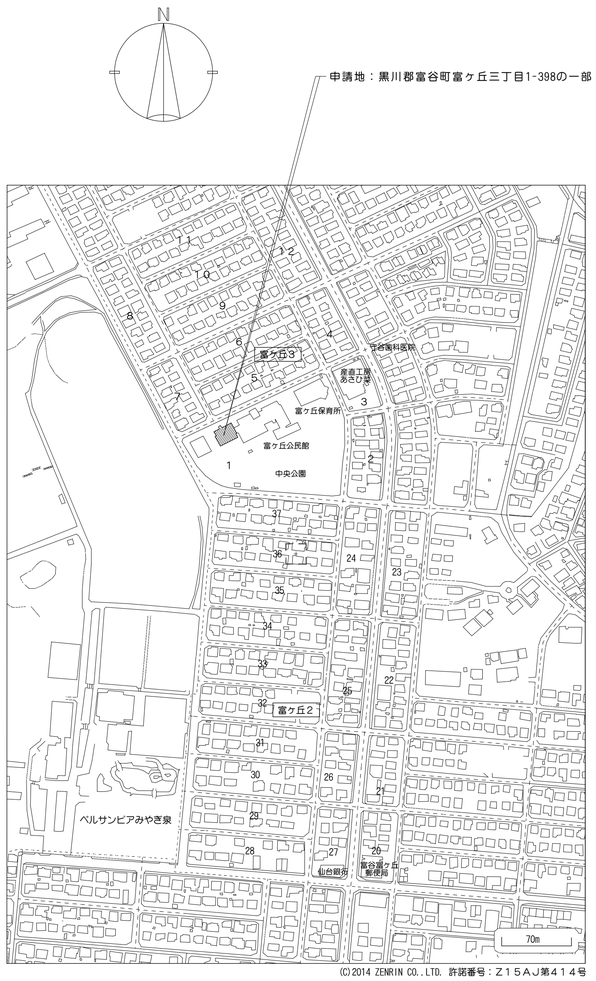
(20.2.2)

工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○		各工事による重ね打ｺﾝｸﾘ立体の工事に含める（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○						
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○		
工場製作間仕切及び間仕の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付及び補修							
天井付各種設備器具の穴開け、取付及び補強・補修	※	○	○	○			※下地補強のみ建築
設備関係建築のシンダーコンクリート	○						
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○						
同上 仕上（防水）	○						
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ 埋込み		○	○	○			
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※					※機械からの信号、１次配線
色所用ピット及び浴室天井基及び取付調整			○				ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ設ぐ
同上ダクト接続				○			
同上電源用配管、配線及び接続		○					
ユニットバス（ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ含む以下同じ）墨出し及び据付工事	○						
浴槽及び据付	○						浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○						
同上廻りシーリング打ち	○						
同上への配線及び配管接続		○	○				※1 次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事	○						
同上への配線接続			○				
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	○						
同上への照明用電源配線及び接続		○					
洗面台及び据付			○				
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○						
同上配管接続				○			
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○					
洗濯パン			○				
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			○	○			
ダクト用ベントキャップ及び取付				○			
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○						設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付材への取付、配線		※		○			※配線は電気
換気扇取付枠及び鏡体への取付				○			
床埋閉工事	※1	※2	※2				※1 仕上げは建築 ※2 電気又は空調は電気柱・露出式設ぐによる
非常用照明及び誘導灯		○					
消火器				○			
同上表示及び収納箱	○						
各種配管、ダクトの周辺り躯体貫通部のﾄｯﾌﾟ打ち		○	○	○			
エレベーター各階出入口敷体穴開け・吊りフック	○						
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板					○		
三方枠廻りのノロ詰め					○		
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事	○						
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○						
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○						
製錠・ドレン・受け樋	○						
製樋から第一桝までの接続	○						
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）						○	
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事		○					
屋上点検口、各種グラップ工事	○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○	※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）						○	
同上照明器具及び接続		○					
プロパンボンベ庫	○	※	※				
同上配管工事			○				
便所の目皿・手摺り	○						便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○				
手洗い吃痰機			○				
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※		○				※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場、歩道工事						○	
雨水排水側溝設置工事						○	
同上排水管接続			○				

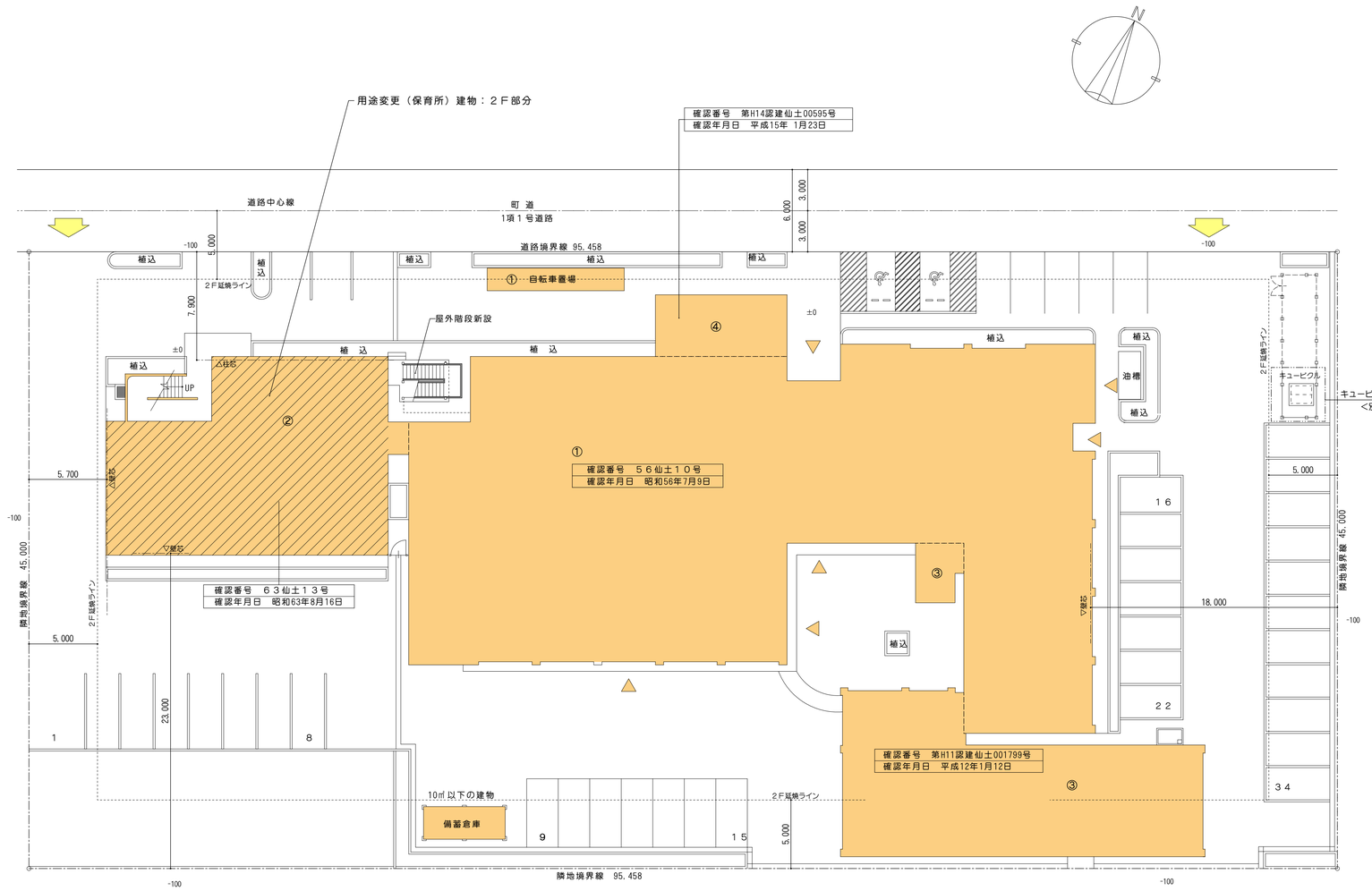
	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	別途	備考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金、	○	○	○	○	○	○		
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○		
3	・１、２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○		
4	・上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金							○	

特記		
1		
・		
・		
・		

一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号
Camury ㈲ 冠設計（カムリ）
管理建築士 代表設計者 一級建築士 第 173108 号 関内重雄
その他の設計者
縮尺
工事名称 平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事
図面名称 特記仕様書.2
設計年月日 20015.06/**
図面番号 A・02



案内図



配置図　1/200

敷地面積：95.458 X 45.000 = 4,295.61 ㎡

：既存建物

：用途変更部分

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計	管理建築士	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	その他の設計者		
	・										
	・										
	・										

縮尺	工事名称	図面番号
A3:1/400 A1:1/200	平成27年度旧富ケ丘北部会館保育所改修工事	A・03
	図面名称：配置図、案内図 / 設計年月日：2015. 06/**	

内部仕上表

室名	区分	床	巾木	壁	天井	天井高	
玄関	改修前	100角磁器質床用タイル貼	モルタル金ゴテ A-Emp	モルタル金ゴテ A-Emp 石膏ボード張 12t（GL工法）A-Emp	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.618	
玄関	改修後	玄関縮小に伴い上り框新設、既存上り框撤去 一部木床転ばし下地、その他は既存のまま	既存のまま 間仕切壁新設部モルタル金ゴテ AE塗装	一部RC壁撤去、間仕切壁新設（LGS100 下地　石膏ボード張 12.5t EP-G） その他既存壁塗装：ケレン～ EP-G塗装、RC壁撤去部分：取合い補修	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.618	
玄　関	改修前	100角磁器質床用タイル貼	モルタル金ゴテ A-Emp	モルタル金ゴテ A-Emp 石膏ボード下張 12t（GL工法）A-Emp	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.618	下足棚・上り框
職員トイレ	改修後	既存上り框撤去、一部木床転ばし土台、根太下地 耐水ラワン合板9t+捨て合板4t 長尺ビニルシート貼 2.0t	ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS100及び65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） その他既存壁塗装：ケレン～ビニルクロス貼	既存天井仕上材（下地共）撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t	2.465	下足棚：撤去、上り框：撤去～新設、配管用立上り壁・甲板：新設 流し台：L1050新設、吊戸棚：L1050新設
ホール	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.468	上り框
ホール	改修後	ホール拡張に伴い上り框新設、既存上り框及び床仕上材撤去 一部木床転ばし土台、根太下地　直貼りフローリング 15t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65、50 下地　石膏ボード張 12.5t　EP-G） その他既存壁塗装：ケレン～ EP-G	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.465	上り框：撤去～新設 カウンター（下部、下足入、消火器ＢＯＸ入）：新設
ホール	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.468	下足棚
事務室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） その他既存壁塗装：ケレン～ビニルクロス貼	既存天井仕上材（下地共）撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t	2.465	下足棚：撤去　　ﾌﾗｲｽﾄﾌﾛｰﾙ（ﾎﾙﾋﾞ処）無地ﾎﾙﾋﾞ ｸﾘｶｰﾃｨ・ 上部収納棚：新設、吊カーテンレール：新設、プリーツ網戸、ベネシャンブラインド：新設
廊下	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.468	
廊下	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	一部RC壁撤去、間仕切壁新設（LGS100 下地　石膏ボード張 12.5t　EP-G） その他既存壁塗装：ケレン～EP-G塗装、RC壁撤去部分：取合い補修	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.465	玄関框タテ枠：新設、外部出入口扉及び木製階段：新設 掲示板：新設、下足入：新設、消火器収納部：新設
研修室（A）	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t、スタイロ畳 30t 畳止め取付 ステージ部：	ビニル巾木 H=60 木製巾木 SOP H=75	モルタル金ゴテ ビニルクロス貼 石膏ボード張 12t（GL工法）ビニルクロス貼	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.675	ステージ、スタイロ畳、畳止め
０歳児室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t タタミ（スチレン床）30t 防湿フィルム 0.15t敷き ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ補修・	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） その他既存壁仕上材撤去　下地調整の上　ビニルクロス貼	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.670	ステージ：撤去、スタイロ畳及び畳止め：撤去　　FF暖房機用ｶﾞｰﾄﾞ新設 ロッカー・手洗い・コップ棚・上部収納棚、畳コーナー：新設、ﾄﾞﾚｰﾌﾟ +ﾚｰｽｶｰﾃﾝ
研修室（A）	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ ビニルクロス貼 石膏ボード張 12t（GL工法）ビニルクロス貼	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.675	スライディングウォール
１歳児室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65 下地　石膏ボード張 12.5tor9.5t+9.5t ビニルクロス貼） その他既存壁仕上材撤去　下地調整の上　ビニルクロス貼	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.670	スライディングウォール：撤去　バーチカルブラインド：撤去 ロッカー・手洗い・上部収納棚、ドレープ+レースカーテン新設 FF暖房機用ｶﾞｰﾄﾞ新設
研修室（B）	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ ビニルクロス貼 石膏ボード張 12t（GL工法）ビニルクロス貼	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.675	スライディングウォール
２・３歳児室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65or50 下地　石膏ボード張 12.5tor9.5t+9.5t ビニルクロス貼） その他既存壁仕上材撤去　下地調整の上　ビニルクロス貼	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.670	スライディングウォール：撤去～新設 バーチカルブラインド：撤去 ロッカー・手洗い・上部収納棚、ドレープ+レースカーテン新設 FF暖房機用ｶﾞｰﾄﾞ新設
研修室（B）	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ ビニルクロス貼 石膏ボード張 12t（GL工法）ビニルクロス貼	石膏ボード下張 9t　岩綿吸音板貼 12t	2.675	
４・５歳児室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整の上　発泡複層ビニル床シート 3.5t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65or50 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） その他既存壁仕上材撤去　下地調整の上　ビニルクロス貼	一部既存天井仕上材（下地共）撤去～既存同仕様にて復旧 その他は既存のまま	2.670	スライディングウォール：新設 バーチカルブラインド：撤去 ロッカー・手洗い・上部収納棚、ドレープ+レースカーテン新設 FF暖房機用ｶﾞｰﾄﾞ新設
倉　庫	改修前	ビニル系タイル貼 2t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp 石膏ボード張 12t（GL工法）A-Emp	化粧石膏ボード張 9t	2.496	
沐浴室、幼児用トイレ	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整（モルタル金鏝 15t） ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去　巾木背面：シール充填（巾木/床取り含む） ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65及び50 下地　石膏ボード張 12.5t AE塗装） その他既存壁塗装：ケレン～AE塗装、RC壁撤去部分：取合い補修	既存天井仕上材撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t（下地再利用）	2.495	配管用立上り壁・甲板：新設、上部収納棚：新設 洗濯機パン：新設、プリーツ網戸：新設
倉　庫	改修前	ビニル系タイル貼 2t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp 石膏ボード張 12t（GL工法）A-Emp	化粧石膏ボード張 9t	2.496	
調乳室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整（モルタル金鏝 15t） ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65及び50 下地　石膏ボード張 12.5t AE塗装） その他既存壁塗装：ケレン～AE塗装、RC壁撤去部分：取合い補修	既存天井仕上材撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t（下地再利用）	2.495	配管用立上り壁・甲板：新設、流し台：新設、上部吊戸棚：新設
印刷室	改修前	ビニル系タイル貼 2t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp 石膏ボード張 12t（GL工法）A-Emp	化粧石膏ボード張 9t	2.496	
更衣室	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整（モルタル金鏝 15t） ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去 ビニル巾木：新設 H=60	既存壁塗装：ケレン～EP-G塗装	既存天井仕上材撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t（下地再利用）	2.495	配管用立上り壁・甲板：新設、上部収納棚：新設
湯沸室	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t	ビニル巾木 H=60	モルタル金ゴテ A-Emp、一部100角タイル貼 石膏ボード張 12t（GL工法）A-Emp	石綿珪カル板張 6t	2.500	流し台、ガスキャビネット、ステンレス水切、吊戸棚、食器棚
幼児用トイレ	改修後	既存床仕上材撤去　下地調整（モルタル金鏝 15t） ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去　巾木背面：シール充填（巾木/床取り含む） ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65+65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） その他既存壁仕上材撤去　下地調整の上　ビニルクロス貼、RC壁撤去部分：取合い補修	既存天井仕上材（下地共）撤去 LGS下地　化粧石膏ボード張 9.5t	2.500	流し台・ガスキャビネット・ステンレス水切・吊戸棚・食器棚：撤去 トイレブース・掃除具入、配管用立上り壁・甲板・プリーツ網戸：新設
男子・女子便所	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t・一部ステンレス床見切	ビニル巾木 H=60	半磁器質壁用タイル貼	石綿珪カル板張 6t	2.500～2.530	配管用立上り壁、トイレブース
調理室	改修後	既存床仕上材及びステンレス床見切撤去、下地調整モルタル13t 段差調整部：42～50t　ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去　巾木背面：シール充填（巾木/床取り含む） ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） 外壁面は発泡ポリスチレン板 25t接着の上　石膏ボード張(GL工法)12.5t ビニルクロス貼 その他既存壁の上　石膏ボード張(GL工法)　12.5t ビニルクロス貼、RC壁撤去部分：取合い補修	既存天井仕上材（下地共）撤去の上 石膏ボード下張 9.5t　不燃防カビビニルクロス貼　LGS下地	2.500	既存配管用立上り壁・トイレブース：撤去 配管用立上り壁・甲板：新設、流し台・調理台・カステープル、上部吊戸棚：新設
男子便所	改修前	長尺ビニルシート貼 2.5t・一部ステンレス床見切	ビニル巾木 H=60	半磁器質壁用タイル貼	石綿珪カル板張 6t	2.500～2.530	配管用立上り壁、トイレブース
検収・下処理室	改修後	既存床仕上材及びステンレス床見切撤去、下地調整モルタル13t 段差調整部：42～50t　ビニル床シート貼 2.0t	既存巾木：撤去　巾木背面：シール充填（巾木/床取り含む） ビニル巾木：新設 H=60	間仕切壁新設（LGS65 下地　石膏ボード張 12.5t ビニルクロス貼） 外壁面は発泡ポリスチレン板 25t接着の上　石膏ボード張(GL工法)12.5t ビニルクロス貼 その他既存壁の上　石膏ボード張(GL工法)　12.5t ビニルクロス貼、RC壁撤去部分：取合い補修	既存天井仕上材（下地共）撤去の上 石膏ボード下張 9.5t　不燃防カビビニルクロス貼　LGS下地	2.500	既存配管用立上り壁・トイレブース：撤去 配管用立上り壁・甲板：新設、流し台：新設

【 外部改修工事内容 】

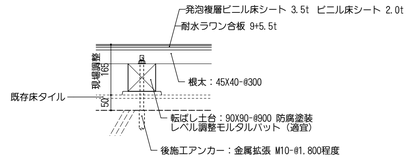
1、RC外部階段内廻り既存ステンレス手摺撤去の上樹脂被覆手摺（２段）新設（アルミ製ブラケット使用）

2、RC外部階段外周廻りへ樹脂被覆手摺（２段）新設（アルミ製ブラケット使用）

3、バルコニステンレスタラップ：FL+1.900まで切断、撤去

4、渡り廊下屋根部分２階廊下より出入口新設鉄骨外部階段への通路新設

5、鉄骨外部階段（屋根付き）新設：別紙詳細図参照



転ばし土台施工要領

【 記号凡例 】

A－Emp	アクリル系エマルジョンペイント
SOP	合成樹脂調合ペイント
EP-G	環境配慮型エマルジョンペイント（艶有り）
PB	石膏ボード

特記事項

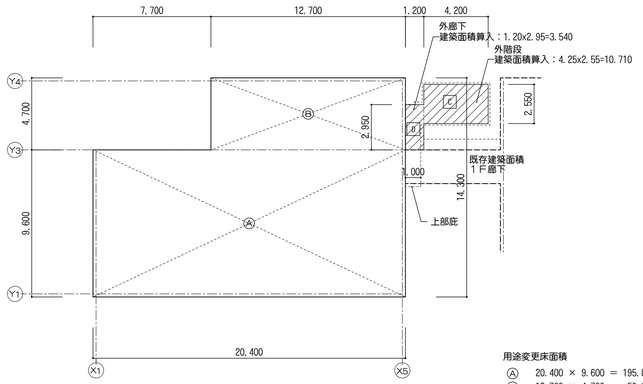
※内外各下地合板、塗装材、ビニルクロス及び接着剤、既製家具類は全てＦ☆☆☆☆品とすること。
　クロルピリホスは使用しない。・
※クロス下地の石膏ボード継ぎ目は、ジョイントテープパテ処理とすること。

耐火建築物仕様
□準耐（ロ－２）

＊不　燃
- 石膏ボード12．5t　NM－8619
- 岩綿化粧吸音板　・　NM－8599・
- 不燃ビニルクロス（防カビ共）NM－9750同等

＊準不燃
- 石膏ボード 9.5t　QM－9828
- 化粧石膏ボード 9.5t・　QM－9824
- ビニルクロス　QM－9210同等

＊基材同等
- 内部装飾（参考番号）
  - （不燃材）NM－8585
  - （準不燃材）QM－9816
  - （難燃材）RM－9364

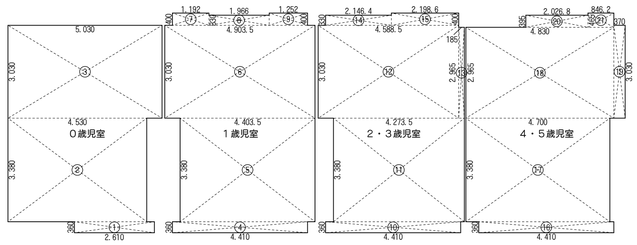


改修部分（用途変更）面積算出図　1/200

用途変更床面積

Ⓐ	20.400 × 9.600	＝	195.840 ㎡
Ⓑ	12.700 × 4.700	＝	59.690 ㎡
合 計			255.530 ㎡

建築面積算入部分：C 10.710+ D 3.540 ＝ 14.250 ㎡



保育室有効面積算出図　1/100

保育室有効面積計算

【 0歳児室 】

①	2.610	× 0.360	＝	0.939
②	4.530	× 3.380	＝	15.311
③	5.030	× 3.030	＝	15.240
合 計				31.490 ㎡

【 1歳児室 】

④	4.410	× 0.360	＝	1.587
⑤	4.403.5	× 3.380	＝	14.883
⑥	4.903.5	× 3.030	＝	14.857
⑦	1.192	× 0.400	＝	0.476
⑧	1.966	× 0.330	＝	0.648
⑨	1.252	× 0.400	＝	0.500
合 計				32.951 ㎡

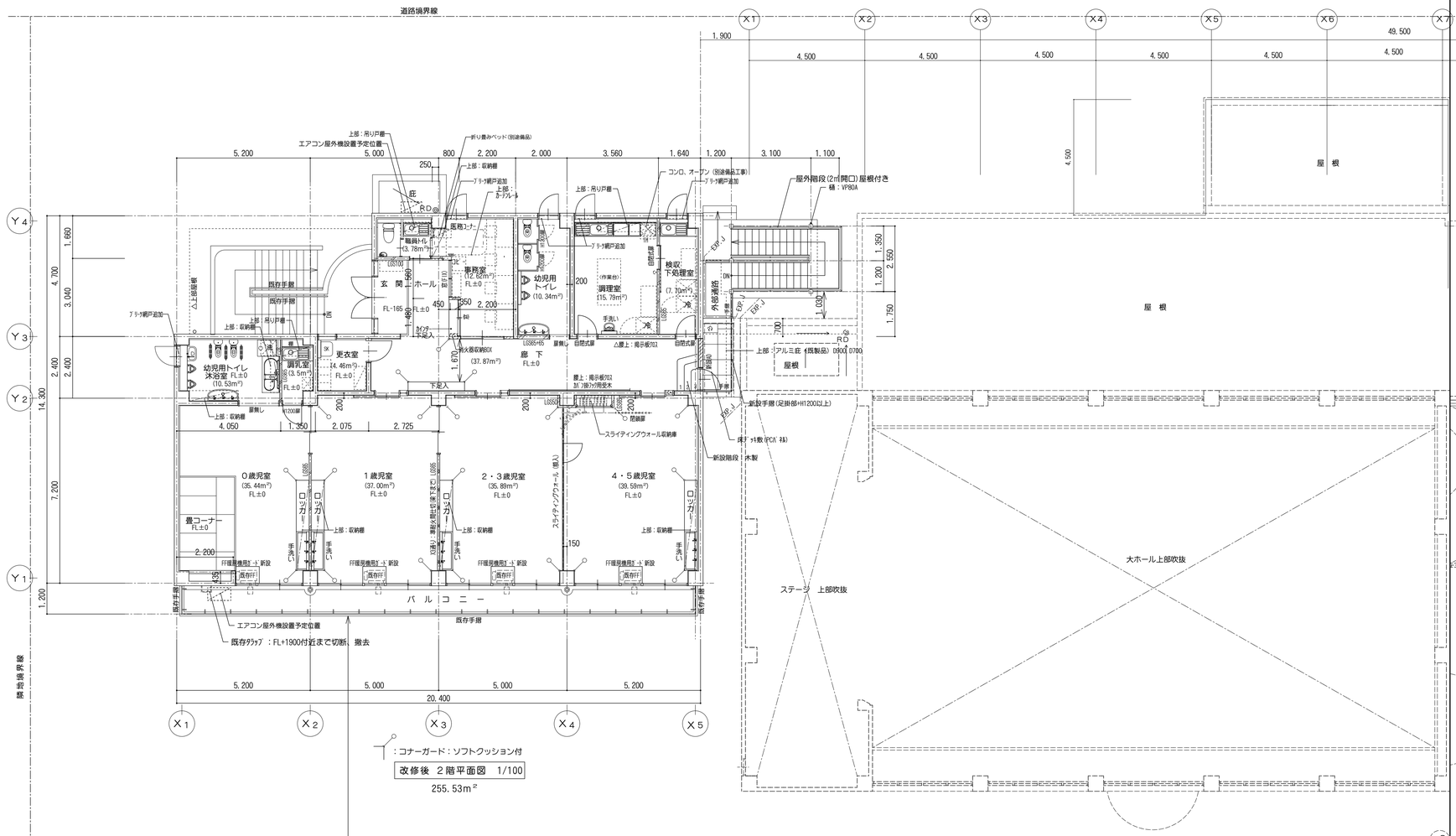
【 2・3歳児室 】

⑩	4.410	× 0.360	＝	1.587
⑪	4.273.5	× 3.380	＝	14.444
⑫	4.588.5	× 3.030	＝	13.903
⑬	0.185	× 2.965	＝	0.548
⑭	2.146.4	× 0.330	＝	0.708
⑮	2.198.6	× 0.400	＝	0.879
合 計				32.069 ㎡

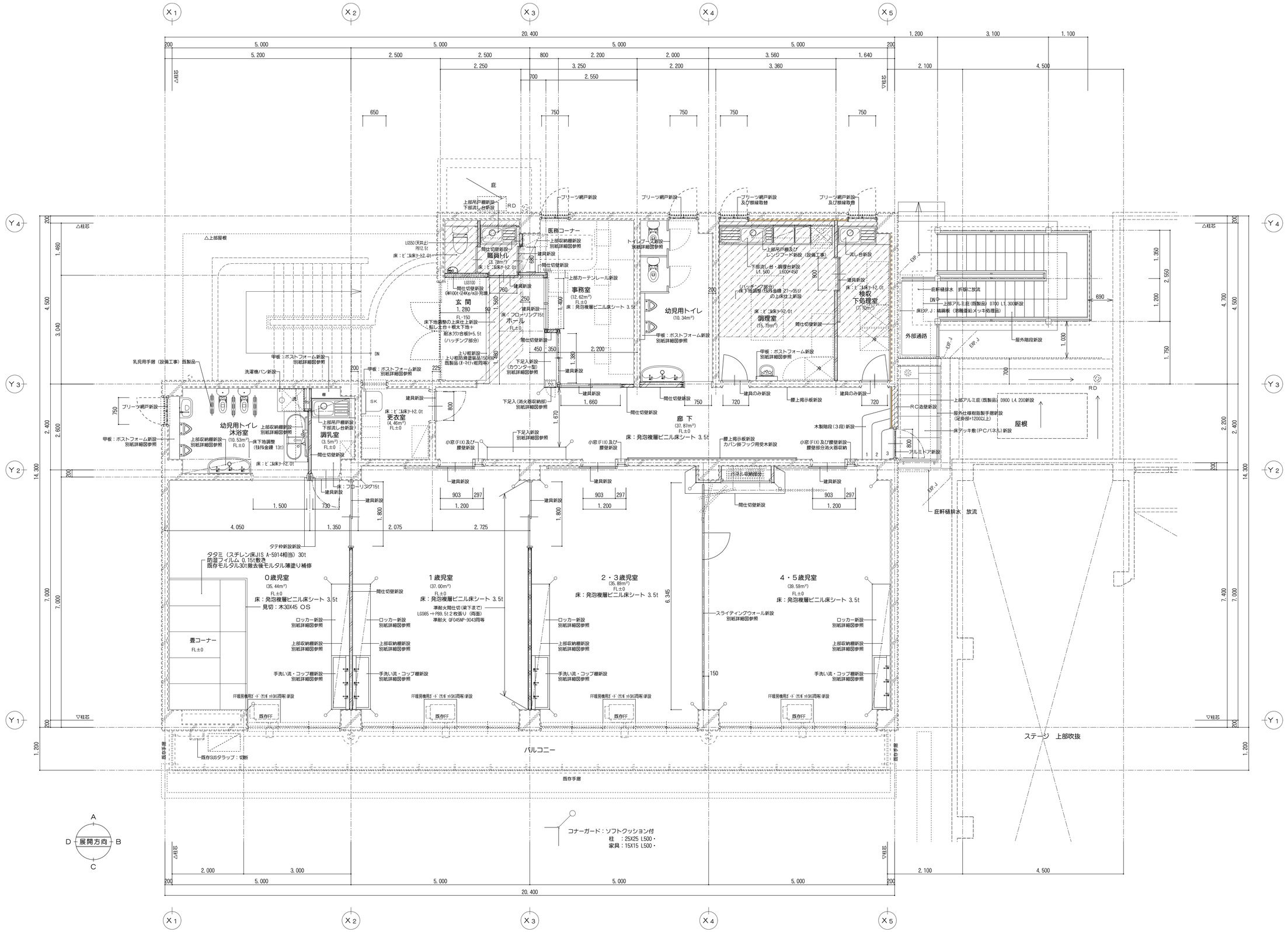
【 4・5歳児室 】

⑯	4.410	× 0.360	＝	1.587
⑰	4.700	× 3.380	＝	15.886
⑱	4.830	× 2.965	＝	14.320
⑲	0.370	× 3.030	＝	1.121
⑳	2.026.8	× 0.395	＝	0.800
㉑	0.846.2	× 0.465	＝	0.393
合 計				34.107 ㎡

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲ 冠設計（カムリ）	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	設計者その他の	縮尺 A3:1/400, 1/200 A1:1/200, 1/100
	・								工事名称：平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事 図面名称：仕上表・面積表 設計年月日：20015. 06/**
	・								図面番号：A・04
	・								



特記	・	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	㈲ 冠設計（カムリ）	管理建築士	一級建築士 第173108号 関内 重雄	その他の設計者	縮尺	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号
	・							A3:1/200 A1:1/100	図面名称	改修後 2階平面図	A・05
	・								設計年月日	2015.06/**	
	・										



特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲ 冠設計（カムリ）	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/100 A1:1/50
	・									
	・									
	・									

工事名称	図面番号
平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・	A・06
図面名称	設計年月日
改修後 2階平面詳細図	2015.06/**

廊 下
玄関・ホール
2,950
450
2,465
2,000
860
900
150
扉下FL
玄関FL
ピクトサイン
間仕切壁新設 PB12.51EP-G
建具新設
床下地調整の上床仕上新設
：転しん土台＋根太＋合板12t
上り框新設：150X90UV塗装 既製品(オーマディ框同等)・
床取り合い：シール MS-2 15X10
付け框：H150 UV塗装 既製品(オーマディ框同等)
A
2,725
5,000
5,000
200
12,925
既存壁取り合い：
塩ビ 見切
既存壁部分
OPEN
三方枠新設
室名札
2,230
1,605
クロス柄張分け
3色
掲示板新設：掲示板クロス張り
ラワン合板5.5t
(木胴縁21X30@360程度)下地
枠出隅R (30r以上)面取り
下足入新設(消火器収納部)
別紙詳細図参照
消火器収納BOX：ｽﾁｰﾙ焼付塗装完全埋込みみ
樹脂扉付 (消火器：設備工事)
外部側：複層塗材仕上E(水性ﾛｰﾗｰ) 既存取り合い部：ｻｰﾙ(MS-2 10X10)
コンクリート打設閉塞 170t
(D10-@200ﾀﾃﾖｺ)
2,200
ｴﾎﾟｷｼ樹脂系
後施工アンカー：D13-@200
L620
外壁新設
1,920
465
現場発泡ウレタン25t吹付
PB12.5t(接着工法)EP-G
木製開段(3段)新設
家具図参照
3,040
FIX
木製建具新設
家具部
コーナーガード
15X15 L500
更衣室
2,075
2,500
2,485
廊 下
玄関・ホール
12,925
5,000
2,725
木枠：25X50 EP-G
4,700
1,900
(1,605)
(1,350)
FIX
建具新設
掲示板新設：ラワン合板5.5t(木胴縁21X30@360程度)下地掲示板クロス張り
1,500
850
カバン掛フック用受木新設
60X25 EP-G
家具部
コーナーガード
15X15 L500
1,060
消火器収納部新設
腰部分壁塞ぎ新設
2,455
1,920
505
2,200
3,040
420
100
2,000
建具更新
2,495
2,480
2,075
甲板：ポストフォーム新設
別紙詳細図参照
1,570
1,300
885
調乳室
幼児用トイレ・沐浴室
1,350
4,050
吊り戸棚：L1050 H700
(既製品)
SUS水切棚L1050 1段
AC
天井吊りエアコン補強 (設備工事)
ｸﾛｽ柄張分け
甲板：ポストフォーム
アルミ水切 (既製品)
小口加ｰ付
PH
PB12.51不燃キッチンパネル6t
流し台L1,050
2,495
1,050
695
1,200
2,600
2,400
上部収納棚新設
別紙詳細図参照
間仕切壁新設
ｸﾛｽ柄張分け
1,800
2,000
備品
(洗濯機)
幼児用ﾍﾞﾝﾁ(設備)
洗濯機パン
1,200
860
ﾌﾟﾘｰﾂ網戸新設
タオルリング(設備工事)
※PHとｸﾛｽが干渉しない位置に取り付け
0歳児室
5,200
5,000
6,800
7,000
2,670
ピクトサイン
OPEN
建具新設
補助木製ﾀﾃ枠新設 EP-G
上部収納棚新設
別紙詳細図参照
コップ棚新設
別紙詳細図参照
家具部
コーナーガード
15X15 L500
ロッカー新設
別紙詳細図参照
手洗い流新設
別紙詳細図参照
既存バーチカルブラインド撤去
Wアルミカーテンレース新設
レースカーテン+引き分け無地ドレープカーテン新設
FIX
ｸﾚﾓﾅﾊﾟﾈﾙ
既存
コーナーガード：ソフトクッション付・
25X25 L500
1歳児室
5,000
7,400
7,000
2,670
FIX
建具新設
コーナーガード：ソフトクッション付・
25X25 L500
コーナーガード
掲示板新設：ラワン合板5.5t(木胴縁21X30@360程度)下地掲示板クロス張り
クロス柄張分け
3色
2,885
4,560
660
枠出隅R (30r以上)面取り
準耐火間仕切壁新設
PB9.5+9.5t(両面)
(準耐火8GF045NP-9043)
家具部
15X15 L500
コーナーガード
手洗い流新設
別紙詳細図参照
ロッカー新設
別紙詳細図参照

特記	
・	クロス柄張り分け位置は、選択クロス柄により600程度で現場調整
・	天井高さは設計値と現場施工高さが異なっており、既存高さ合わせを基本とする。(****)寸法は現場調整。
・	
・	

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury
(有)冠設計 (カムリ)

代表設計者 管理建築士
一級建築士
第１７３１０８号
関内 重雄

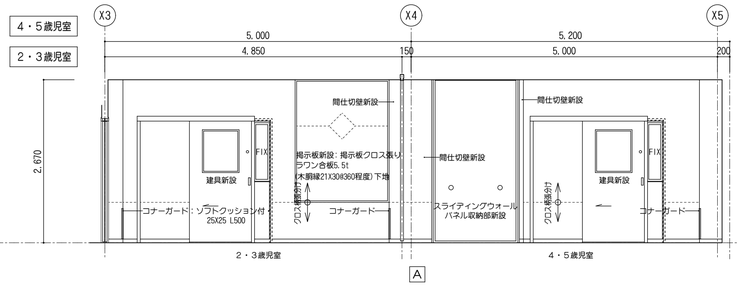
設計者 その他の
設計者

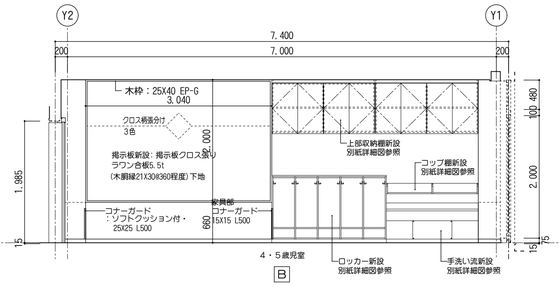
縮尺
A3:1/100
A1:1/50

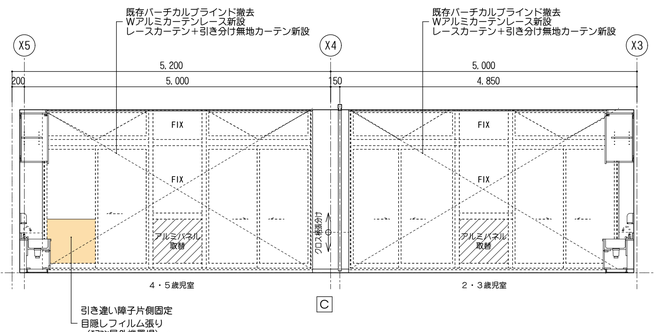
工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・
図面名称 改修後 2階展開図－1
設計年月日 2015. 06/**

図面番号 A・07

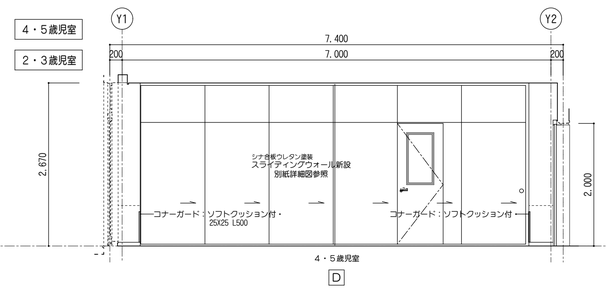
4・5歳児室
2・3歳児室

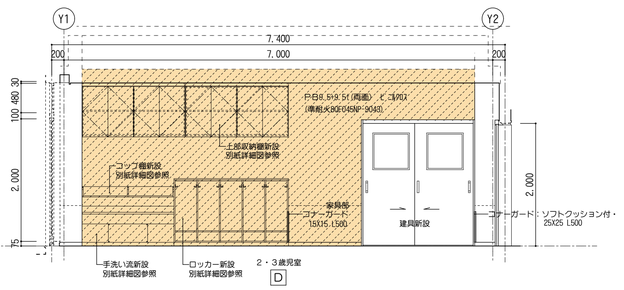


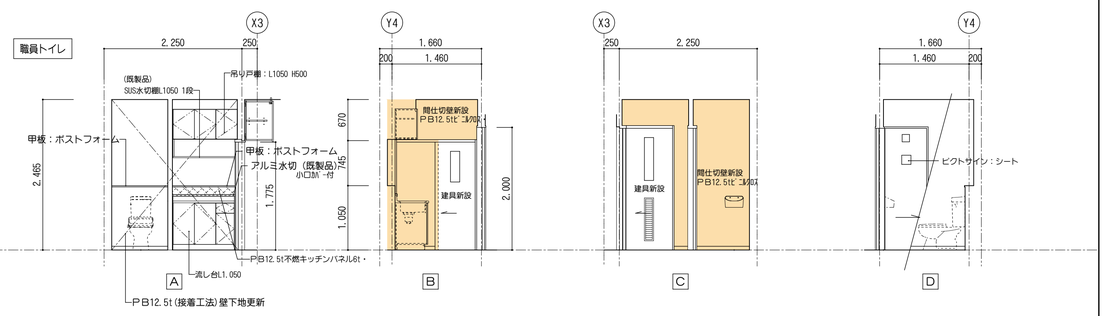




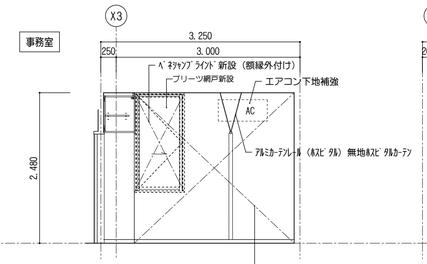
4・5歳児室
2・3歳児室

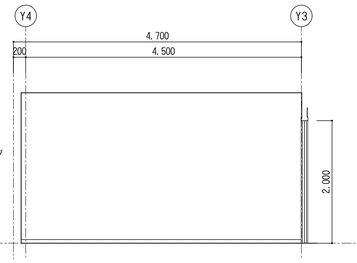


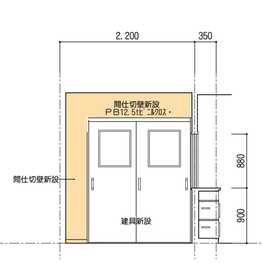


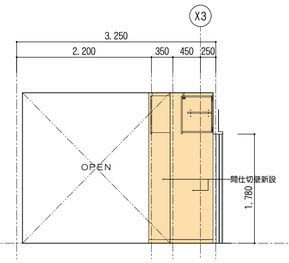


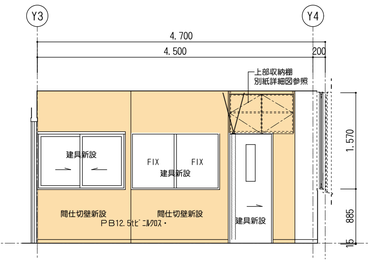
事務室



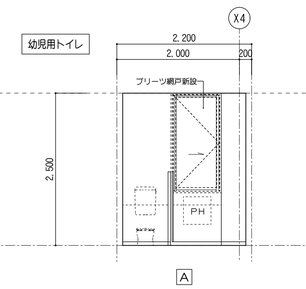


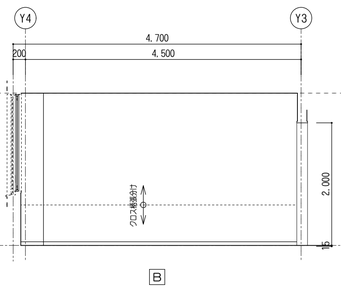


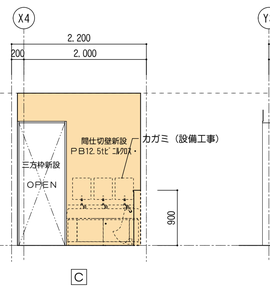


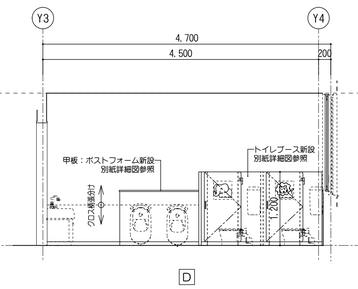


幼児用トイレ

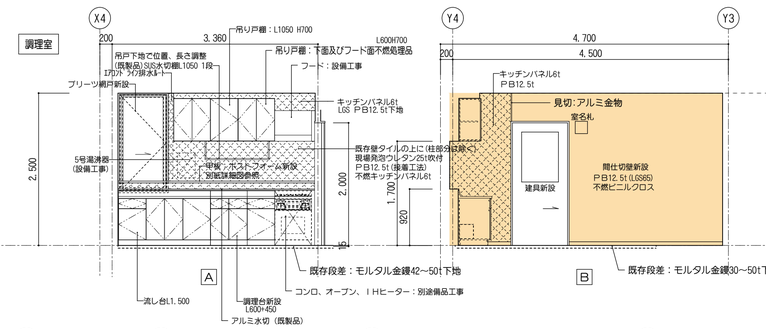




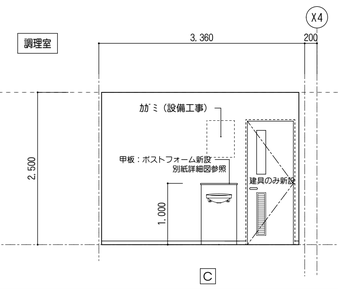


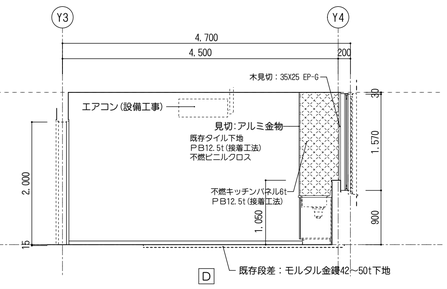


調理室

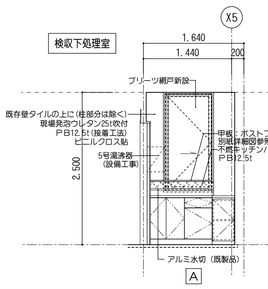


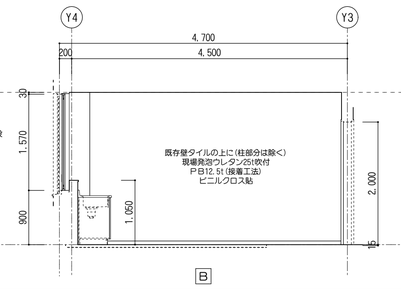
調理室

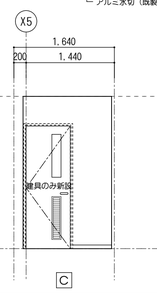


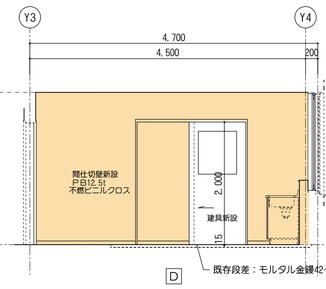


検収下処理室

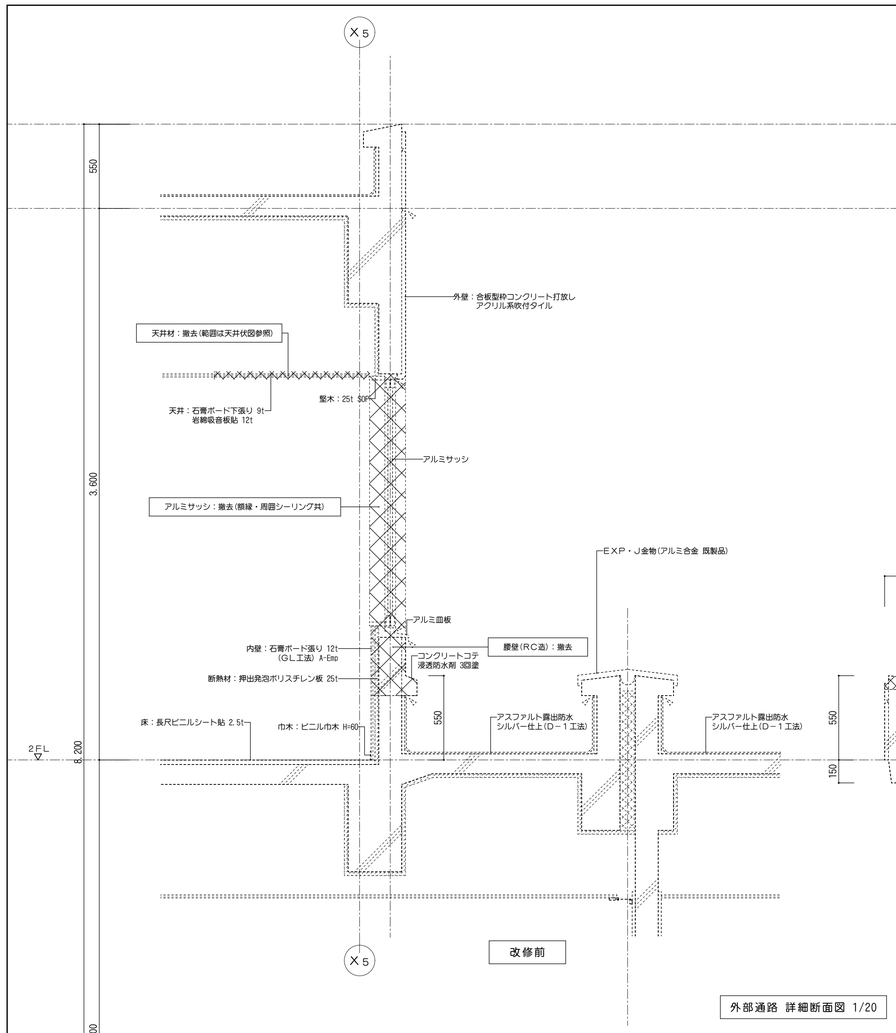




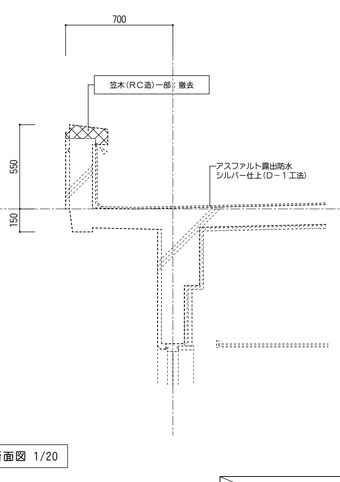




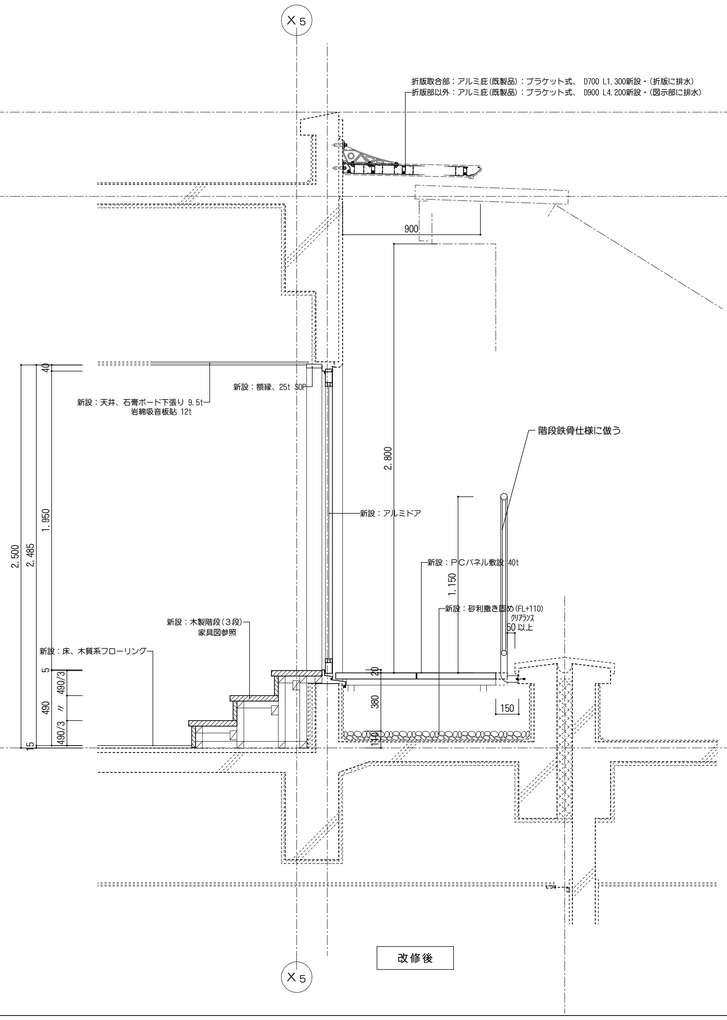
特記	・	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲ 冠設計 (カムリ)	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	設計者その他の		縮尺 A3:1/100 A1:1/50	工事名称：平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・ 図面名称：改修後　２階展開図－２ 設計年月日：2015.06/**	図面番号 A・08
	・										
	・										
	・										



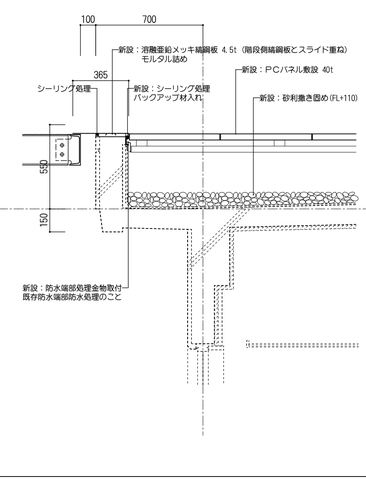
改修前

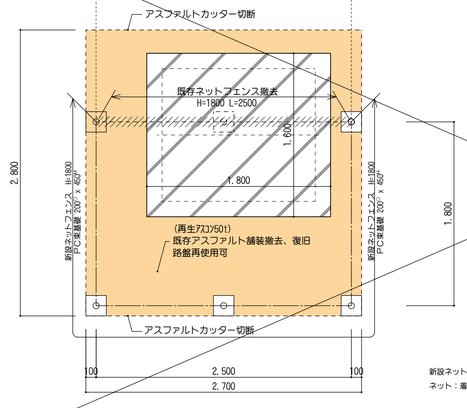


外部通路 詳細断面図 1/20



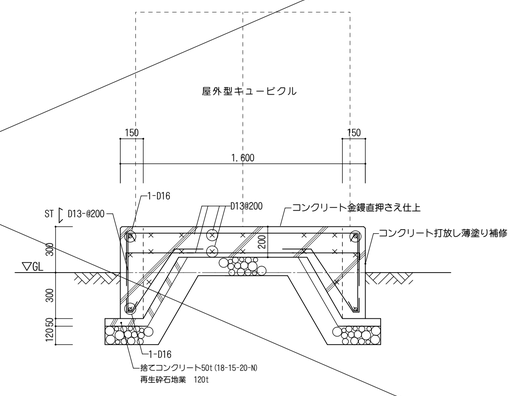
改修後





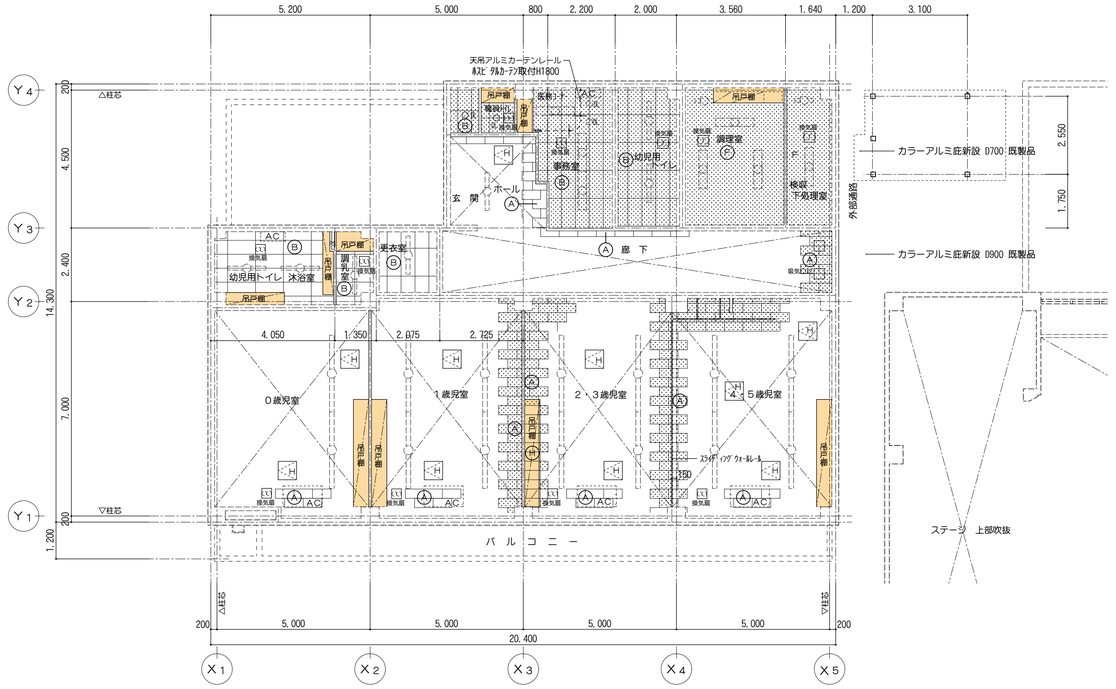
新設ネットフェンスの詳細仕様はメーカーによる。
ネット：着色塗装亜鉛メッキ鋼線

キュービクル基礎平面図 1/30
＜別途工事＞

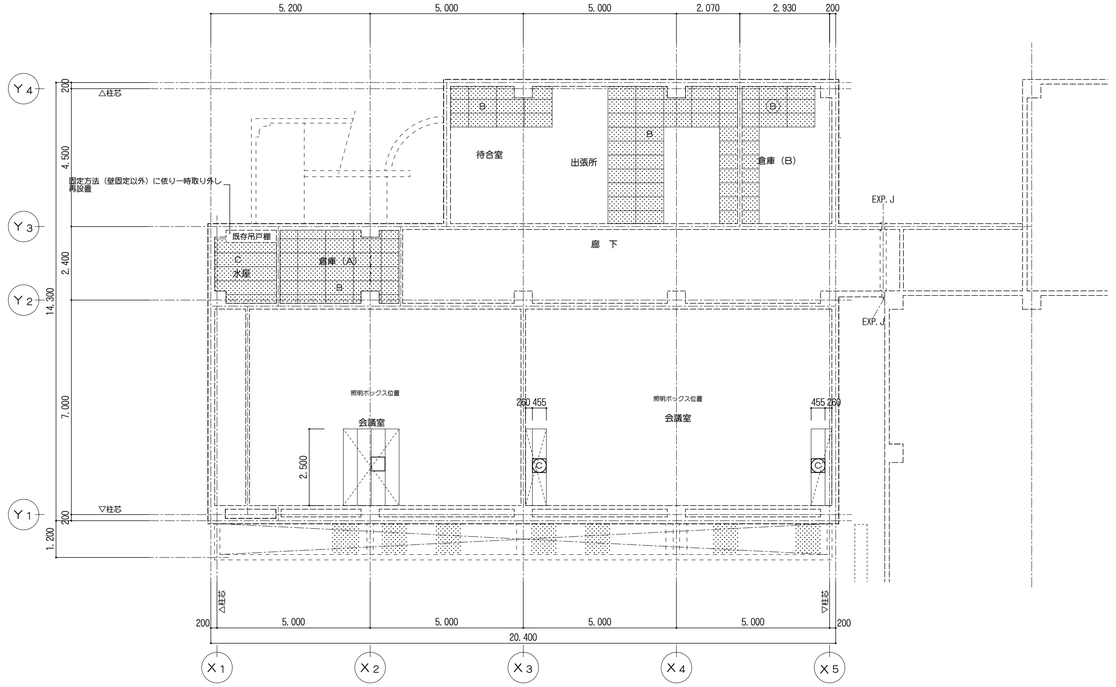


キュービクル基礎断面図 1/20
＜別途工事＞

特記	・	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲冠設計（カムリ）	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	設計者 その他の	縮尺 A3:1/40,1/60 A1:1/20,1/30	工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・
	・								図面名称 部分詳細図
	・								設計年月日 2015.06/**
	・								図面番号 A・09



改修後 2階天井伏図 1/100



改修後 1階天井伏図 1/100

天井仕上凡例	
Ⓐ	石膏ボード下張り 9.5t 岩綿吸音板貼 12t
Ⓑ	化粧プラスターボード張 9t（ジプトーン）
Ⓒ	化粧プラスターボード張 9t（杉杢・柾） 専用LGS下地
Ⓓ	石綿珪カル板張 6t アクリル系エマルションペイント EP-G
Ⓔ	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル
Ⓕ	石膏ボード下張り 9.5t 不燃防カビビニルクロス貼
Ⓗ	石膏ボード下張り 9.5t
	既存仕上材
	天井仕上材貼替部分を示す LGS天井下地共更新　塩ビ 廻り縁更新
	天井仕上材貼替部分を示す 既存LGS天井下地再利用 塩ビ 廻り縁更新
	塗装改修範囲 環境配慮型EP
既	既存天井材取り外し再設置範囲 （再使用が困難な場合は監督員と協議とする。）
	天井仕上材既存のまま
	印無し：天井点検口新設 600角 アルミ廻縁タイプ H印：天井点検口新設 600角 アルミ目地タイプ
	天井改修範囲関連照明器具（露出タイプ）
○ DL	天井改修範囲関連照明器具（埋め込みタイプ） 天井下地開口補強
換気扇 L1	天井改修範囲関連換気扇 天井下地開口補強

特記		
	・	化粧プラスターボード張 9t（杉柾）の既存品再使用の主旨は既存仕上げ材との更新ボードとの変色違いを避ける為であるが、施工が難しい場合は監督員と協議による。
	・	
	・	
	・	

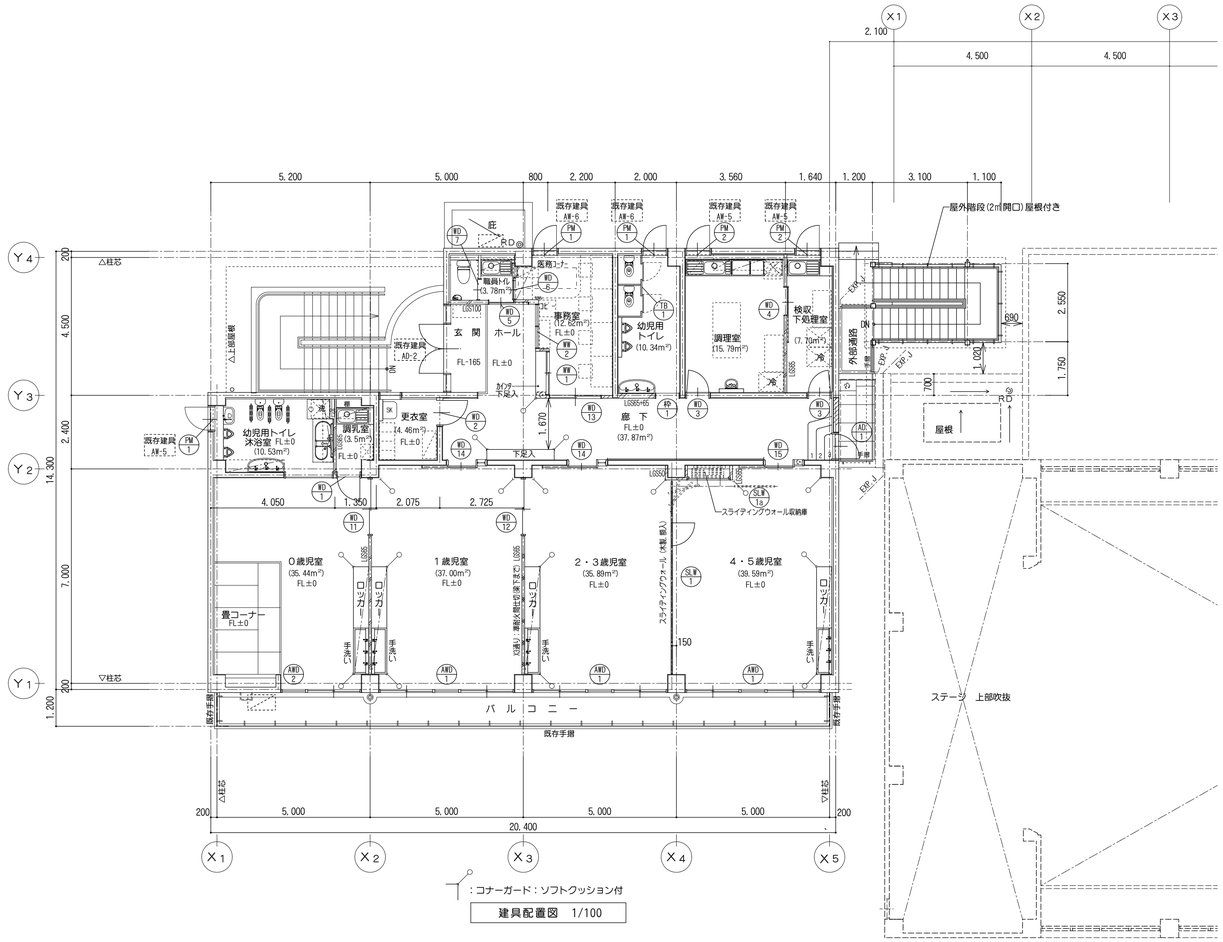
一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury
㈲ 冠設計（カムリ）

代表設計者 管理建築士
一級建築士
第１７３１０８号
関内 重雄

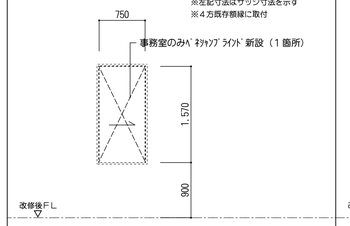
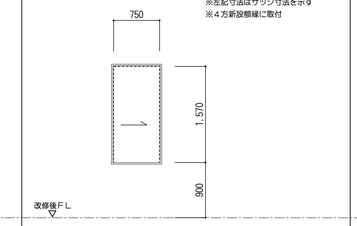
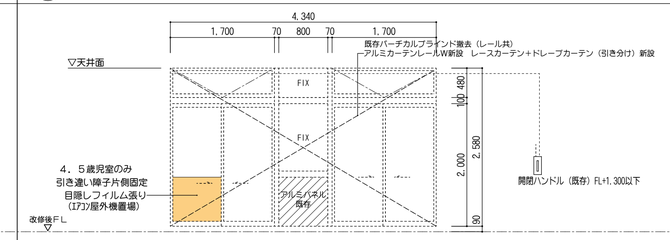
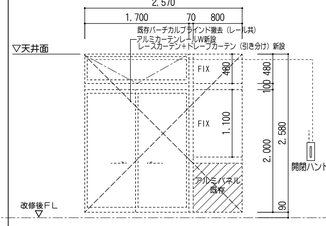
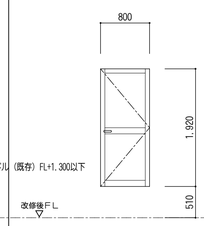
設計者 その他の

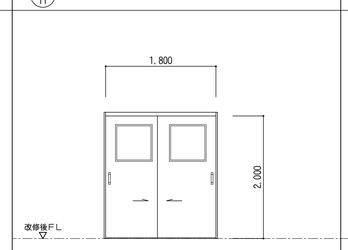
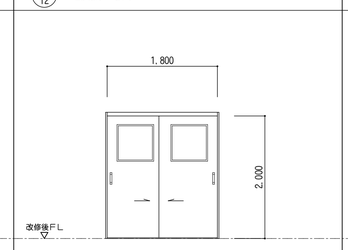
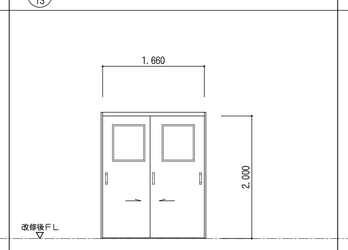
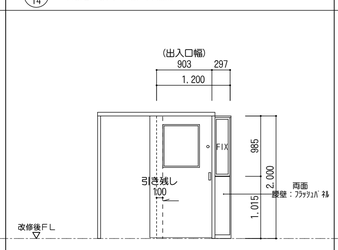
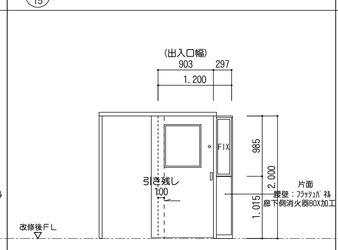
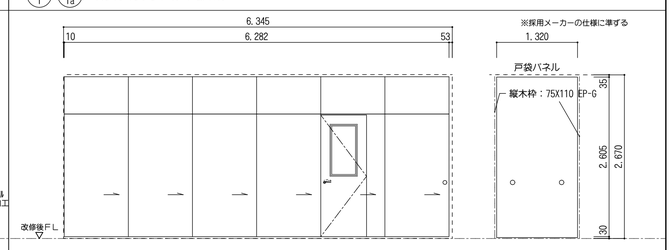
縮尺	A3:1/200 A1:1/100
工事名称	平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事・
図面名称	改修後 天井伏図
設計年月日	2015.06/**
図面番号	A・10

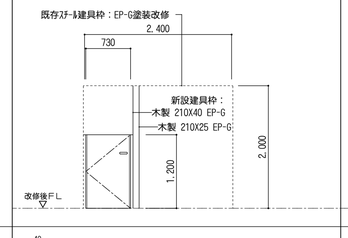
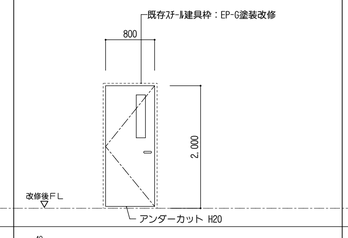
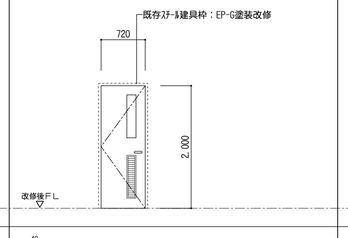
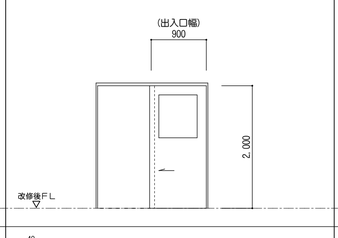
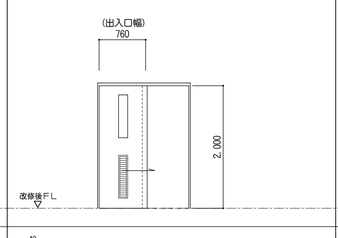
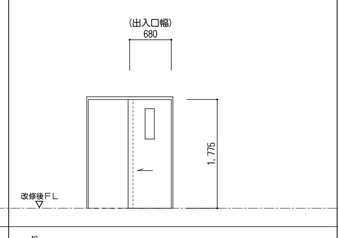
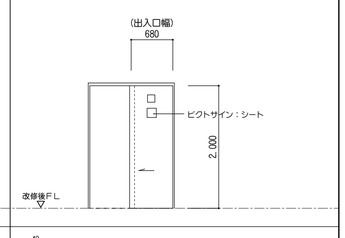


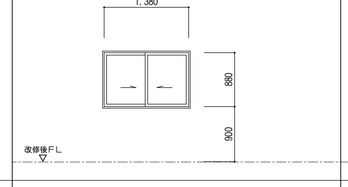
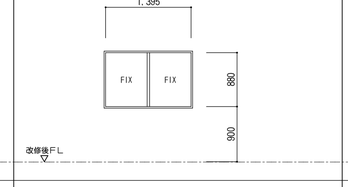
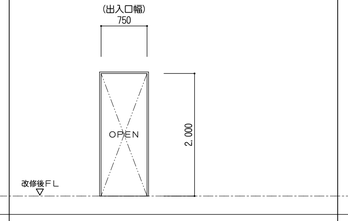
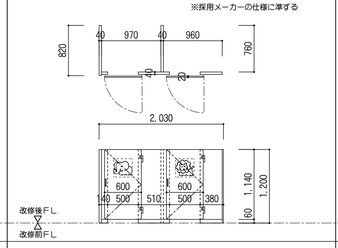
建具配置図　1/100

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	その他の設計者		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・ 図面名称 改修後 建具配置図 設計年月日 2015.06/**	図面番号 A・１１
	・											
	・											
	・											

名称	PM 1 プリーツ網戸	PM 2 プリーツ網戸	AWD 1 外倒し窓及びＦＩＸ窓付２連引違アルミサッシ（既存建具）	AWD 2 外倒し窓及びＦＩＸ窓付引違アルミサッシ（既存建具）	AD 1 片開きアルミドア　新設	
形状						
見込			70	70	70　ＲＣ枠	
仕様	プリーツ網戸　既存木額縁：EPG塗装改修	プリーツ網戸　木額縁交換：24X130程度 EPG	その他工事 既存バーチカルブラインド撤去　アルミカーテンレールW新設　レースカーテン+ドレープカーテン（引き分け）新設	特記以外ＡＷＤ－１に同じ	シルバー　防火設備	
使用金物					丁番、レバーハンドル、ドアチェック（ストップ無し）、シリンダー錠 SUS水切、四方アルミアングル	
使用硝子			既存硝子　磨き 6t	既存硝子　磨き 6t	網入フロート 6.8t（防火対応シール）	
箇所数	幼児用トイレ水浴室、事務室、幼児用トイレ　３箇所	調理室、検収下処理室　２箇所	１歳児室、２・３歳児室、４・５歳児室　３箇所	０歳児室　１箇所	廊下　１箇所	

名称	WD 11 額入引違木製ドア	WD 12 額入引違木製ドア	WD 13 引違木製ドア	WD 14 片引き木製ドア、袖ＦＩＸ窓付	WD 15 片引き木製ドア、袖ＦＩＸ窓付	SLW 1 SLW 1a スライディングウォール＋戸袋パネル
形状						
見込	36	36	36	36	36	パネル見込：50
仕様	両面ポリ合板　三方木枠 EP-G	両面ポリ合板　三方木枠 EP-G	両面ポリ合板　三方木枠 EP-G	両面ポリ合板　三方木枠、戸当り木枠 EP-G	両面ポリ合板　三方木枠、戸当り木枠 EP-G　扉下側消火器ＢＯＸ加工とする	シナ合板 5.5ｔ　ウレタン塗装 (2-UC) 仕上　天井裏下地補強共
使用金物	堀込引手、指鉄防止ﾃﾞ&戸当り、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車	堀込引手、指鉄防止ﾃﾞ&戸当り、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車	堀込引手、指鉄防止ﾃﾞ&戸当り、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車　引違戸用シリンダー錠（ｻﾑﾀｰﾝ/ｹﾙﾋﾞｰﾝ）	堀込引手、指鉄防止ﾃﾞ&戸当り、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車　、シリンダーボステ錠（ｹﾙﾋﾞｰﾝ/ｻﾑﾀｰﾝ）	堀込引手、指鉄防止ﾃﾞ&戸当り、SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車　、シリンダーボステ錠（ｹﾙﾋﾞｰﾝ/ｻﾑﾀｰﾝ）	アルミ押出型材ハンガーレール、コーナー部直角レール 接床装置（プッシュロッド式）、アルミフレーム、丸落し固定、召し合せ部固定ゴム嵌合、ケースハンドル、丸落とし
使用硝子	強化フロート硝子 4t　550X550程度　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　550X550程度　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　550X550程度　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　600X700程度　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　550X550程度　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　片面飛散防止ﾌｨﾙﾑ張り　硝子ビート押え
箇所数	０歳児室／１歳児室　１箇所	１歳児室／２・３歳児室　１箇所	事務室／廊下　１箇所	１歳児室／廊下、２・３歳児室／廊下　２箇所	４・５歳児室／廊下　１箇所	２・３歳児室／４・５歳児室　１箇所

名称	WD 1 片開き木製ドア	WD 2 片開き木製ドア	WD 3 片開き木製ドア	WD 4 片引き木製ドア	WD 5 片引き木製ドア	WD 6 片引き木製ドア	WD 7 片引き木製ドア
形状							
見込	40	40	40	40	40	40	40
仕様	ポリ合板張り　ペーパーコア芯（トイレブース仕様） タテ枠新設：210X40 210X25 EP-G(間仕切壁新設側)　既存ｽﾁｰﾙ三方枠：EP-G塗装改修	ポリ合板張り 既存ｽﾁｰﾙ三方枠：EP-G塗装改修	ポリ合板張り　アルミガラリ150X700 既存ｽﾁｰﾙ三方枠：EP-G塗装改修	ポリ合板張り 新設木製三方枠：EP-G	ポリ合板張り　アルミガラリ150X700 新設木製三方枠：EP-G	ポリ合板張り 新設木製三方枠：EP-G	ポリ合板張り 新設木製三方枠：EP-G
使用金物	Rアルミ面木（受け共）、グレビティヒンジ、レバーハンドル、シリンダー錠（横レバ調乳室側ｻﾑﾀｰﾝ） ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ	丁番３枚吊、レバーハンドル、ドアクローザー、シリンダー錠、SUS面刷（ｻﾑﾀｰﾝ/ｹﾙﾋﾞｰﾝ）	丁番３枚吊、レバーハンドル、ドアクローザー、シリンダー錠、SUS面刷（ｻﾑﾀｰﾝ/ｹﾙﾋﾞｰﾝ）	SUS製込み引手、SUS１本引きﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、引き戸用ドアクローザー、シリンダー錠錠（ｻﾑﾀｰﾝ/ｹﾙﾋﾞｰﾝ） 戸車、戸当りゴム	SUS製込み引手、SUS１本引きﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、シリンダー錠錠（ｻﾑﾀｰﾝ/ｹﾙﾋﾞｰﾝ） 戸車、戸当りゴム	SUS製込み引手、SUS１本引きﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ 戸車、戸当りゴム	SUS製込み引手、SUS１本引きﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、表示付き錠（非常時開放） 戸車、戸当りゴム、樹脂製小窓（既製）（表示/ｹﾙﾋﾞｰﾝ）
使用硝子		強化型板硝子 4t　150X700　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　150X700　硝子シール押え	強化硝子 4t　620X700　硝子シール押え	強化型板硝子 4t　150X700　硝子シール押え	強化型板硝子 4t 150X700　硝子シール押え	
箇所数	調乳室　１箇所	更衣室　１箇所	調理室、検収下処理室　２箇所	調理室～検収下処理室　１箇所	職員トイレ　１箇所	職員トイレ　１箇所	職員トイレ　１箇所

名称	WW 1 引違木製窓	WW 2 嵌め殺し木製窓	枠 1 木製三方枠ドア		TB 1 幼児用トイレブース		
形状						
見込	枠見込：110・建具見込：33	枠見込：110	枠見込：175		幼児トイレ仕様パネル見込：40・扉見込：20		
仕様	スプルース 新設木製四方枠：EP-G	スプルース 新設木製四方枠：EP-G	新設木製三方枠：EP-G		パネル部：ポリ合板（アルミエッジ仕様） ドア部：高圧メラミン樹脂化粧板（ポリ塩化ビニルエッジ仕様）		
使用金物	M型アルミレール、戸車、堀込引手、キー付きクレセント錠、戸当りゴム				樹脂ハンドル（外開ロック側）、グレビティヒンジ、ステンレス巾木、アニメシート アルミＲエッジ		
使用硝子	強化フロート硝子 4t　硝子シール押え	強化フロート硝子 4t　硝子シール押え					
箇所数	事務室　１箇所	事務室　１箇所	幼児用トイレ　１箇所		幼児用トイレ　１箇所		

特記
- 既存枠を使用する建具は既存枠寸法により調整する。
-
-
-

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camuly
(有) 冠（カムリ）設計

一級建築士
第１７３１０８号
関内重雄

設計者
その他の

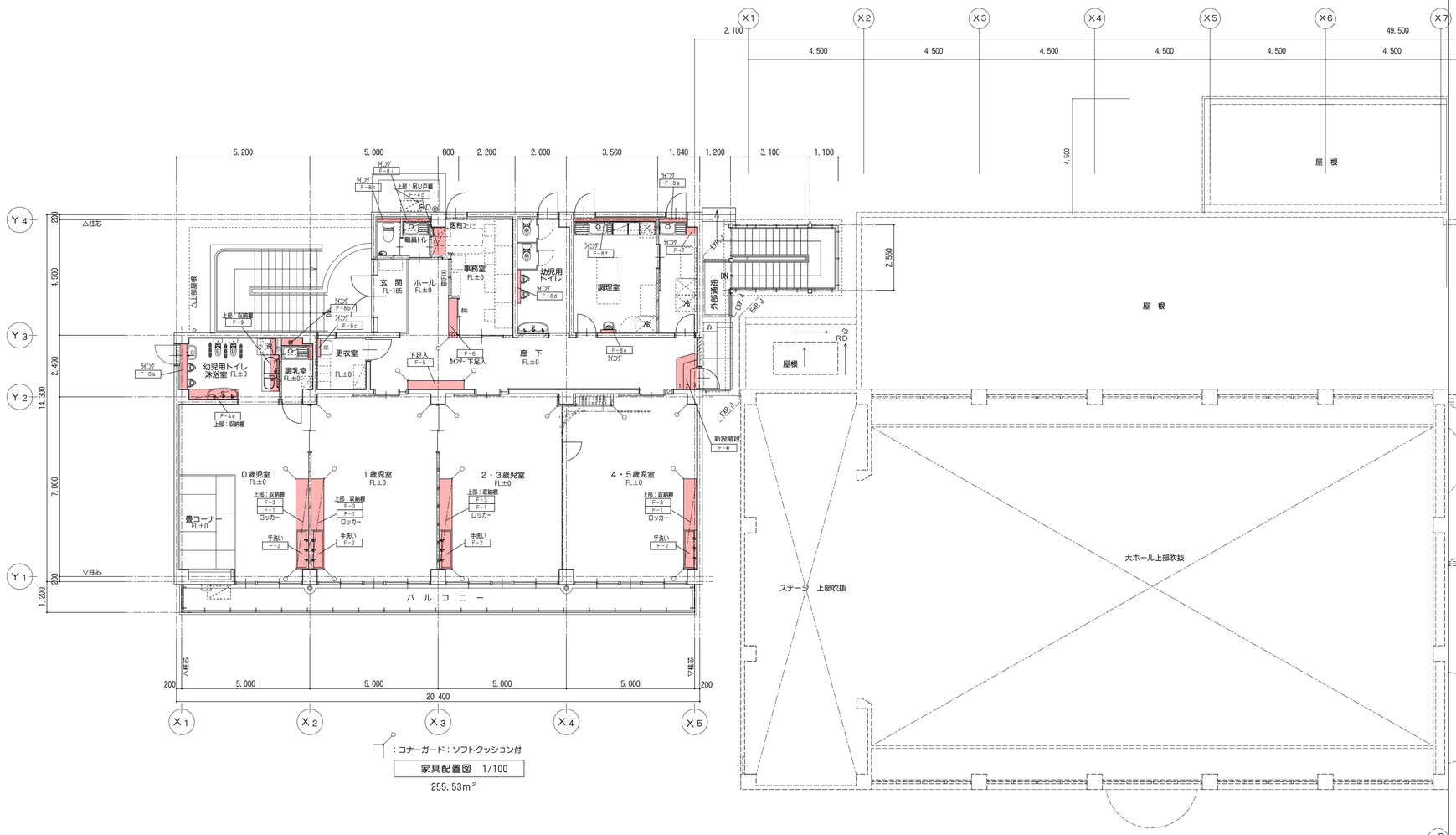
縮尺
A3:1/100
A1:1/50

工事名称　平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事・

図面名称　改修後　建具表

設計年月日　2015.06/**

図面番号　A・１２



：コナーガード：ソフトクッション付

家具配置図 1/100

255.53m²

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	管理建築士	一級建築士 第173108号 関内重雄	設計者		縮尺	A3:1/200 A1:1/100
	・									工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・
	・									図面名称	家具配置図
	・									設計年月日	2015.06/**
										図面番号	A・13

共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　室内VOC（ホルムアルデヒド等）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した両面メラミン化粧パーティクルボード（ユニボードピュアHi）厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。両面メラミン化粧パーティクルボード（ユニボードピュアHi）は、JIS-A5908適合、グリーン購入法適合品とし、新JISマーク認定工場での生産品とする。

2 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐ為に、本体は背面も含めてフラットエッジ（ABS製樹脂をホットメルト練付）加工とする。開き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ABS製　厚さ3mm又は木樹脂　厚さ2mm　ホットメルト練付）加工とする。

3 表面処理　本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制する為に鉛筆硬度　9H　以上の表面材を使用する。本体色については色見本帳（42色以上）を提出の上決定する。

4 裏板　ポリ化粧合板　F☆☆☆☆　厚さ4mm　を使用し片面フラッシュ（450mm　ピッチ以内に格子状桟組構造）とする。

5 巾木・台輪　耐水性があるポリ化粧合板仕上げ　F☆☆☆☆（塗装不要）とする。

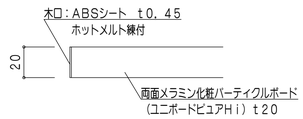
6 建具　板戸はくるいやホソ抜け防止の為、1枚物の両面メラミン化粧パーティクルボード（ユニボードピュアHi）厚さ20mmで製作する。

7 蝶番　蝶番はメンテナンスが容易なキャッチ機構付110°開きインターマートヒンジを使用する。

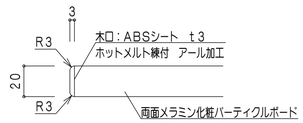
8 棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ8-M6を使用する。棚板は、外れ止めの為のダボ受けシャクリ加工をする。

9 特記事項　品質確保の為、製作は ISO 9001 取得工場とする。製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。室内空気清浄保持の為に、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定データを提出する。

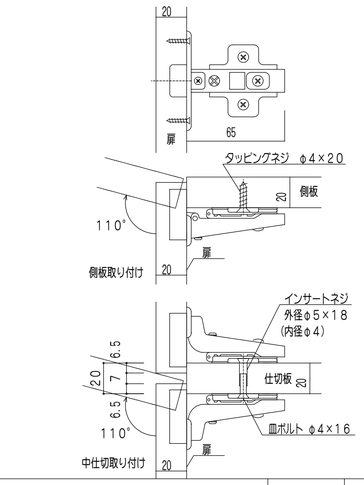
フラットエッジ



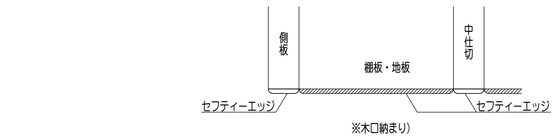
セフティーエッジ

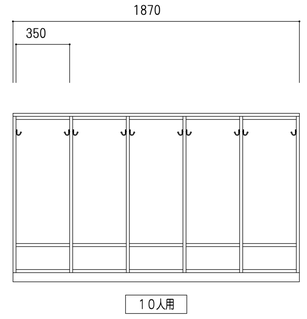


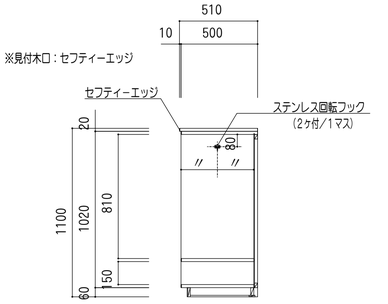
キャッチ機構付インターマートヒンジ110°詳細図



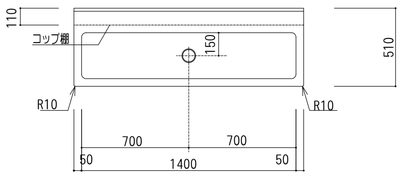
F-1　ロッカー　2階　保育室　計4ヶ所　1/20

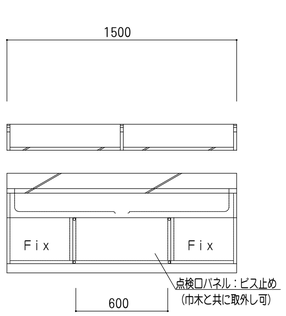


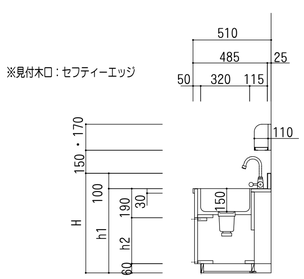




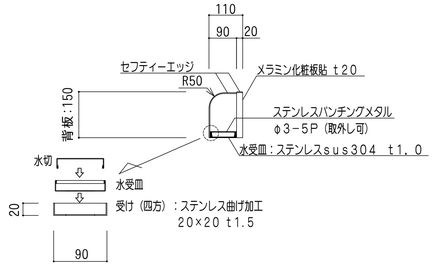
F-2　流し台・コップ棚　2階　保育室　計4ヶ所



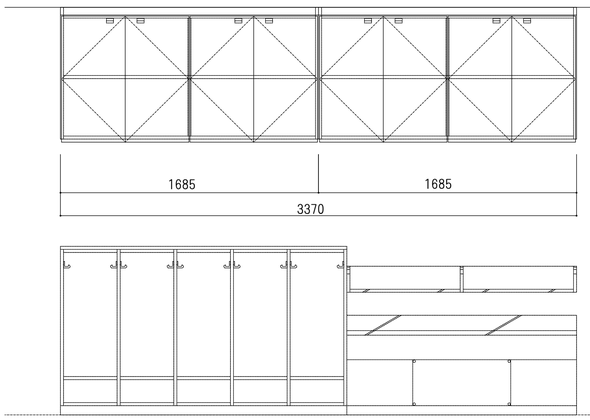


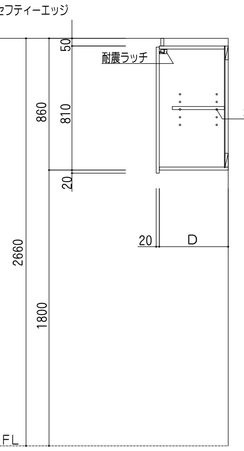


	部屋名	H	h1	箇所
a	0歳児室	600	500	1
	1歳児室	600	500	1
b	2・3歳児室	650	550	1
c	4・5歳児室	700	600	1



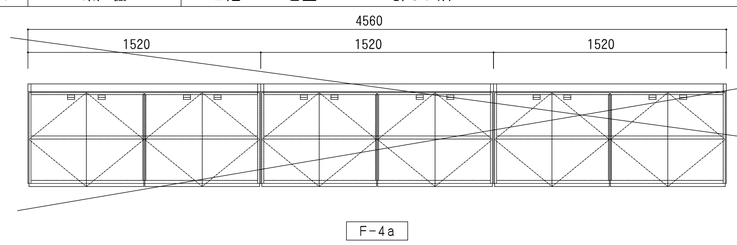
F-3　吊戸棚　2階　保育室　計4ヶ所　1/20

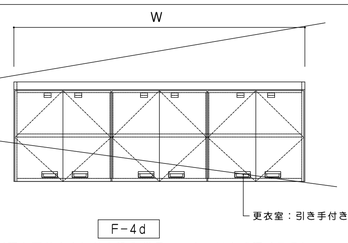


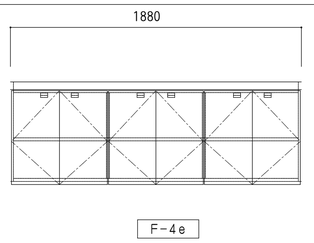


部屋名	箇所
0歳児室	1
1歳児室	1
2・3歳児室	1
4・5歳児室	1

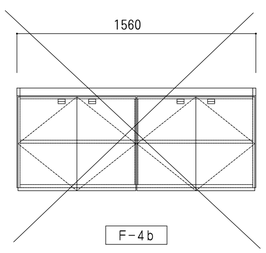
F-4　吊戸棚　2階　各室　計6ヶ所　1/20

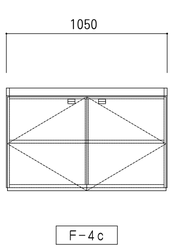


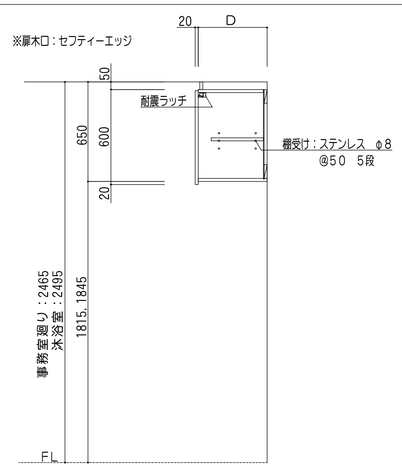




※既存天井高さと持ち込み備品ロッカーHを確認すること







	部屋名	L／W	D	箇所
a	事務室	4560	350	1
b	事務室	1560	300	1
c	事務室	1080	500	1
d	更衣室	1880	450	1
e	幼児用トイレ・沐浴室	1880	400	1

特記

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第106100032号

Camury
(有) 冠設計（カムリ）

代表設計者
一級建築士
第173108号
関内重雄

その他の設計者

尺度
A3:1/40
A1:1/20

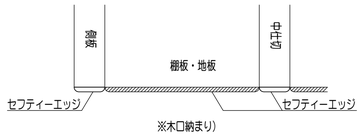
工事名称　平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・

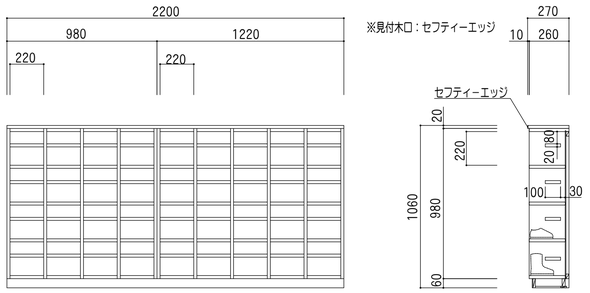
図面名称　家具図－1

設計年月日　2015.03/**

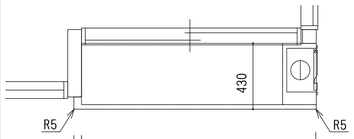
図面番号　A・14

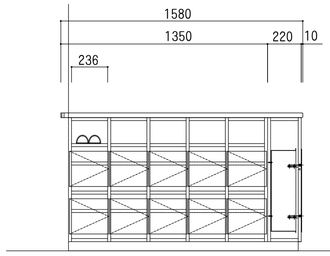
F－5　下足入れ　2階　廊下　1ヶ所　1/20

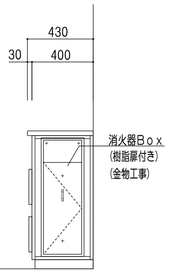


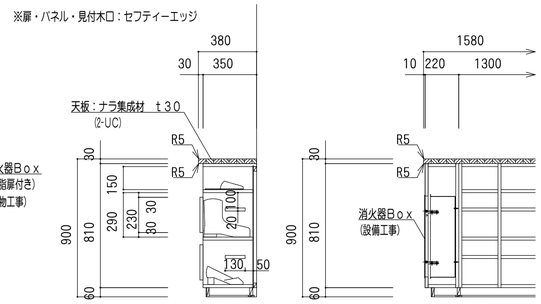


F－6　カウンター（下部下足入れ）　2階　ホール　1ヶ所　1/20

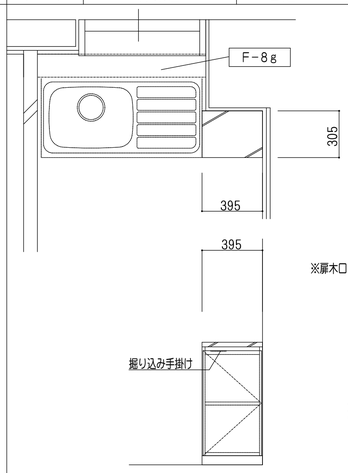


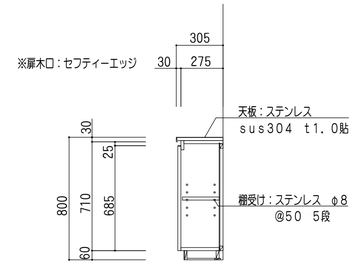




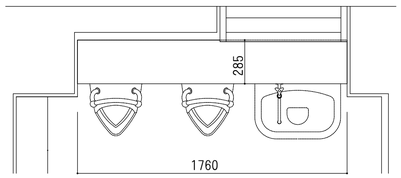


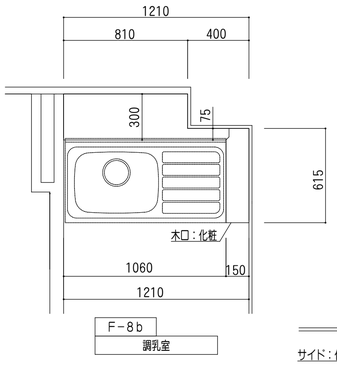
F－7　作業台　2階　検収・下処理室　1ヶ所　1/20

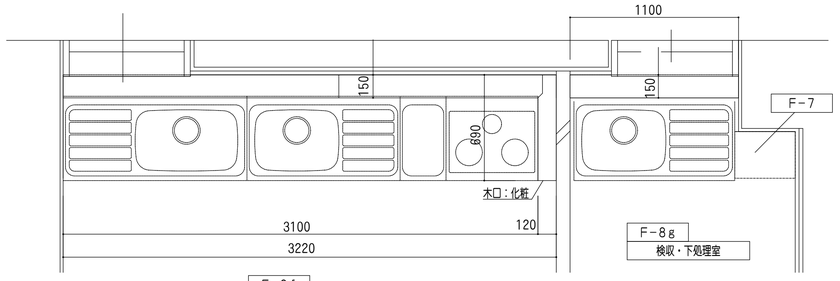


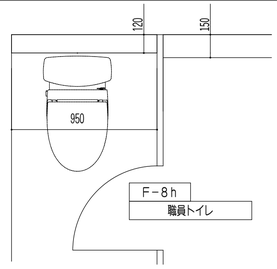


F－8　ライニング　2階　各室　計7ヶ所　1/20

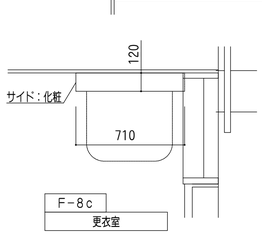


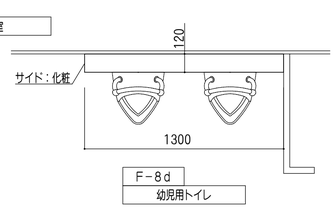


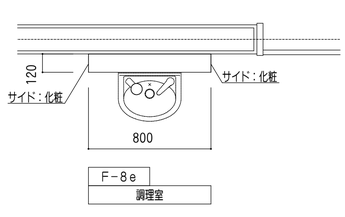


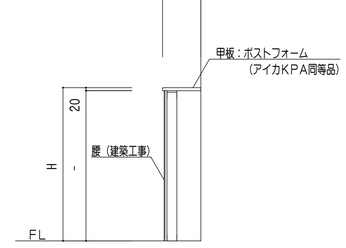


	部屋名	W	D	箇所
a	幼児用トイレ・沐浴室	1760	285	1
b	調乳室	1210	300/615	1
c	更衣室	710	120	1
d	幼児用トイレ	1300	120	1
e	調理室	600	120	1
f	調理室	3220/690	150/120	1
g	検収・下処理室	1100	150	1
h	職員トイレ	900	150	1
i	職員トイレ	1070	150	1

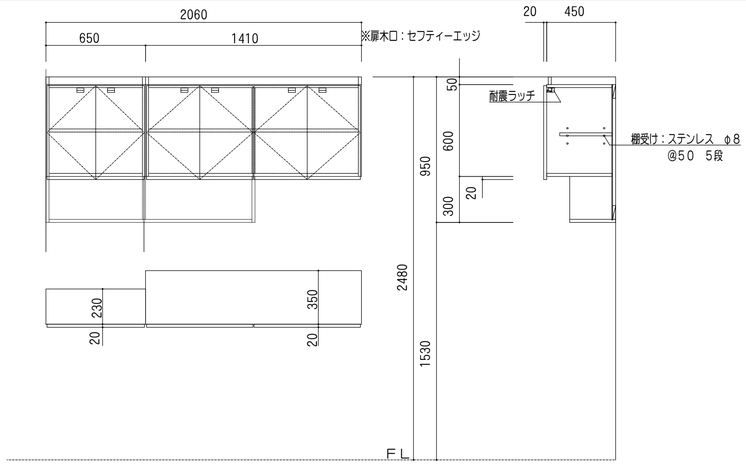




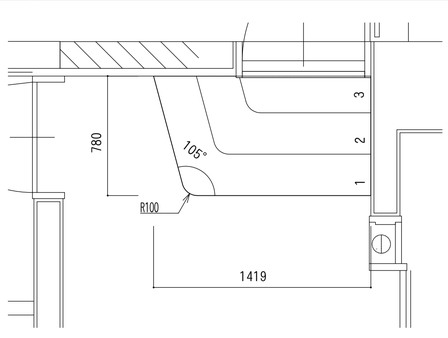


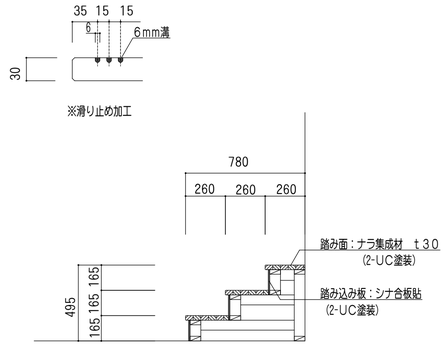


F－9　吊戸棚　2階　幼児用トイレ・沐浴室　1ヶ所　1/20



F－10　階段　2階　廊下　1ヶ所　1/20





特記	・
	・
	・
	・

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury　㈲冠設計（カムリ）

管理建築士　代表設計者　一級建築士　第１７３１０８号　関内重雄

その他の設計者

縮尺　A3:1/40　A1:1/20

工事名称　平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・

図面名称　家具図－２

設計年月日　2015.06/**

図面番号　A・１５

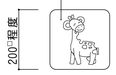
サイン詳細図　1/10

ピクトサイン A
（平付タイプ）
（３箇所）

表示面：タモ練り付け合板（既製品）
表　示：シート（ピクト）1色

ピクトサイン B
（平付タイプ）
（３箇所）

表示面：タモ練り付け合板（既製品）
表　示：シート（ピクト）1色



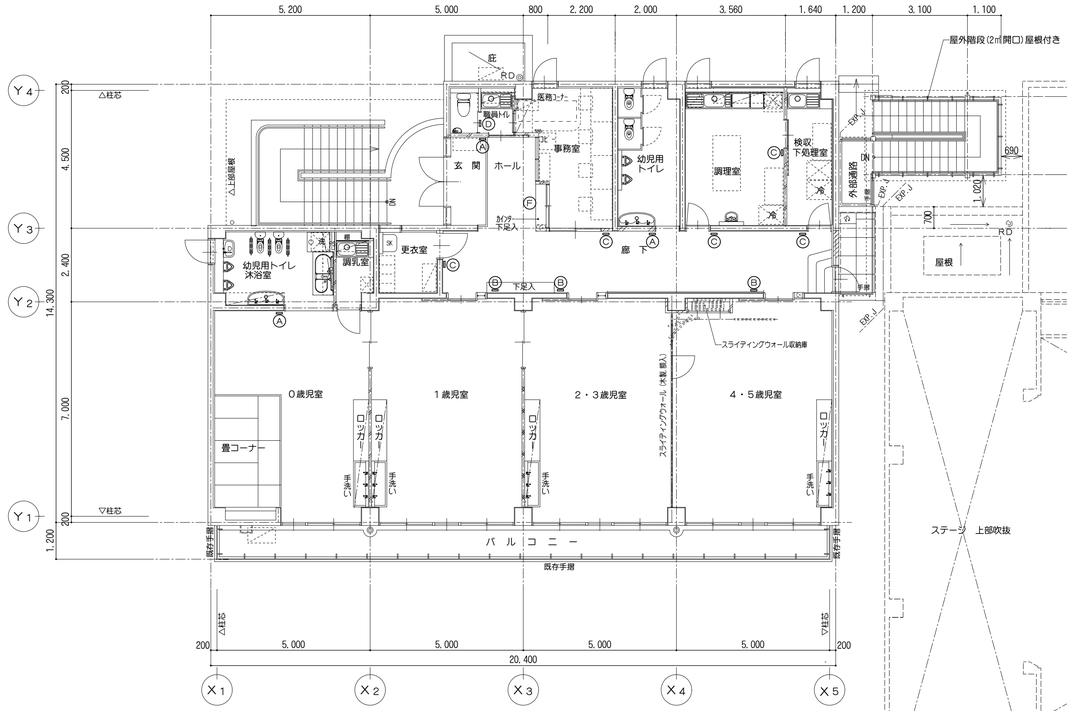
室名札 C
（平付タイプ）
（５箇所）

表示面：タモ練り付け合板（既製品）
表　示：シート（ピクト）1色

ピクトサイン D
（平付タイプ）
（１箇所）

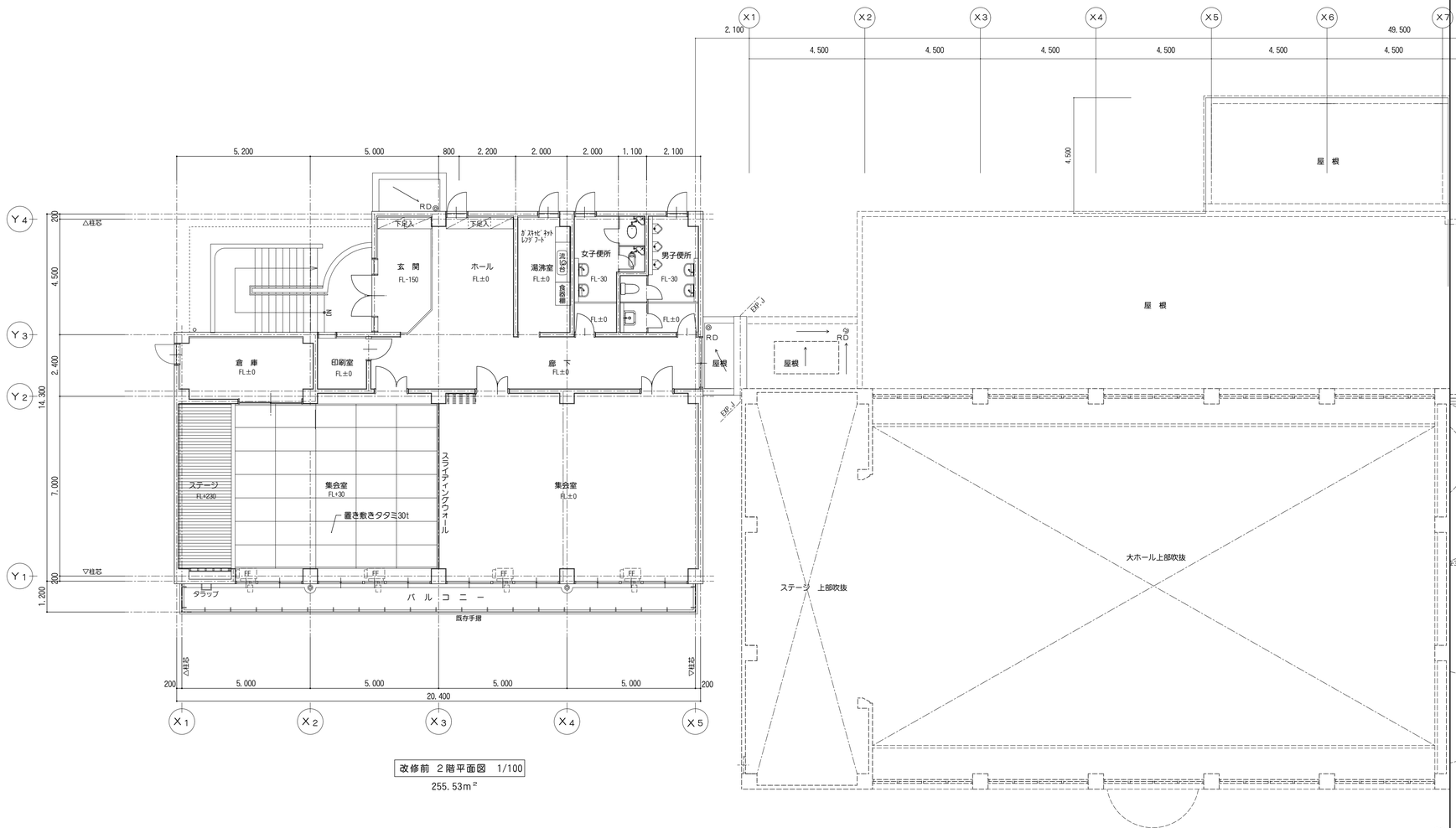
表示面：シートサイン

※ピクトのデザインは協議による。



サイン配置図　1/100

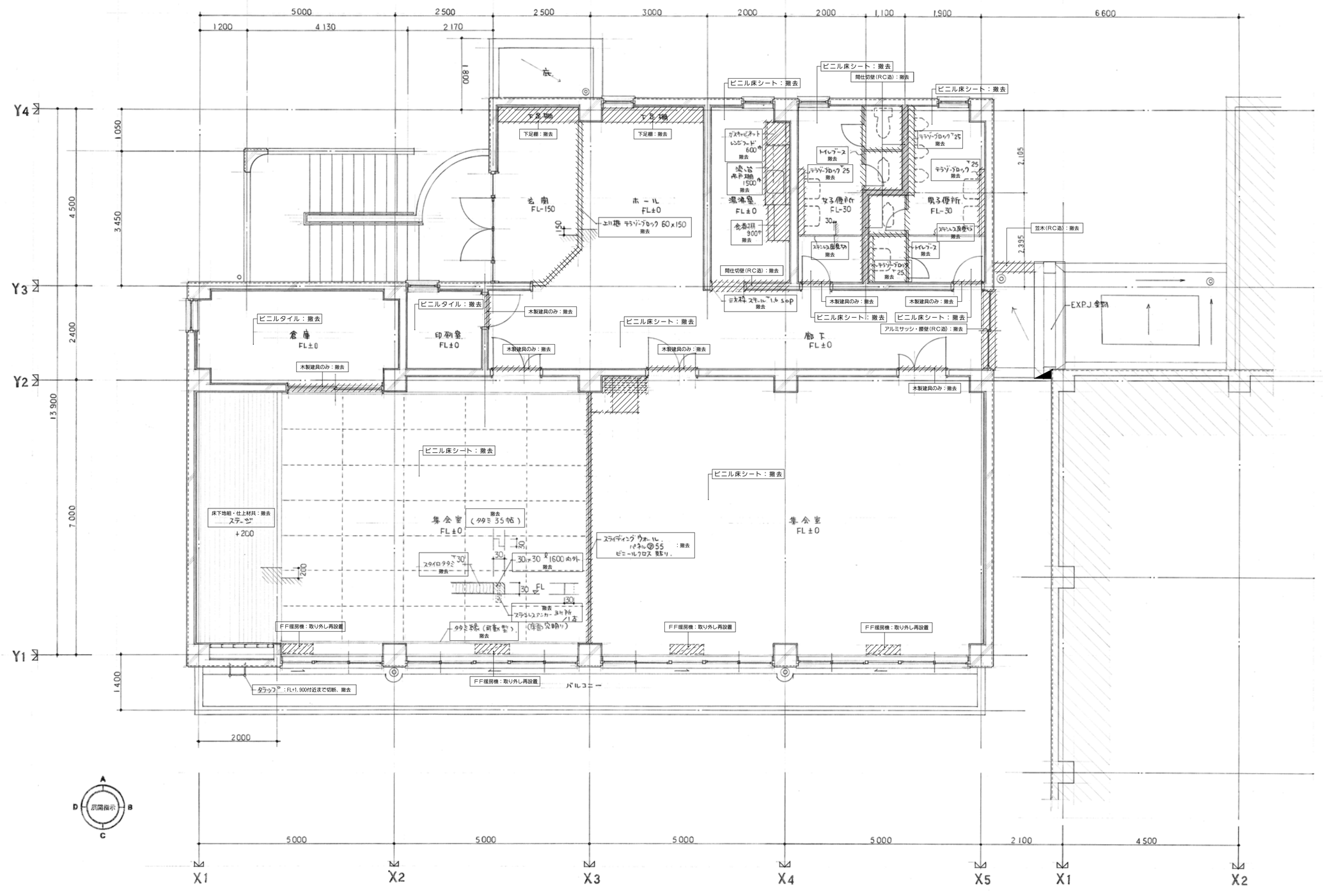
特記	・	文面、イラスト等の内容は現場協議とする。	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲冠設計（カムリ）	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関　内　重　雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/200,20 A1:1/100,10	工事名称：平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事・ 図面名称：サイン配置図、サイン詳細図 設計年月日：2015,06/**	図面番号 A・１６
	・										
	・										
	・										



改修前 2階平面図 1/100

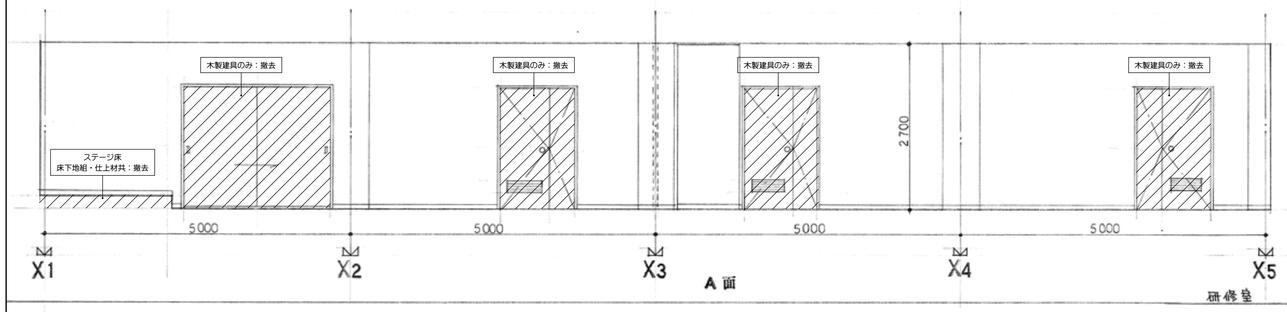
255.53m²

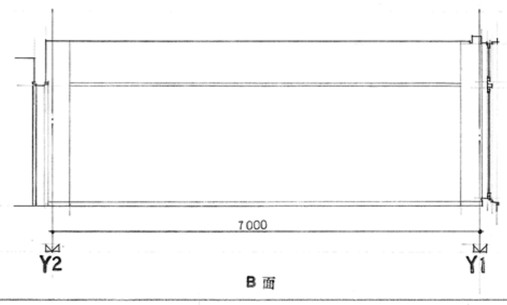
特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	管理建築士	代表設計者 一級建築士 第173108号 関内 重雄	その他の設計者		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・ 図面名称 改修前 2階平面図 設計年月日 2016.06/**	図面番号 A・17
	・											
	・											
	・											

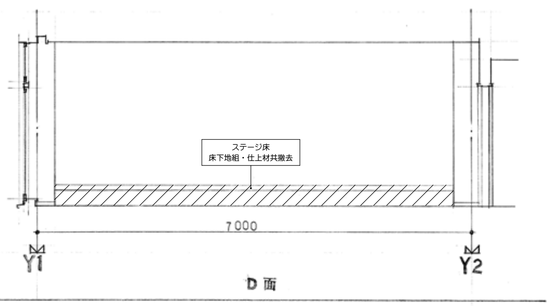


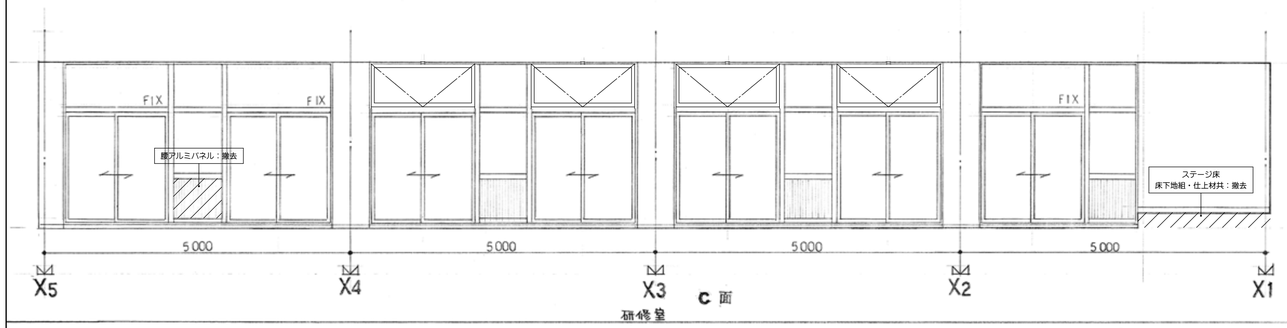
特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camry	(有) 冠設計	管理建築士	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	設計その他の者		縮尺 A3:1/100 A1:1/50
	・										
	・										
	・										

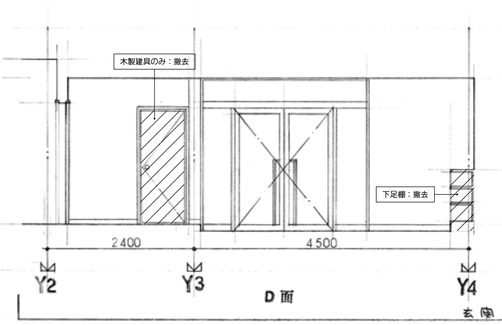
工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・	図面番号
図面名称	改修前　２階平面詳細図	A・１８
	設計年月日 2015.06/**	

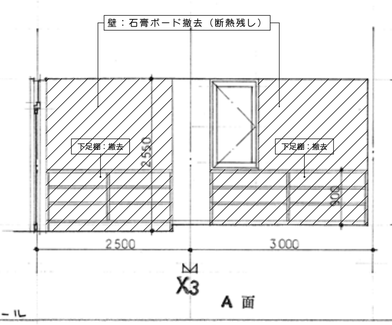


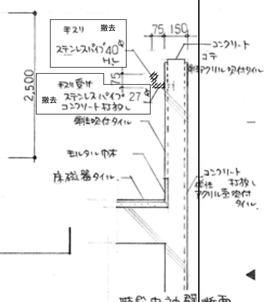


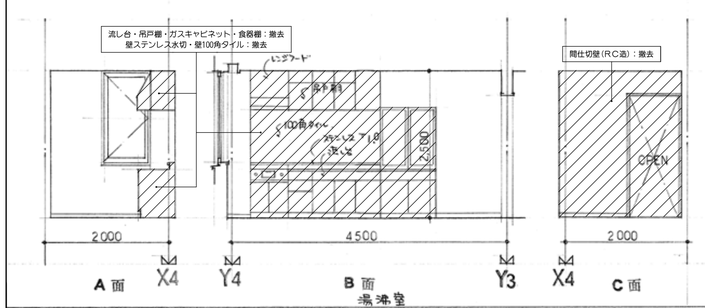


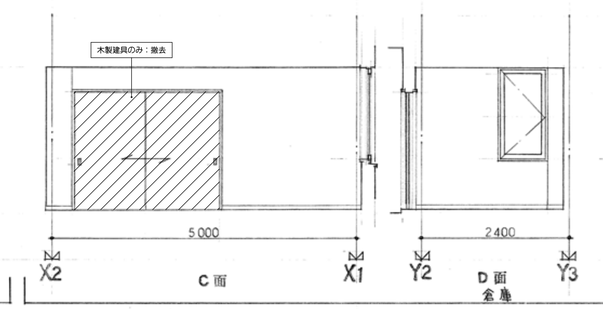


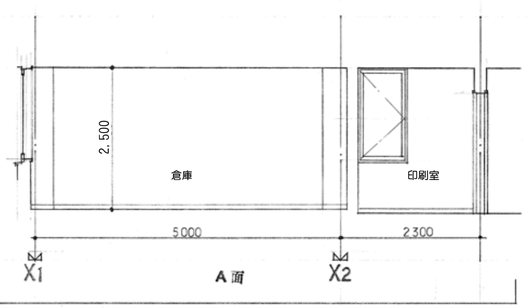


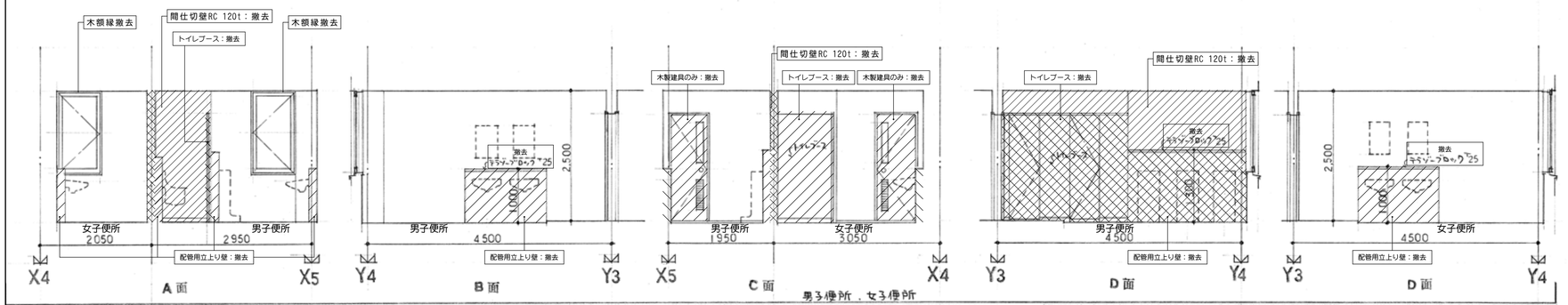


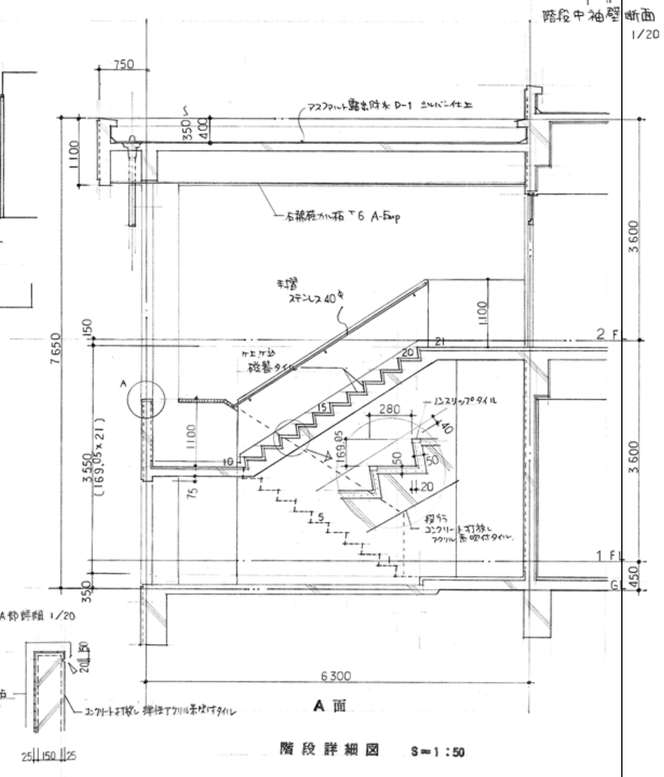




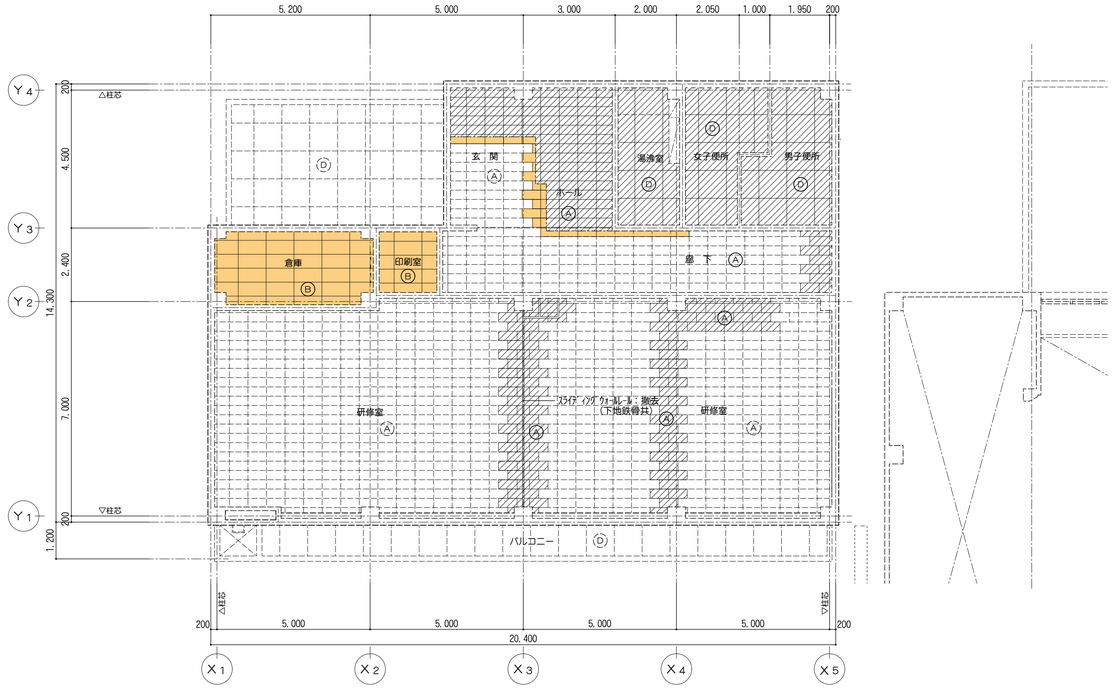




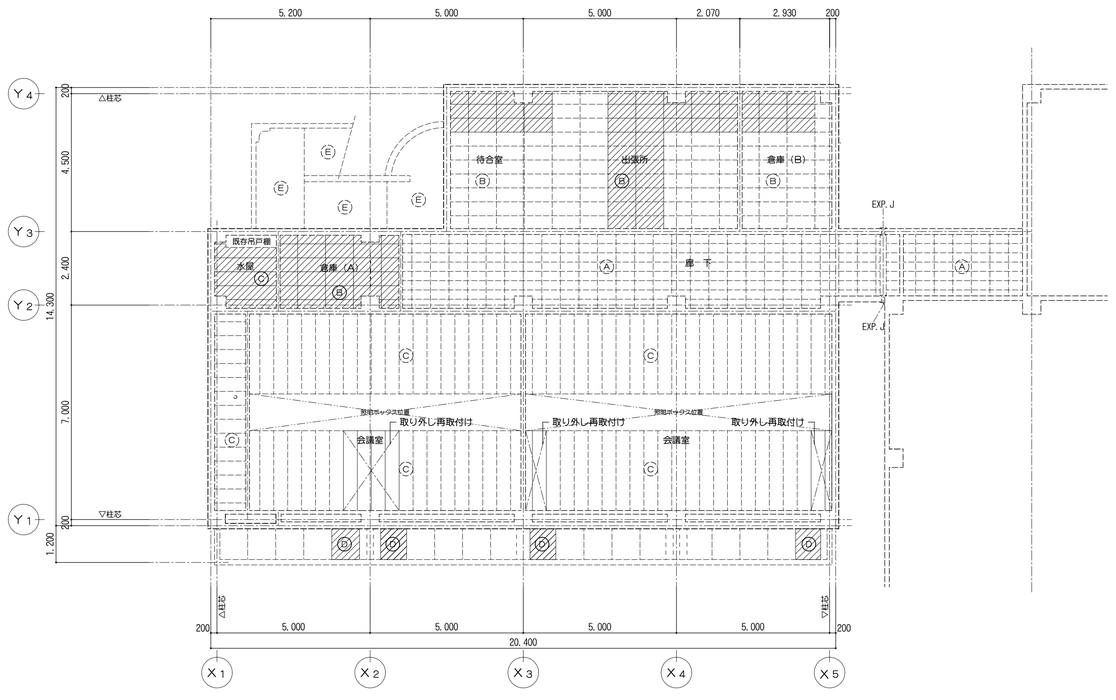




特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	管理建築士	代表設計者 一級建築士 第173108号 関内重雄	その他の設計者		縮尺 A3:1/10 A1:1/50	工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・ 図面名称 改修前 2階展開図 設計年月日 2015.06/**	図面番号 A・19
	・											
	・											
	・											



改修前 2階天井伏図 1/100

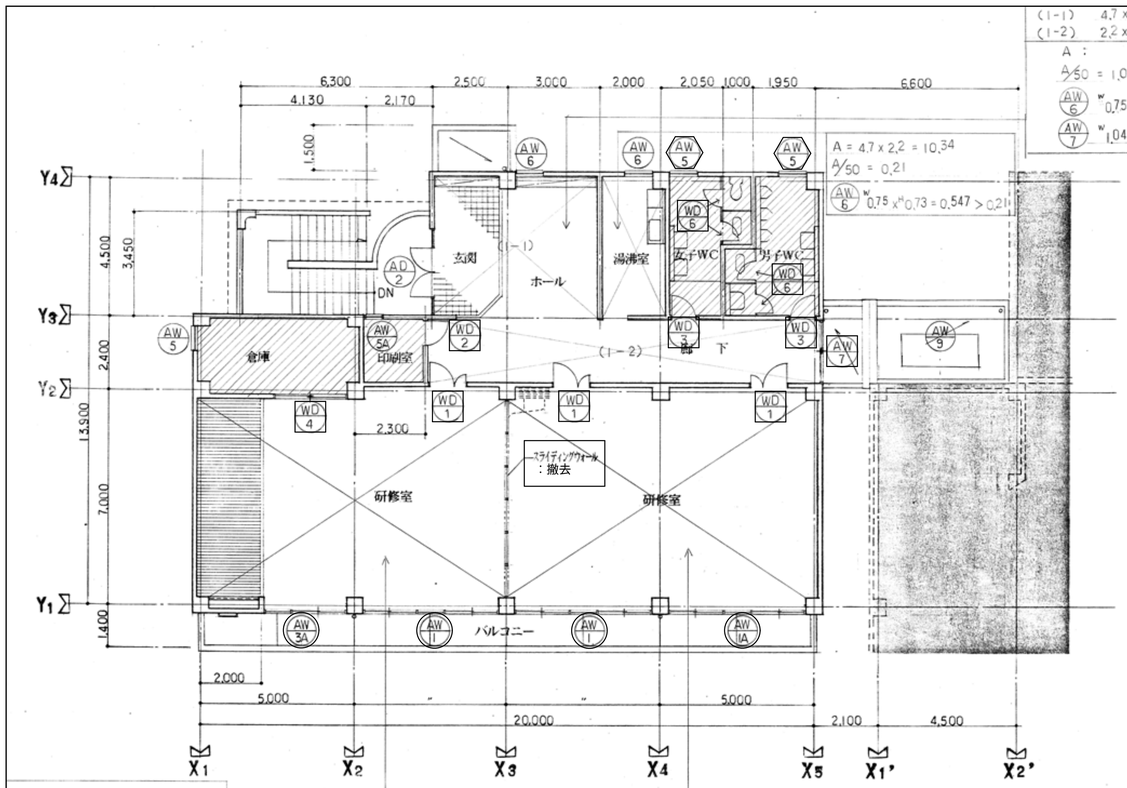


改修前 1階天井伏図 1/100

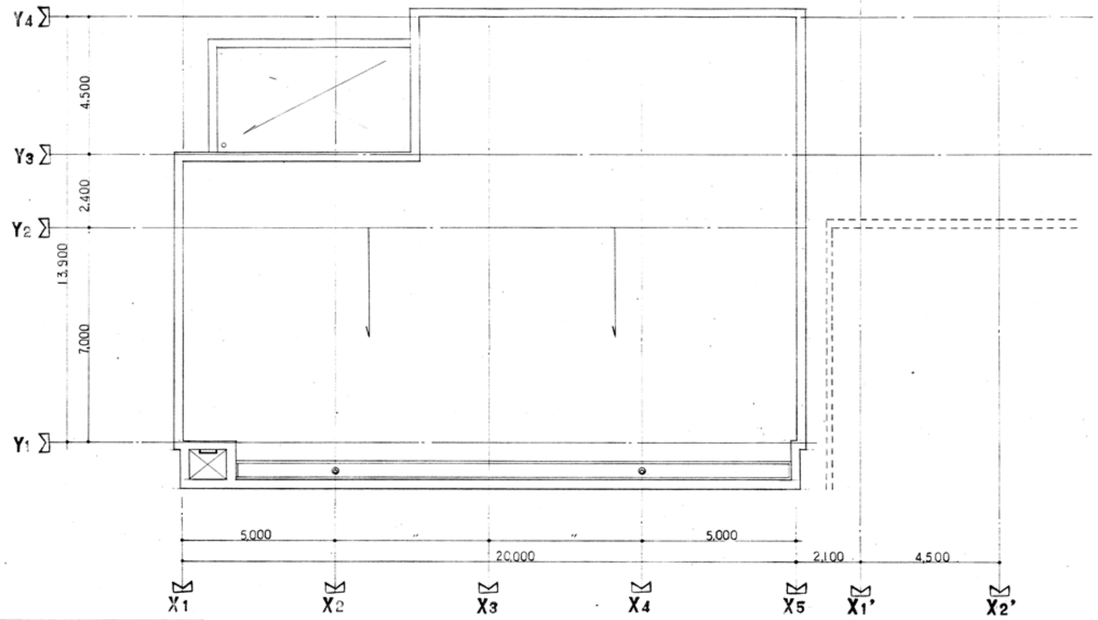
天井仕上凡例	
Ⓐ	石膏ボード下張り 9t 岩綿吸音板貼 12t
Ⓑ	化粧プラスターボード張 9t（ジプトーン）
Ⓒ	化粧プラスターボード張 9t（杉柔・桜）
Ⓓ	石綿珪カル板張 6t アクリル系エマルションペイント
Ⓔ	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル
	天井仕上材及び天井LGS下地撤去部分を示す 現況天井仕上げ材割り付けに現場で調整
	天井仕上材撤去部分を示す 現況天井仕上げ材割り付けに現場で調整

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲ 冠設計（カムリ）	管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関 内 重 雄	設計者その他の	
	・								
	・								
	・								

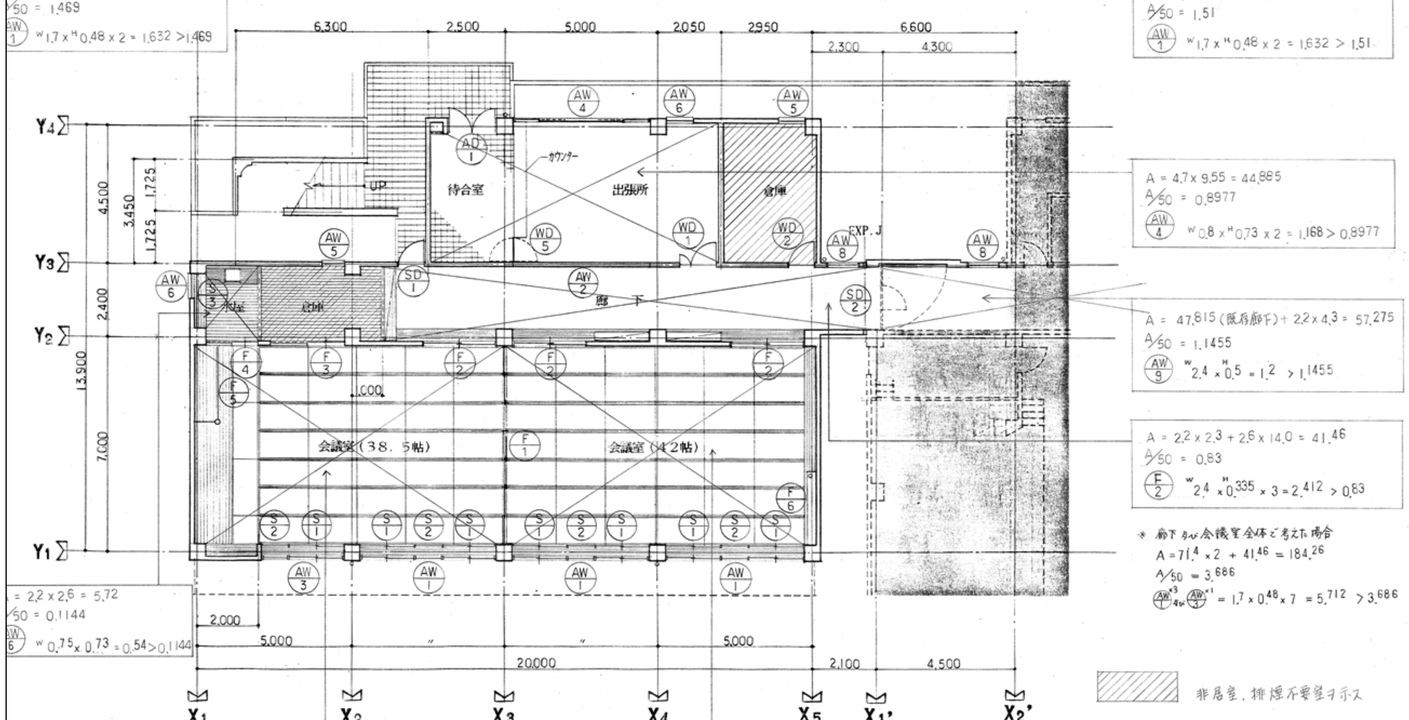
縮尺	A3:1/200 A1:1/100	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・
図面名称	改修前 天井伏図	設計年月日	2015. 06/**
図面番号	A・２０		



2階建具符号図



R階平面図



1階建具符号図

凡例

- 建具のみ撤去建具
- 腰アルミパネル撤去建具
- 額縁撤去建具

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第10610032号	Camury	㈲冠設計	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第173108号 関内重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称 平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事・
	・										図面名称 改修前 建具符号図
	・										設計年月日 2015.06/**
	・										図面番号 A・21

室名	待合室	2階玄関	1階廊下		渡り廊下	会議室　研修室	1階廊下
数量	1	1	1		1	6（1800ᴴ×3 + 2000ᴴ×3）	1
姿図 硝子	AD 1	AD 2	SD 1		SD 2	AW 1 ×5　AW 1A ×1　※AW 1Aは排煙ランマ窓をFixランマとする	AW 2
名称仕上	Fixランマ付 両開き アルミ框ドア	Fixランマ袖付 両開き アルミ框ドア	Fixランマ付片開きスチールフラッシュドア		煙感知自動閉鎖式スチール甲種防火戸(額縁SOP	Fixランマ袖 及び排煙ランマ付 アルミ引違窓	ハメ殺し窓
金物	Hf, Ps, L, Cs, Bf	同　左	H, L, Dc, Cs, Ws		Hf, Ha, Ds, Ac, Pc	M, Ws, Wk, Op, Ac	
備考	枠見込70	同　左	枠見込100, 建具見込40, SOP		建具見込50, スチール三方枠 SOP	枠見込70	同　左

室名	会議室　研修室	出張所	男子便所 女子便所 倉庫 印刷室	出張所 水屋 湯沸室 ホール	2階廊下	渡り廊下	渡り廊下屋根
数量	2（1800ᴴ×1 + 2000×1）	1	6	4	1	2	1
姿図 硝子	AW 3 ×1　AW 3A ×1　※Wrは排煙ランマ窓をFixランマとする	AW 4	AW 5 ×5　AW 5A ×1	AW 6	AW 7	AW 8	AW 9
名称仕上	Fix袖ランマ及び排煙ランマ付アルミ引違窓	アルミ片引窓　連窓	アルミ片開き窓	同　左	アルミ引違窓	アルミハメ殺し窓	外倒し排煙窓
金物	Ws, Wk, M, Ac, Op	Ws, Wk, M, Ac	Ws, Wk, Ac	同　左	Ws, M, Wk　Ac	Ws, Wk, Ac	Ws, Wk, Op, Ac
備考	枠見込70	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左

室名	出張所 研修室	倉庫 印刷室	男子便所 女子便所	倉庫	出張所	男子便所 女子便所	会議室	会議室
数量	4	2	2	1	1	4	1	3
姿図 硝子	WD 1 建具のみ撤去（2階3ヶ所分）　WD 2 建具のみ撤去（2階1ヶ所分）　WD 3 建具のみ撤去　WD 4 建具のみ撤去　WD 5　WD 6 扉・仕切ブース共撤去　F 1　F 2							
名称仕上	合板フラッシュ 親子ドア　SOP	合板フラッシュ片開ドア　SOP	同　左	合板フラッシュ 引違戸　SOP	メラミン化粧合板フラッシュ自由扉	メラミン化粧合板フラッシュ戸	引違い アスマ戸　鳥の子貼、錆 カシュー塗り	同　左
金物	H, L, Bf, Dc, Cs, T, アルミガラリ	H, L, Dc, Cs, アルミガラリ, T	H, Lf, Dc, Cs, T, アルミガラリ	,ゼンシン型レール, Sb, Pl,	Hw, ラッチ,	, Hl, Li, Ac, Cs	Pl, プラスチック戸スベリ,	同　左
備考	見込40, ミホ枠スチール sop	同　左	同　左	同　左	見込40	同　左	見込35	同　左

室名	会議室	水屋	会議室	会議室		会議室	会議室	水屋	
数量	1	1	1	1		7	4	1	
姿図 硝子	F 3　F 4　F 5　F 6　S 1　S 2　S 3								：撤去部分を示す ＊＊＊＊＊　：撤去内容を示す
名称仕上	片引きアスマ戸 鳥の子貼 倉庫面合板フラッシュ sop	片引き アスマ戸 鳥の子貼り	引違い地袋用アスマ戸 鳥の子貼	同　左		引違い障子戸, 障子紙張	2面障子Fix, 障子紙張	片開き障子窓, 紙張り	
金物	Pl, プラスチック戸スベリ	同　左	同　左	同　左		Pl, プラスチック戸スベリ,		, Ps, ラッチ,	
備考	見込35, 錆 カシュー塗り	同　左	同　左	同　左		見込35,	同　左	同　左	

建具金物記号

吊元及支持金物

H	蝶番
Hp	軸吊
Hf	フロアヒンジ
Hw	自在蝶番
Hr	ランマ用金具
Hl	ラバトリーヒンジ
Ha	オートヒンジ
Sb	下車
Sh	ハンガーレール

錠及閉鎖金物

L	シリンダー錠
Lb	箱錠
Lf	空錠
Li	標示錠
Lt	ネジ締リ錠
Lc	キャッチ錠
Ls	鎌錠
Bf	フランス落シ
Bb	上ゲ落シ
Ac	付属金物一式

操作金物

Ds	煙感知付自動閉鎖装置
De	電動装置
Da	ドアエンジン
Dc	ドアチェック
D⊕	ドアチェック（ストッパー
Dt	順位調整器
Op	オペレーター

Ps	押板取手
Pl	引手
Pc	ケースハンドル
Cs	戸当リアオリ止メ
Cm	マグネットキャッチ
Ca	アームストッパー
Ws	皿板
T	吉ズリ
Wk	錆露受け

註主

C	透明ガラス
F	型板ガラス
P	ミガキorフロートガラス
Wr	ラフワイヤーガラス 6.8㎜
Wp	プレートワイヤーガラス 6.8㎜
Gd	熱線吸収ガラス
Gr	熱線反射ガラス
E	電解着色
M	ステンレスネット網戸

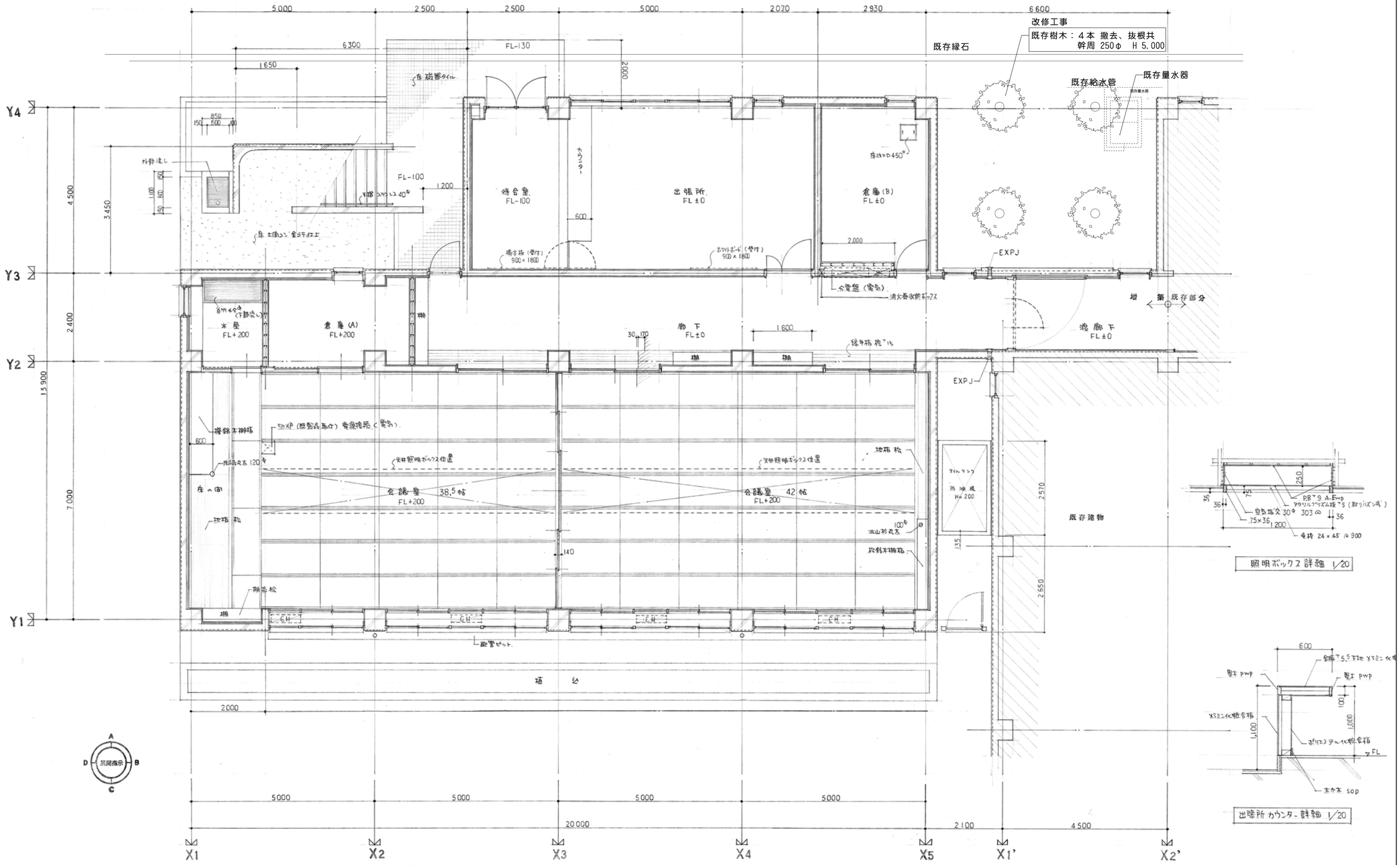
◎ 特記以外はP-5とする。

特記
・
・
・
・

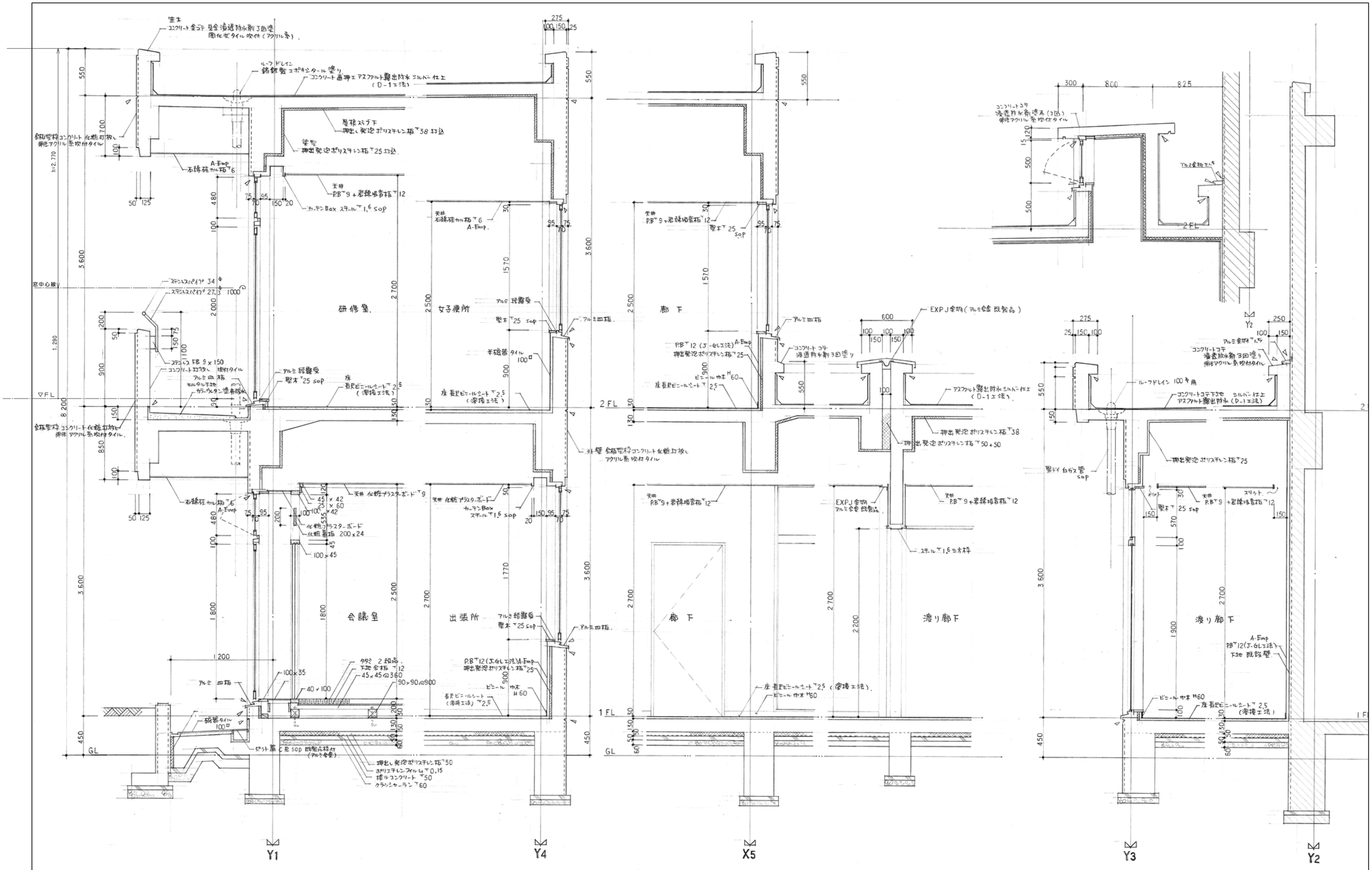
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第10610032号
(有) 冠設計（カムリ）
代表設計者 管理建築士 一級建築士 第173108号 関内重雄
設計者 その他の

縮尺 A3:1/200 A1:1/100

工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事・
図面名称 改修前 建具表
設計年月日 2015.06/**
図面番号 A・22



特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲冠設計（カムリ）	設計者 代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/100 A1:1/50	工事名称 平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事 図面名称 既存１階平面詳細図 設計年月日 2015.06/**	図面番号 A・２３
	・											
	・											
	・											



矩計図　S=1:20

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	管理建築士	一級建築士 第173108号 関内重雄	設計者	その他の	縮尺	A3:1/40 A1:1/20
	・									工事名称	平成27年度　旧富ケ丘北部会館保育所改修工事
	・									図面名称	既存矩計図
	・									設計年月日	2015.06/**
										図面番号	A・24

排 煙、採 光、換 気 計 算 書

階	タイプ	室 名	床面積	排 煙	建基令 116の2-1-2、126の3の開口部検討							採 光	建基法28-1の開口部検討										換 気	建基法28-2の開口部検討						
				必要面積	有 効 面 積						断面	判 定	必要面積	有 効 面 積								判 定	必要面積	有 効 面 積					判 定
			(A) ㎡	(B) A/50㎡	建具記号	W	H	開口部数	箇所数	(C) ㎡	番号	(告示適応番号)	(D) A/5 ㎡	建具記号	前面道路 有 無	採光水平 距離 d	採光垂直 距離 h	W	H	採光補正	廊下奥行 補 正	箇所数	(E) ㎡	(告示適応番号)	(F) A/20 ㎡	建具記号	W	H	開口部数	箇所数	(G) ㎡	(告示適応番号)
2		0 歳 児 室	35.44	0.71	AWD-2	1.65	0.45	1	1	0.74	矩計図		7.09	AWD-2	無	21.60	2.77	1.70	2.48	3.00	1.0	1	12.64		1.77	AWD-2	1.65	0.45	1	1	0.74	
					A/5	AWD-2	無	21.60	2.77	0.80	1.58	3.00	1.0	1	3.79			AWD-2	0.79	2.00	1	1	1.58	
					計					0.74		(B)≦(C) O.K		計								16.43	(D)≦(E) O.K		計				2.32	(F)≦(G) O.K
2		1 歳 児 室	37.00	0.74	AWD-1	1.65	0.45	2	1	1.48	矩計図		7.40	AWD-2	無	21.60	2.77	1.70	2.48	3.00	1.0	1	12.64		1.85	AWD-2	1.65	0.45	2	1	1.48	
					A/5	AWD-2	無	21.60	2.77	0.80	1.58	3.00	1.0	1	3.79			AWD-2	0.79	2.00	2	1	3.16	
					計					1.48		(B)≦(C) O.K		計								16.43	(D)≦(E) O.K		計				4.64	(F)≦(G) O.K
2		2・3歳児室	35.89	0.72	AWD-1	1.65	0.45	2	1	1.48	矩計図		7.18	AWD-2	無	21.60	2.77	1.70	2.48	3.00	1.0	1	12.64		1.79	AWD-2	1.65	0.45	2	1	1.48	
					A/5	AWD-2	無	21.60	2.77	0.80	1.58	3.00	1.0	1	3.79			AWD-2	0.79	2.00	2	1	3.16	
					計					1.48		(B)≦(C) O.K		計								16.43	(D)≦(E) O.K		計				4.64	(F)≦(G) O.K
2		4・5歳児室	39.59	0.79	AWD-1	1.65	0.45	2	1	1.48	矩計図		7.92	AWD-2	無	21.60	2.77	1.70	2.48	3.00	1.0	1	12.64		1.98	AWD-2	1.65	0.45	2	1	1.48	
					A/5	AWD-2	無	21.60	2.77	0.80	1.58	3.00	1.0	1	3.79			AWD-2	0.79	2.00	2	1	3.16	
					計					1.48		(B)≦(C) O.K		計								16.43	(D)≦(E) O.K		計				4.64	(F)≦(G) O.K
2		事 務 室	12.62	0.25	AW-6	0.75	0.44	1	1	0.33			0.63	AW-6	有			0.75	1.47	1.00	1.0	1	1.10		0.63	AW-6	0.75	1.47	1	1	1.10	
					既存								A/20												既存						
					計					0.33		(B)≦(C) O.K		計								1.10	(D)≦(E) O.K		計				1.10	(F)≦(G) O.K
2		調 理 室	15.79	0.32	AW-5	0.75	0.44	1	1	0.33			0.79	AW-5	有			0.75	1.47	1.00	1.0	1	1.10		0.79	AW-5	0.75	1.47	1	1	1.10	
					既存								A/20												既存						
					計					0.33		(B)≦(C) O.K		計								1.10	(D)≦(E) O.K		計				1.10	(F)≦(G) O.K
2		検収下処理室	7.70	0.15	AW-5	0.75	0.44	1	1	0.33			0.39	AW-5	有			0.75	1.47	1.00	1.0	1	1.10		0.39	AW-5	0.75	1.47	1	1	1.10	
					既存								A/20												既存						
					計					0.33		(B)≦(C) O.K		計								1.10	(D)≦(E) O.K		計				1.10	(F)≦(G) O.K

採光斜線 4/10　　補正係数6d/h-1.4

主要居室面積計算

0歳児室		(㎡)
1	5.200 × 7.000	36.400000
2	-2.200 × 0.435	-0.957000
計		35.443000
		35.440000

1歳児室		(㎡)
1	5.000 × 7.400	37.000000
計		37.000000
		37.000000

2・3歳児室		(㎡)
1	4.850 × 7.400	35.890000
計		35.890000
		35.890000

4・5歳児室		(㎡)
1	5.350 × 7.400	39.590000
計		39.590000
		39.590000

事務室		(㎡)
1	2.200 × 4.700	10.340000
2	0.350 × 3.220	1.127000
3	0.700 × 1.660	1.162000
計		12.629000
		12.620000

特記 ・ ・ ・ ・

一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号

Camury (有) 冠設計（カムリ）

代表設計者 管理建築士：一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄

設計者 その他の：

縮尺 A3:1/40 A1:1/20

工事名称：平成27年度　旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事

図面名称：法令チェックシート

設計年月日：2015.06/※※

図面番号：A・２５

電気設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名　平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事

2．工事場所　黒川郡富谷町富ヶ丘三丁目1-398の一部・

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
保育所	RC	2階				

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 保育所	屋外	備考
○電灯設備	改修一式		
○動力設備	改修一式		
・電熱設備			
・雷保護設備			
・受変電設備			
・電力貯蔵設備			
・発電設備			
・構内情報通信網設備			
○構内交換設備	改修一式		
・情報表示設備			
・映像・音響設備			
○拡声設備	改修一式		
・誘導支援設備			
○テレビ共同受信設備	改修一式		
・監視カメラ設備			
・駐車場管制設備			
・防犯・入退室管理設備			
○自動火災報知設備	改修一式		
・中央監視制御設備			
・構内配電線路			外灯設備を含む
・構内通信線路			
・テレビ電波障害防除			
・その他工事	別紙仕様書による		

5．指定部分　※ なし　・ あり（工　期：平成　年　月　日）　（対象部分：　）

6．概成工期　※ なし　・ あり（工　期：平成　年　月　日）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、平成２５年版）」、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編、平成２５年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築改修工事標準図（電気設備工事編、平成２５年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２５年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。・印のみ付かない場合は、※印のみ付いたものを適用する。

○印と※印のない場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行） ※ 営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２４年版） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	② 使 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用するＪＩＳ外のルアルアヒト仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品、登録材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事等手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有するこの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保 険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、請負者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備えて中断期中における工事現場の管理計画書を提出するこど。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調書、中止期間中の休制及び工事現場の維持管理に関するこころを記載すること。
	⑩ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。
	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力、水ならびの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑭ 工事用仮設物	構内につくること　※ できる　・ できない
	15．監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　　号・・建築工事）
	16．足場、さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。 なお、朴組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	17．工事表示板	※ 設置する　設置枚数　1 枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・ 設置しない
	18．工事用通路	※ 指定しない　・指定する（図示）
	⑲ 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの　（　　） ・ 特別管理産業廃棄物　（・ PCB使用機器　・　　） 受入施設・所在地 ・ ○ 現場において再利用を図るもの（特別処具　　） ・ 再資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地（km）	備　考

・ その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設・所在地　：
・ その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設・所在地　：
PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

	20．残土処理	※ 構内指示の場所に散き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出
	21．耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（・ 特定の施設　・ 一般の施設　）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所 ＼ 設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ UPS装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック
・ 重量が100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

	22．風圧加重	※ 風速60m／s　・　m／s ・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
	24．保温、結露防止	外部に面する壁、天井とFP板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどには、保温、結露防止処理を行う。
	㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （EM－MEES）
	㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、PF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ－２Sとする。
	㉗ 二種金属製可とう管	露出箇所　⊙ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
	㉘ 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。
	29．インサート	鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	30．呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（ ㊎ 金属製（ステンレス・鉄金属も含む）　・ 樹脂製　）とする。
	32．フロアプレート・ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 鋼合金製　・ アルミ合金製
	33．ハンドホール蓋	集塵おとびチェーン（ステンレス製）付のものとする。
	㉞ 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
	35．あと施工アンカー	施工方法　・ 接着系　（　※ 有機系　・ 接着剤　） ・ 金属拡張系　（　※ 本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※ 行わない　・ 行う
	㊱ 接地種の種別・表示等	接地種は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは１，５００mとする。 ただし、D＝１０Ω１，０００m、W＝３０Ω１，２００mとする。 ・ 製鉄機器及び屋外灯用接地種の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地種の規格、数量
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×　連－　組
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	共同接地	EA・EB・ELH	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	A種	EA	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	B種	EB	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×２
・	C種	EC	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
⊙	D種	ED	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×１
・				
・	構内交換機（環境）用	Et	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×１
・	拡声増幅器	EDa	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×１
・	防犯装置用	ES	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－　組
・				
・	測定用	Eo	――――	EB（D＝10又はW＝30）×１
・	避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×３連－２組
・	避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）×１
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	㊲ 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ⊙ 受変電設備　・ 発電設備　・ 照明装置　・ 構内交換設備　・
	㊳ 塗装工事	下記部位に使用する外装のつき電線管の露出配線には塗装を施す。 ㊎ 屋外　※ 屋室　・
	39．山留め	切取り面にその面所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5m を超える場合には、山留めを行うものとする。
	40．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）２２章（舗装工事）による。
	㊶ はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㊷ 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。
	㊸ 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
	44．アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。 アスベスト使用状況（　　）
	45．有害物質の取り扱い	PCB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式煙感器）の有害物質の含有を表出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

電灯設備	① 工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 分電盤類　⊙ 機器類
	② 電気方式	⊙ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ⊙ 分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　⊙ 金属管配線　⊙ ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐 電灯　⊙ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　⊙ ケーブル配線　・ その他（　　） コンセント ⊙ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線　・ その他（　　） 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　⊙ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　⊙ 金属製
	④ 照明器具	蛍光灯　⊙ Ｈｆ型蛍光灯　・ ＰＳ型蛍光灯　⊙ ダウンライト　・ その他 ＬＥＤ　⊙ 一体型　・ 直管型（ＬＥＤ８０）　・ ダウンライト　・ その他 ＨＩＤ　⊙ セラメタランプ　・ ナトリウムランプ　・ 水銀灯　・ 無電磁灯　・ その他 電球　⊙ 蛍光灯　・ 白熱電球　・ ＬＥＤ　・ ハロゲンランプ　・ クリプトンミニ電球 図面に特記がない場合のＨｆ型蛍光灯の入力電圧・周波数は、入力電圧100/200V、周波数50Hzとする。
	5．防災用照明器具	・ 非常用照明器具　（　※ 電池内蔵形　・ 電源別置形　） ⊙ 誘導灯　（　㊎ ＬＥＤ誘導灯　・ 誘導標識　）
	⑥ 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7．ハイテンション アウトレット	※ 鋼合金製　・ アルミ製 ※ 飛び出し形　・ 外部固定形
	8．人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
	⑨ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	① 工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 制御盤類
	② 電気方式	⊙ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ⊙ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　⊙ 金属管配線　・ ケーブル配線　・ その他 分岐　・ 合成樹脂管配線　⊙ 金属管配線　・ その他 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　⊙ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
	4．警報盤	※ 壁掛形（電器装置　※ 内蔵　・ 別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用充電装置	・ 機器類　・ ・ 普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・ 屋外型　・ 屋内型 ・ 急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電熱設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　　（　　㎡）　・　　（　　㎡）

電力貯蔵設備	1．工事範囲	・ 受盤部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
	2．受盤部	・ 突柱　・ 壁上導体　・ 笠木（別途）など
	3．避雷導線	・ 引下げ導線　・ 構造体利用
	4．接地極	※ 接地極埋設　・ 構造体利用（測定時期　　箇数　　）
	5．測定用補助接地棒	・ 設置
受変電設備	1．工事範囲	・ 機器類　・
	2．電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・ ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・ ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・ ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	4．配電盤	・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）
	5．主遮断装置	・ キュービクル式配電盤　・ 高圧開閉配電盤　・ 　　・ 　　・ ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　　ｋＡ
	6．高圧機器類	・ 油入式　・ モールド ・ 手動　・ 電動　・ 電磁
	7．変圧器	・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳ Ｃ４３０４-２０１３適合品 乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６-２０１３適合品）
	8．進相用コンデンサ	※ 低圧　・ 高圧 ・ 油入式　・ モールド
	9．リアクトル	・ ６％　・ １３％ ・ 油入式　・ モールド
	10．自動力率制御装置	※ メーターリレー形　・ 静止形
	11．測定用補助接地棒	・ 設置
電力貯蔵設備	1．非常電源装置	※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源兼用　・ 受変電設備制御専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　　） ・ アルカリ蓄電池（・ ＡＨ　・ ＡＭＨ　・　　） ・ リチウムイオン蓄電池
	2．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　　） ・ アルカリ蓄電池（・ ＡＨ　・ ＡＭＨ　・　　） ・ リチウムイオン蓄電池
発電設備	1．工事範囲	・ 機器類　・
	2．形 式	・ 盤据形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
	3．発電機	電気方式　相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間
	4．原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
	5．燃 料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料の出槽　Ｌ 主貯油槽　・ なし　・ あり（　・ 別途　・ 本工事　・　　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ 自立運転　・ 有　・ 無 蓄電池　・ 有（定格容量　ｋＷｈ）　・ 無
	7．系統連系	・ 有　・ 無
構内交換設備	①．工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　⊙ 配線（　・ 全部　⊙ 端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ デジタルＰＢＸ　・ ＩＰ－ＰＢＸ　・ ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	③ 電話機への配線	電話機１台につき、下記のものを見込む。 ・ ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・ ２０ｍ　・　　） ⊙ ＥＭ－ＥＢＴＯ．４－２Ｐ　（　・ ２０ｍ　・　　） ・ ワイヤープロテクタ　（取付数別　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（　・ 納入する　・ 取り付ける　） ※ 鋼合金製　・ アルミ製
	5．保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事
通信・情報設備	①．工事範囲及び施工方法	

項目 ＼ 工事範囲 施工方法	配管配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・
・ 情報表示	・	・	・	・	・
・ 映像・音響	・	・	・	・	・
⊙ 拡声	⊙	⊙	・	・	⊙
・ 誘導支援	・	・	・	・	・
⊙ テレビ共同受信	⊙	⊙	・	・	⊙
・ テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・
・ 監視カメラ	・	・	・	・	・
・ 駐車場制御設備	・	・	・	・	・
・ 防犯・入退室管理	・	・	・	・	・

	2．構内情報通信網設備	種類　・ １０ＢＡＳＥ－Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ－Ｔ ・ １０ＧＢＡＳＥ－ＳＲ
	3．情報表示設備	・ 親時計　図線（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ） （　・ 電子式チャイム組込　・ プログラムタイマ組込 ）
	4．映像・音響設備	・ 増幅器　Ｗ ・ ＶＴＲ　（　・ ＤＶＤ　・ ＢＤ　・ Ｓ－ＶＨＳ　・　）
	⑤ 拡声設備	・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ） ・ 音響設備　（　・ ＣＤ　・ オーディオレコーダー　・ カセット　・　）
	6．誘導支援設備	⊙ 一般放送用　・ 非常放送兼用 ・ 増幅器　Ｗ（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形）
	⑦ テレビ共同受信設備	・ インターホン　・ トイレ等呼出装置　・ 音声誘導装置 ・ テレビアンテナ（　・ ＡＵ－　・ ＣＳＢＳＡ－　・ ＣＳＡ－　） ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ ＢＳアンテナマスト（　・ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ 電界強度測定及び受信調査（ ※ 全チャンネル ）
	8．テレビ電波障害防除設備	・ 事前調査　・ 機器類
	9．監視カメラ設備	・ 白黒方式　※ カラー方式 ・ 伝送方式　（　・ アナログ　・ ネットワーク ）
	10．駐車場管制設備	・ 管制盤　・ 検知器（　・ 光線式　・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー
	11．防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）
火災報知設備	①．工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 機器類
	2．火災報知装置	・ 盤据形　・ 自立形 ・ 受信機　型　級　回線（　アドレス） ・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線、自動閉鎖　回線、ガス漏れ　回線） ・ 副受信機　型　級　回線 ・ 機器収容箱　型　・ 専用形（　・ 埋込形　・ 露出形 ）　・ 屋内消火栓箱に組込み ⊙ 感知器類　戸型用　総数　個（　・ 自動試験機能付 ）
	3．非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動閉鎖装置（　・ 防火戸用　・ 防煙ダンパ用　・ 防火シャッター用 ）
	5．ガス漏れ火災警報装置	・ 感知器 ・ 受信機　回線（　・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（　・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 検知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧　（　・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ） ・ ガス検知出力信号（　・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）
	6．消火器類	・ 消火器　種別　・ 数量　本 ・ 消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量　面

中央監視制御設備	1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
	2．監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
	3．表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・ グラフィック／パネル　・ 内蔵式液晶ディスプレイ　・ 操作卓 ・ 監視操作装置　・ 信号処理装置　・ 伝送装置　・ 分散処理装置 ・ 中央処理装置　・ 補助記憶装置　・ 記録装置　・ 電源装置 ・ 帳票用印字装置　（　・ インクジェット式　・ 写真式　）
構内配電線路	1．工事範囲	・ 管路　・ 配線　・ 機器類
	2．電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ・ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．市設方法	※ 地中埋設式（　・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管　）　⊙ 架空線式
	4．柱上機器	・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐塩塩じん用 ※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト、がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外例　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共、線名、作業日、氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・ 定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。（　　）
	9．標識シート	・ 高圧ケーブル　・ 低圧ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・ 管路　・ 配線
	2．用途	・ 電話用　・　時計、拡声用　・ 火災報知用
	3．施工方法	※ 地中埋設式（　・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
	4．標識シート	※ 器電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

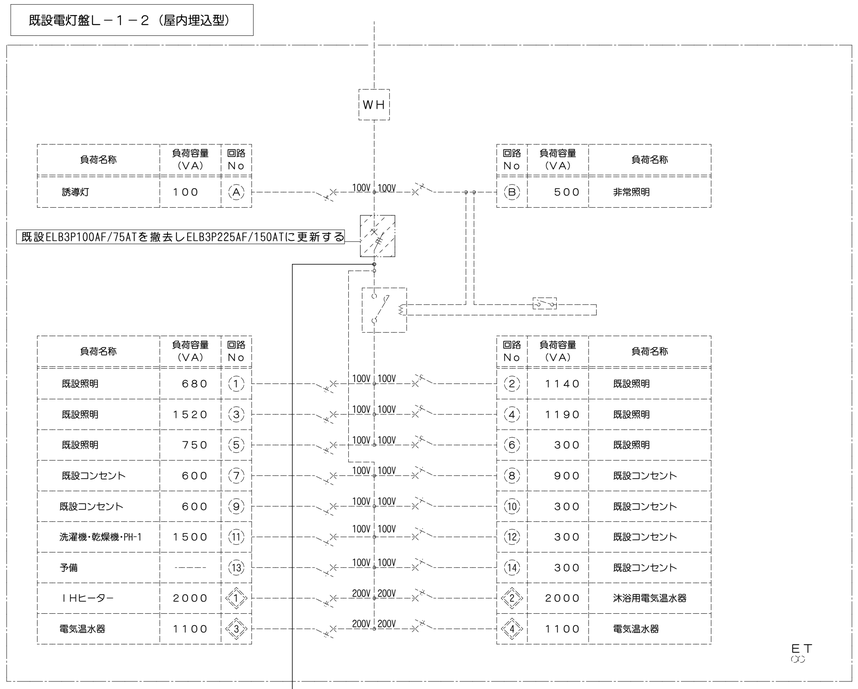
名称	電力設備 測点	取付高（m）	名称	通信設備 測点	取付高（m）
取引用計器	地上一次中心	約 1,800	引込線留め鳥	地上一引込点	
引込開閉器	床上一中心	1,800～2,200	集合保安器	天井下一上端	200
分電盤	床上一中心	1,500（上端1,800以下）	端子盤（扉下、室内）	床上一下端	300
			〃（ＥＰＳなど）	床上一中心	1,500
			壁付アウトレット（一　般）	床上一中心	300
			〃（和　室）		150～200
スイッチ（一　般）	床上一中心	1,300	壁掛形額時計	床上一中心	1,500（上端2,000以下）
〃（和　室）	〃	1,200	子時計	〃	2,300
コンセント（一　般）	〃	300	壁掛形スピーカ	〃	2,300
〃（和　室）	〃	150～200	壁付アッテネータ	〃	1,300
〃（台　上）	台上一中心	100	壁付インターホン（一　般）	床上一中心	1,300
〃（ファン用）	床上一下端	ファン下端	〃（身体障害者）	〃	1,300
〃（扉　房）	床上一中心	800～1,000	壁付アウトレット（一　般）	〃	300
〃（番　車）	〃	1,300	〃（和　室）	〃	150～200
〃（機械室）	〃	500～1,000	機器収容箱	天井下一上端	200
〃（土　間）	〃	800～1,300	直列ユニット（一　般）	床上一中心	300
ブラケット（一　般）	床上一中心	2,100～2,300	〃（和　室）	〃	200
〃（廊　場）	〃	2,000～2,500	表示　盤	床上一中心	2,300
〃（廊　上）	踊上端一中心	150	壁付表示機	〃	2,300
避難口誘導灯	床上一下端	1,500以上	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
扉下通路誘導灯	床上一上端	1,000以下	壁付押しボタン（一　般）	床上一中心	1,300
			〃（身体障害者玄関）	〃	900
			受信機	床上一中心	800～1,500
開閉器箱	〃	1,500	副受信機	〃	800～1,500
電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	機器収容箱	〃	800～1,500
非常ボタン（便所用）	床上一中心	900	発信機	〃	800～1,500
壁付インターホン（親機）	〃	1,300	表示灯	床上一中心	2,100
〃（玄関子機）	〃	1,100	ベル	〃	2,300
扉下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300	波化石油ガス用検知器	床上一上端	250
身障表示ランプ	〃	1,500	都市ガス用検知器（壁掛）	天井一上端	150
スイッチ	〃	1,100	〃（重掛）	床上一上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版）	１部	９　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図、取扱説明書と合本可。

1φ 3W 200V/100V (L-1-2)

既設電灯盤Ｌ－１－２（屋内埋込型）



負荷名称	負荷容量（VA）	回路No
誘導灯	100	Ⓐ

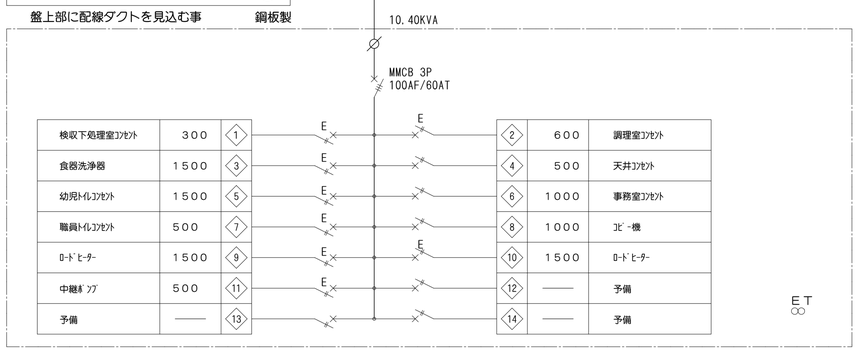
回路No	負荷容量（VA）	負荷名称
Ⓑ	500	非常照明

負荷名称	負荷容量（VA）	回路No
既設照明	680	①
既設照明	1520	③
既設照明	750	⑤
既設コンセント	600	⑦
既設コンセント	600	⑨
洗濯機・乾燥機・PH-1	1500	⑪
予備	-----	⑬
ＩＨヒーター	2000	◇1
電気温水器	1100	◇3

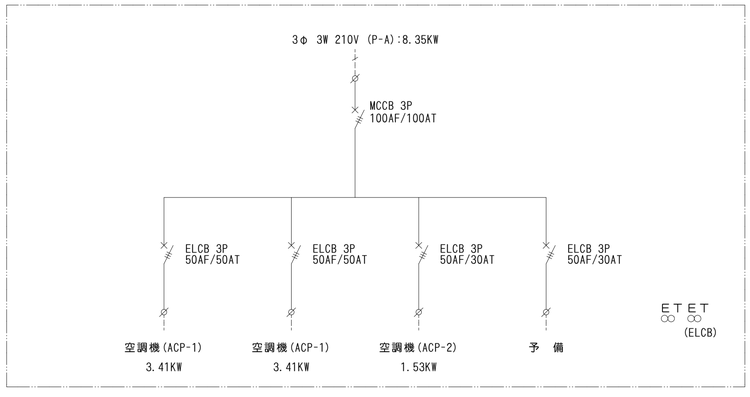
回路No	負荷容量（VA）	負荷名称
②	1140	既設照明
④	1190	既設照明
⑥	300	既設照明
⑧	900	既設コンセント
⑩	300	既設コンセント
⑫	300	既設コンセント
⑭	300	既設コンセント
◇2	2000	沐浴用電気温水器
◇4	1100	電気温水器

電灯盤名称　Ｌ－Ａ　キャビネット形式　Ⓣ

盤上部に配線ダクトを見込む事　　鋼板製



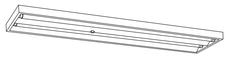
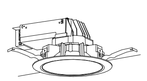
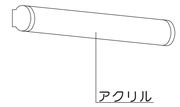
検収下処理室ｺﾝｾﾝﾄ	300	◇1	◇2	600	調理室ｺﾝｾﾝﾄ
食器洗浄器	1500	◇3	◇4	500	天井ｺﾝｾﾝﾄ
幼児ﾄｲﾚｺﾝｾﾝﾄ	1500	◇5	◇6	1000	事務室ｺﾝｾﾝﾄ
職員ﾄｲﾚｺﾝｾﾝﾄ	500	◇7	◇8	1000	ｺﾋﾟｰ機
ﾛｰﾄﾞﾋｰﾀｰ	1500	◇9	◇10	1500	ﾛｰﾄﾞﾋｰﾀｰ
中継ﾎﾟﾝﾌﾟ	500	◇11	◇12	———	予備
予備	———	◇13	◇14	———	予備



動力盤名称　Ｐ－Ａ　キャビネット形式　Ⓣ

盤上部に配線ダクトを見込む事　　鋼板製

照　明　器　具　参　考　姿　図

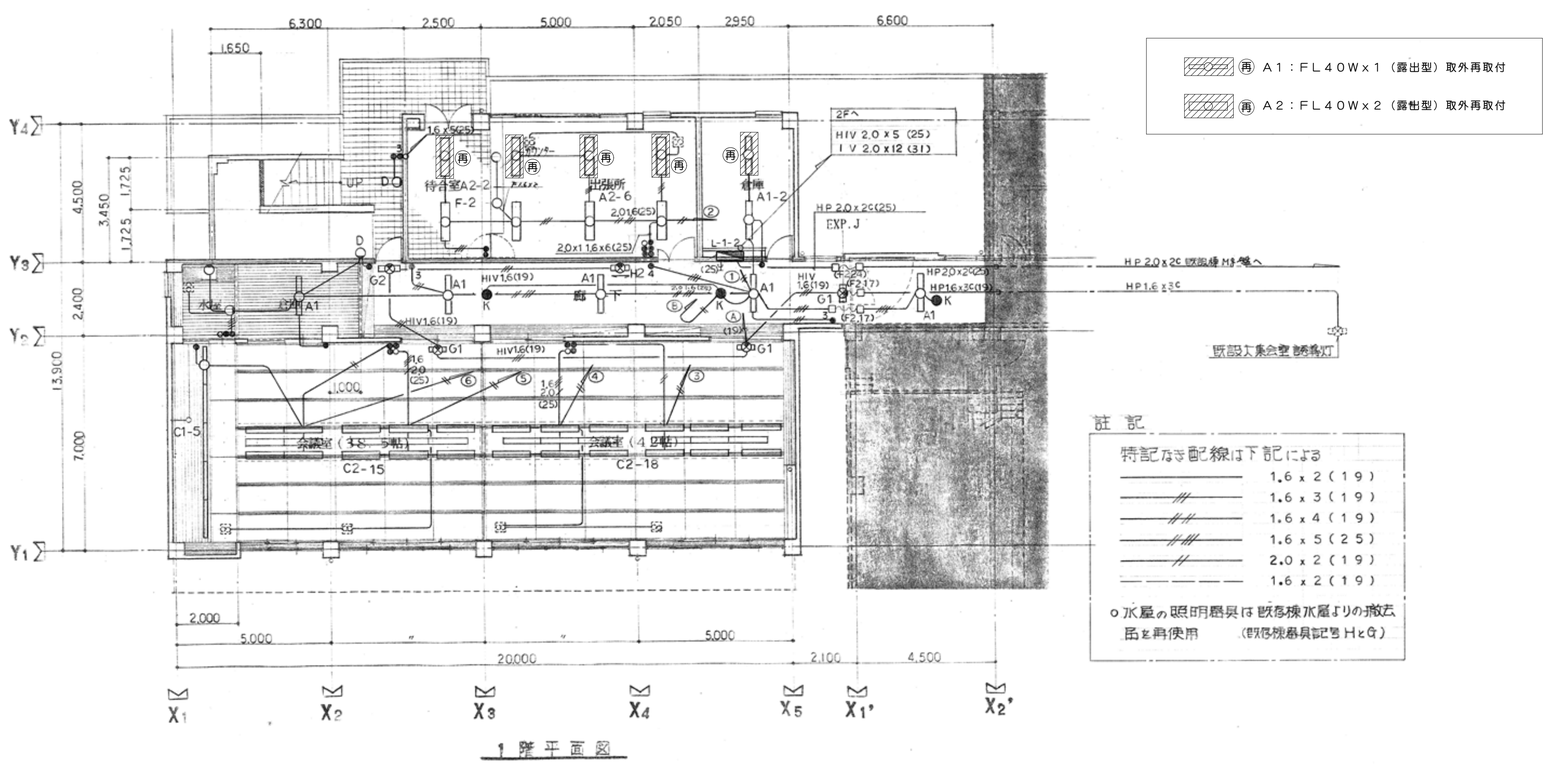
A322	ＦＳＳ９－３２２－ＰＨ	B162	ＦＳＳ９－１６２－ＰＨ	C322	ＦＤＳ２-ＦＳＳ６－３２２－ＰＨ
		B322	ＦＳＳ９－３２２－ＰＨ		
					
					熱線センサ付（１００％－２５％段調光） ボルトフリー（１００～２４２Ｖ） エコ電線（塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない）
D1	ＬＲＳ１-９５０ＬＭ	E201	ＦＬ２０Ｗｘ１　ＧＨ	F201	ＦＬ２０Ｗｘ１　ＧＨ
D2	ＬＲＳ１-１４００ＬＭ				
			 Ｋ１－ＩＲＳ４－ＪＥ１３ カバー：高拡散クリーンアクリル（乳白） スイッチ付、低誘虫ＵＶカット仕様 （ホワイト仕上）		 アクリル
G15	ＥＦＤ１５Ｗ×１　（ＷＰ）	b9	Ｋ１－ＩＲＳ４－ＪＥ９		ＬＥＤ　Ｃ級　避難口誘導灯片面型
		b13	Ｋ１－ＩＲＳ４－ＪＥ１３		
	 明るさセンサ付 カバー：アクリル（乳白） 点灯照度調整機能付		 ＪＩＬ適合品 非常灯評定番号（ＬＡＬＨ－０２）（相当品） ＪＥ９Ｗ　ｘ　１（ｂ９） ＪＥ１３Ｗ　ｘ　１（ｂ13）		 壁・天井直付型 一般型（２０分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付

	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m
▶	単体設置	A1	3.4m	3.1m	2.7m	1.5m	
	直線設置	A2	7.3m	7.8m	8.1m	7.3m	
	四角設置	A4	5.7m	6.4m	6.8m	7.3m	

	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m
▶	単体設置	A1	4.0m	4.4m	4.6m	4.7m	
	直線設置	A2	8.7m	9.7m	10.3m	11.3m	7.3m
	四角設置	A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	7.3m

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計（カムリ）	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄
	・						
	・						
	・						

設計者 その他の		縮尺	工事名称	平成27年度 富ケ丘北部会館保育所改修工事
		A3:1/NON A1:1/NON	図面名称	盤結線図・照明器具姿図
			設計年月日	2015.06/**
			図面番号	E・02



1階平面図

註記

特記なき配線は下記による

———	1.6 x 2 (1 9)
——/——	1.6 x 3 (1 9)
——//——	1.6 x 4 (1 9)
——///——	1.6 x 5 (2 5)
——/——	2.0 x 2 (1 9)
——— — —	1.6 x 2 (1 9)

○水屋の照明器具は既存棟水屋よりの撤去品を再使用　（既存機器記号 H と G）

特記 ・
・
・
・

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第106100032号

Camury
(有) 冠設計（カムリ）

管理建築士 代表設計者：一級建築士 第173108号 関内重雄

その他の設計者：

縮尺 A3:1/200 A1:1/100

工事名称：平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事

図面名称：1階電灯設備図（改修前）

設計年月日：2015.06/**

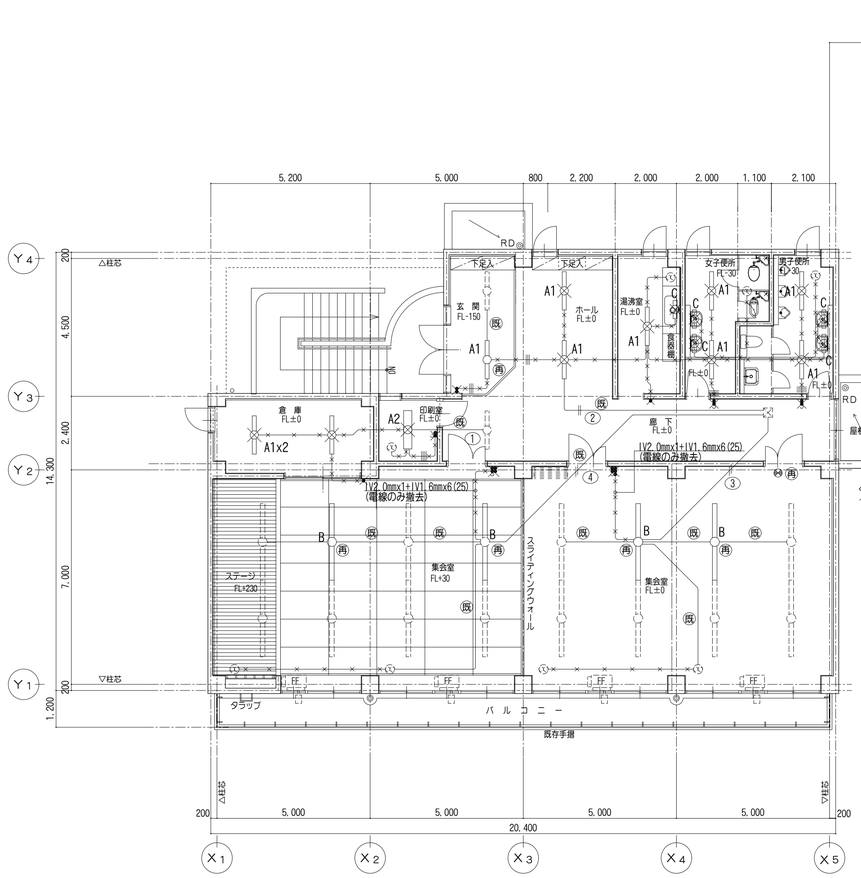
図面番号：E・03

凡　例

1. 配線凡例	
×―	IV1.6mmx2（19）：電線のみ撤去
×―‖	IV1.6mmx3（19）：電線のみ撤去
×―‖‖	IV1.6mmx4（19）：電線のみ撤去
既 ――	IV1.6mmx2（19）：既存のまま
既 ―‖―	IV2.0mmx2（19）：既存のまま
2. 共通事項	
× 印の付いた機器及び電線・ケーブルは撤去とする	
再 印の付いた機器は取外再取付とする	
点線の機器は既存のままとする。	

凡　例

1. 撤去設備		
×	既設埋込スイッチ　1P15Ax1	（撤去）
×	既設埋込スイッチ　1P15Ax2	（撤去）
×	既設埋込スイッチ　1P15Ax2+PLx1	（撤去）
×	既設埋込スイッチ　1P15Ax4+PLx1	（撤去）
×	既設埋込スイッチ　1P15Ax5+PLx1	（撤去）
A1	既設照明器具　FL40Wx1(露出型)	（撤去）・(取外再取付)
A2	既設照明器具　FL40Wx2(露出型)	（撤去）
B	既設照明器具　FL110Wx1(露出型)	（取外再取付）
C	既設照明器具　FL15Wx1(露出型)	（撤去）



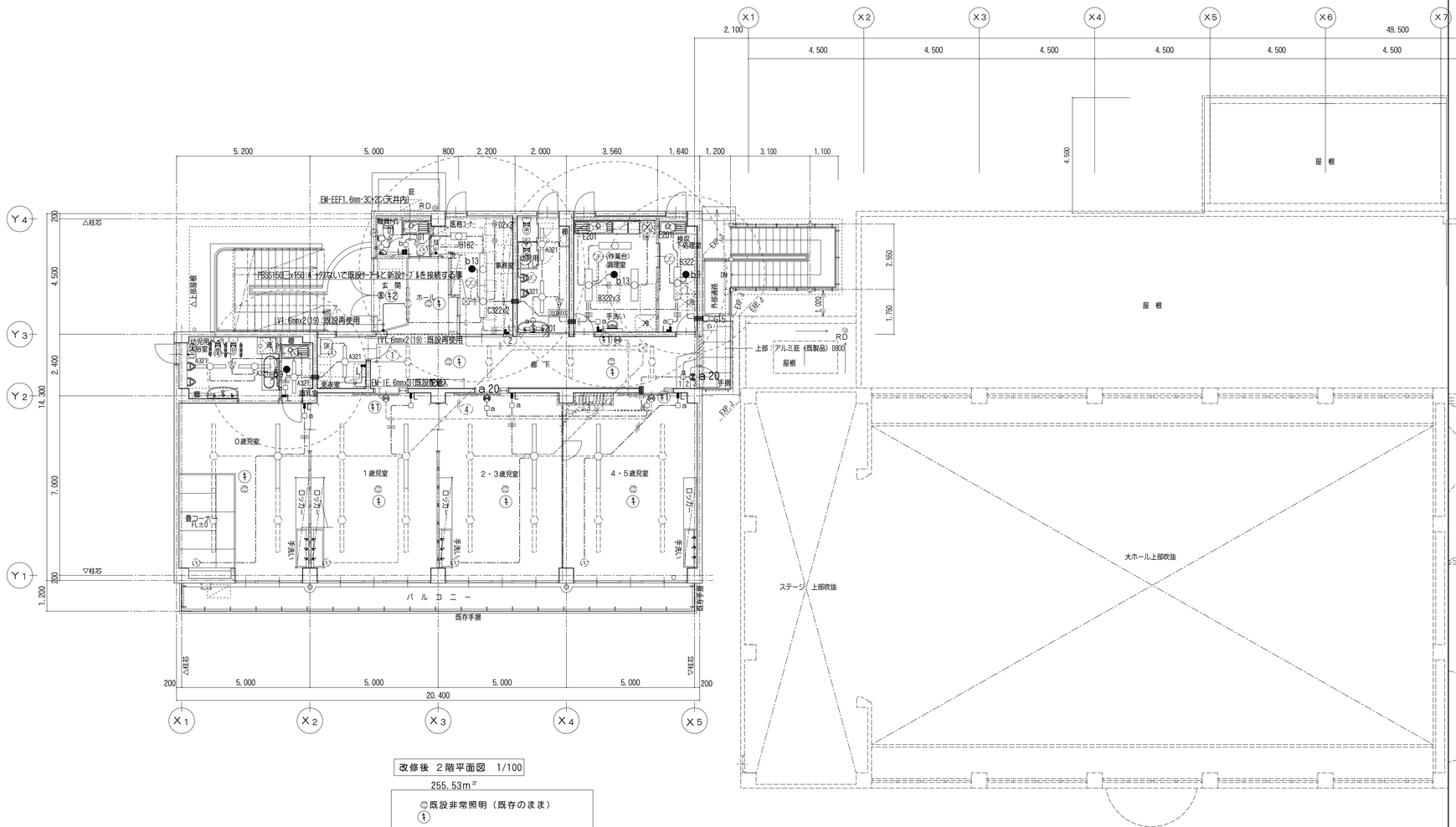
改修前　２階平面図　1/100

255.53m²

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	㈲ 冠設計（カムリ）	管理建築士	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内　重雄	その他の設計者		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号	E・04
	・											図面名称	２階電灯設備図（改修前）	設計年月日 2015.06/**	
	・														
	・														

凡　例

1.特記なき配線は下記による。		
---—---—---	EM-EEF1.6mm-2C（天井内）　：新設	（新設）
---—---╫---—---	EM-EEF1.6mm-3C（天井内）　：新設	（新設）
---—---╫---—---	EM-EEF1.6mm-2Cx2（天井内）：新設	（新設）
---—---╫---—---	EM-EEF2.0mm-2C（天井内）　：新設	（新設）
----------	既設配線（再使用）	
EM-EEF1.6mm-2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
EM-EEF1.6mm-3C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
EM-EEF1.6mm-2Cx2（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
EM-EEF1.6mm-3C+2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ B型）：新設		
2.配線器具		
●	埋込スイッチ 1P15Ax1(金属ﾌﾟﾚｰﾄ)	（新設）
●L	埋込スイッチ 1LP15Ax1(金属ﾌﾟﾚｰﾄ)	（新設）
▽	人感センサー（DS－1－AN）	（新設）
◎	埋込コンセント 2P15Ax1（金属ﾌﾟﾚｰﾄ）	（新設）
□a	メタルモール用コーナーボックス　A型	（新設）
□b	メタルモール用コーナーボックス　B型	（新設）
▨	壁貫通補修共　100φ	



改修後　２階平面図　1/100

255.53m²

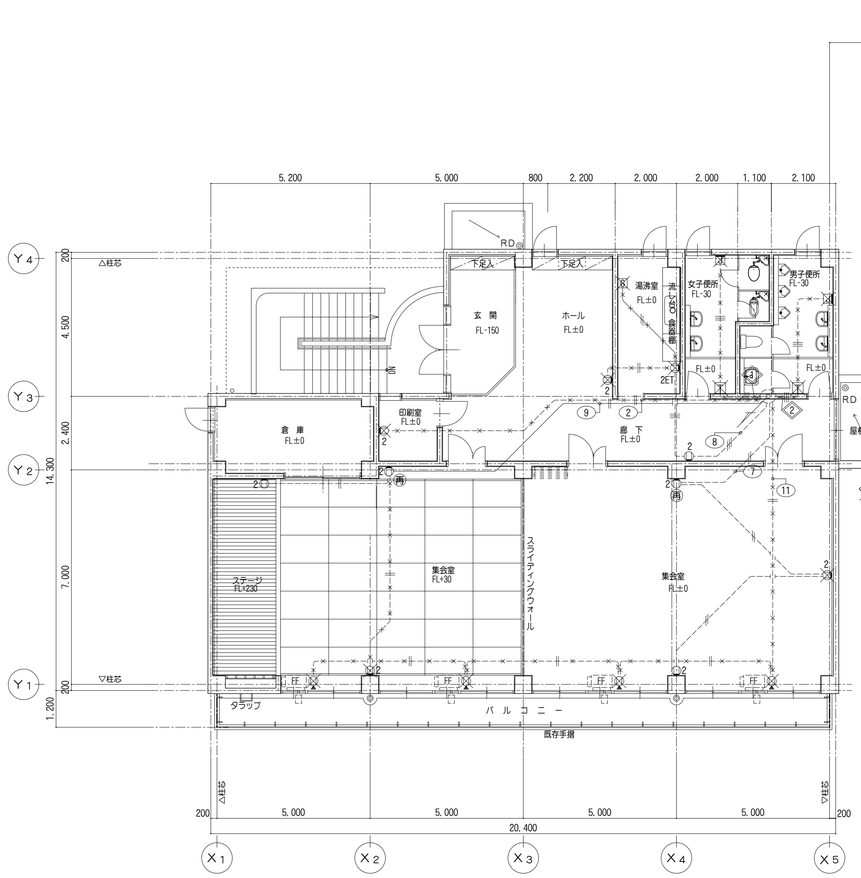
◎既設非常照明（既存のまま）
①

②既設誘導灯FL10W x1（既設再使用）
①1

②既設誘導灯FL20W x1（既設再使用）
①2

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計（カムリ）	管理建築士	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内　重雄	設計者	その他の	縮尺 A3:1/200 A1:1/100
	・										
	・										
	・										

工事名称	平成27年度 富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号
図面名称	２階電灯設備図（改修後）	E・05
設計年月日	2015.06/**	



改修前 ２階平面図 1/100

255.53m²

凡 例

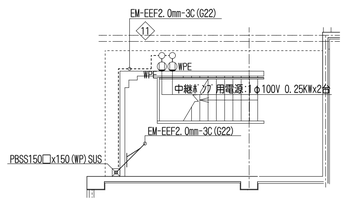
1. コンセント設備	
---×---‖---	IV2.0mmx2（19）：電線のみ撤去
---×---‖---	IV2.0mmx3（19）：電線のみ撤去
——×——‖——	IV2.0mmx2（19）：電線のみ撤去
----------‖----	IV2.0mmx2（19）：既存のまま
——————‖——	IV2.0mmx2（19）：既存のまま
⊠2	既設埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 （撤去）
⊠2ET	既設埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15AEx2 （撤去）
⊠	既設ﾌﾛｱｰｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 （撤去）
⊠T	既設ｻｰﾓｽﾀｯﾄ 露出型 （撤去）
⊠	既設ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ （撤去）
⊠8	既設ｶﾞｽ漏れ検知器 （撤去）
4. 共通事項	
× 印の付いた電線及びケーブルは撤去とする。	
(再) 印の付いた機器は取外再取付とする。	

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計（カムリ）	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称 平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事 図面名称 ２階ｺﾝｾﾝﾄ設備図（改修前） 設計年月日 2015.06/**	図面番号 E・06
	・											
	・											
	・											

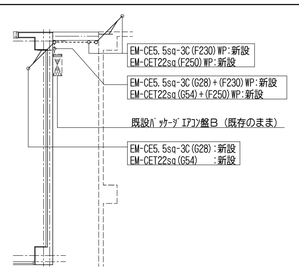
凡　例

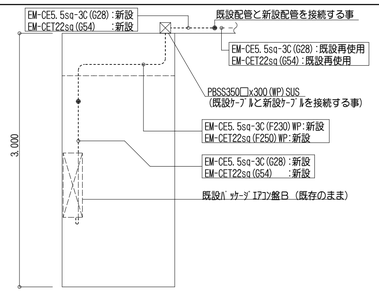
1.特記なき配線は下記による。			
---·---·---	EM-EEF1.6mm-2C（天井内）	：新設	（新設）
---·---‖---·---	EM-EEF1.6mm-3C（天井内）	：新設	（新設）
---·---‖‖---·---	EM-EEF1.6mm-2Cx2（天井内）	：新設	（新設）
---·---‖---·---	EM-EEF2.0mm-2C（天井内）	：新設	（新設）
----------‖----------	EM-EEF2.0mm-3C（MM1A）	：新設	（新設）
----------‖‖2.0----	EM-EEF2.0mm-3Cx2（MM1B）	：新設	（新設）
----------	既設配線（再使用）		
MM1A:ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型	MM1B:ﾒﾀﾙﾓｰﾙ B型		
□┬○2	EM-EEF2.0mm-2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
□┬○E	EM-EEF2.0mm-3C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
□┬○2E	EM-EEF2.0mm-3C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		
□┬○WPE	EM-EEF2.0mm-3C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設		

2.配線器具				
○2	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15Ax1	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
○E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15AEx1	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
○2E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15AEx2	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
○E(A)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P20AEx1(250V)	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
○E(B)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15AEx1(250V)	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
○WPE	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15Ax1	金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
◎E	ﾘｰﾗｰｺﾝｾﾝﾄ	2P15AEx2(引掛型) 1.8m		（新設）
□a	メタルモール用コーナーボックス　A型			（新設）
□b	メタルモール用コーナーボックス　B型			（新設）
▨	壁貫通補修共　100φ			
E(A)	電気温水器	1φ200V　1.1KW		
E(B)	電気温水器	1φ200V　2.0KW		
◌2	既設埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15Ax2		（既存のまま）
◌2(再)	既設埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15Ax2		（取外再取付）



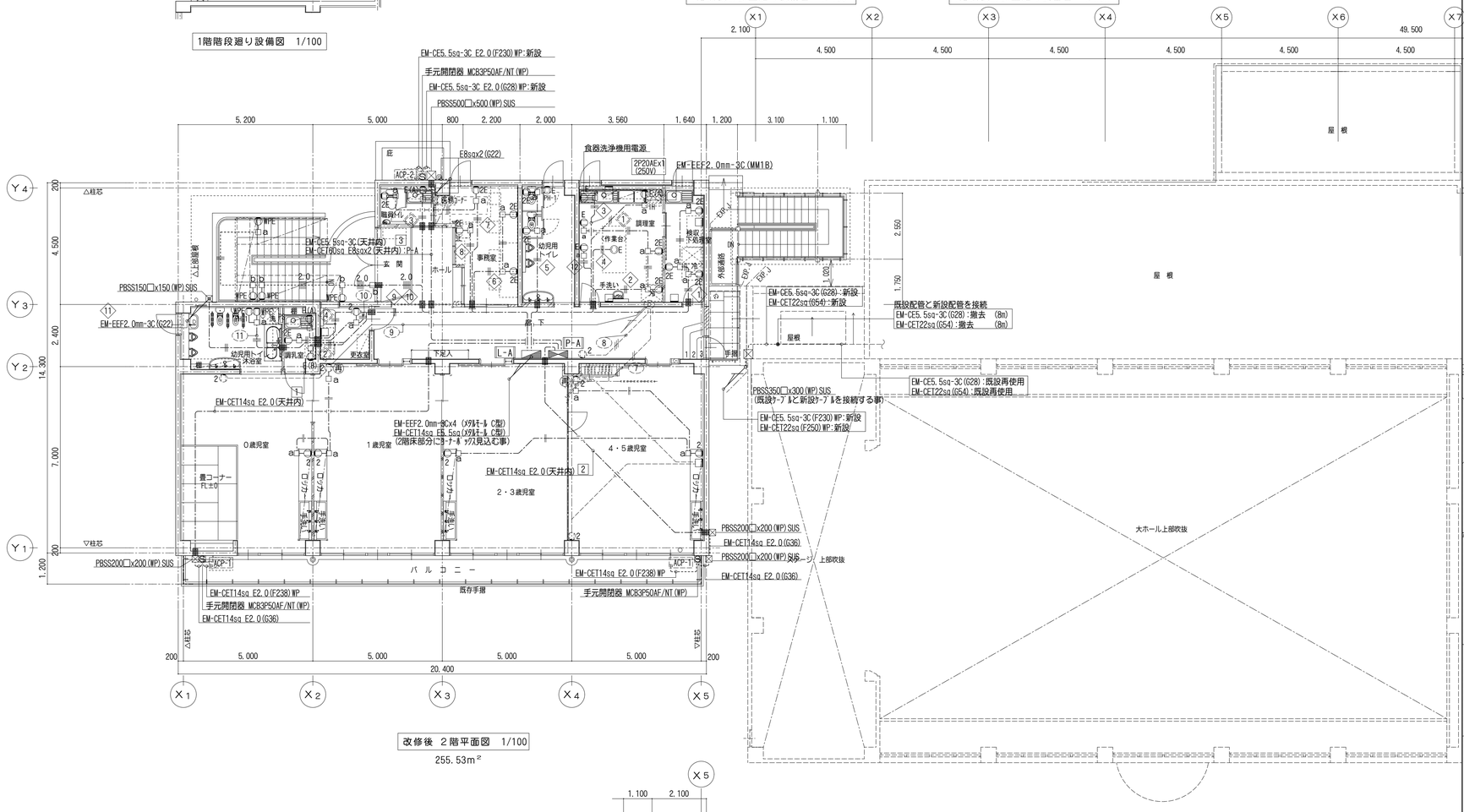
1階階段廻り設備図　1/100





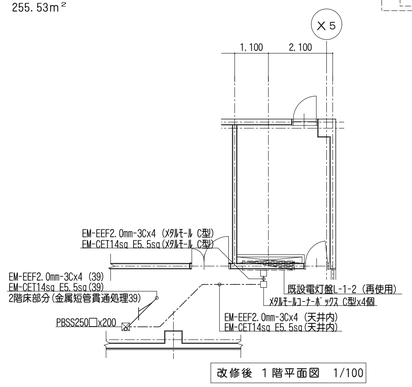
1階既設ｴｱｺﾝ盤廻り設備図　1/100

1階既設ｴｱｺﾝ盤廻り断面図　1/NON



改修後　2階平面図　1/100

255.53m²



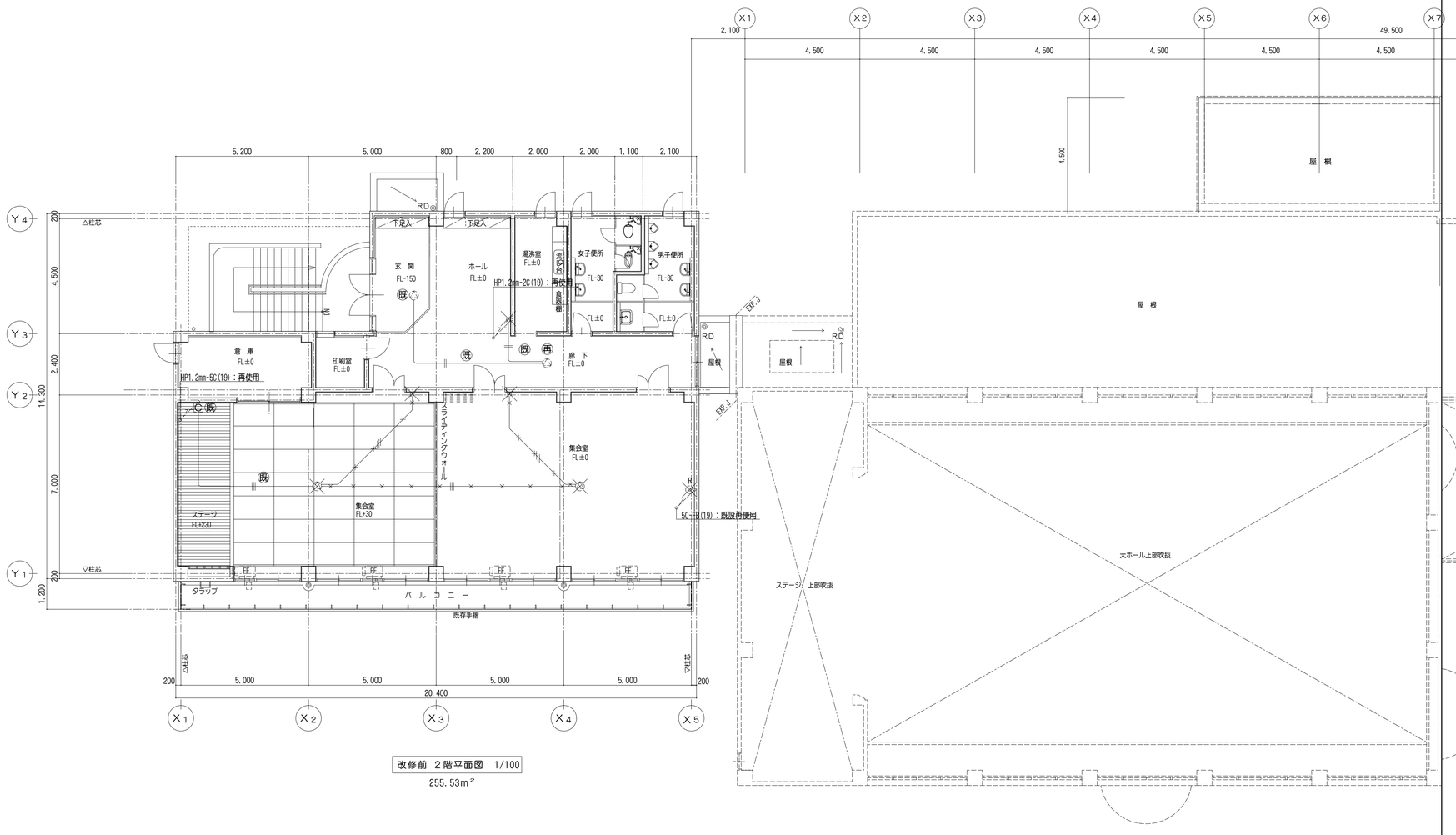
改修後　1階平面図　1/100

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury (有)冠設計	代表設計者	一級建築士 第173108号 関内重雄	その他の設計者		縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称	平成27年度 富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号 E・07
	・									図面名称	2階動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備図(改修後)	設計年月日 2015.06/**
	・											
	・											

凡　例

1. 配線凡例		
	HP1.2mm-2C（19）：ｹｰﾌﾞﾙのみ撤去	
(既)	HP1.2mm-3C（19）：既設再使用	
(既)	HP1.2mm-2C（19）：既設再使用	
(既)	既設天井埋込型スピーカ	（既存のまま）
(再)	既設天井埋込型スピーカ	（取外再取付）
	既設天井埋込型スピーカ	（撤去）
C	既設電源カットリレー	（既存のまま）
	既設アッテネータ	（撤去）
R	既設直列ユニット	（撤去）

2. 共通事項
×　印の付いた電線及びケーブルは撤去とする。
(再)　印の付いた機器は取外再取付とする。
(既)　印の付いた機器は既存のままとする。



改修前　２階平面図　1/100

255.53m²

特記	・	
	・	
	・	
	・	

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury

㈲ 冠設計（カムリ）

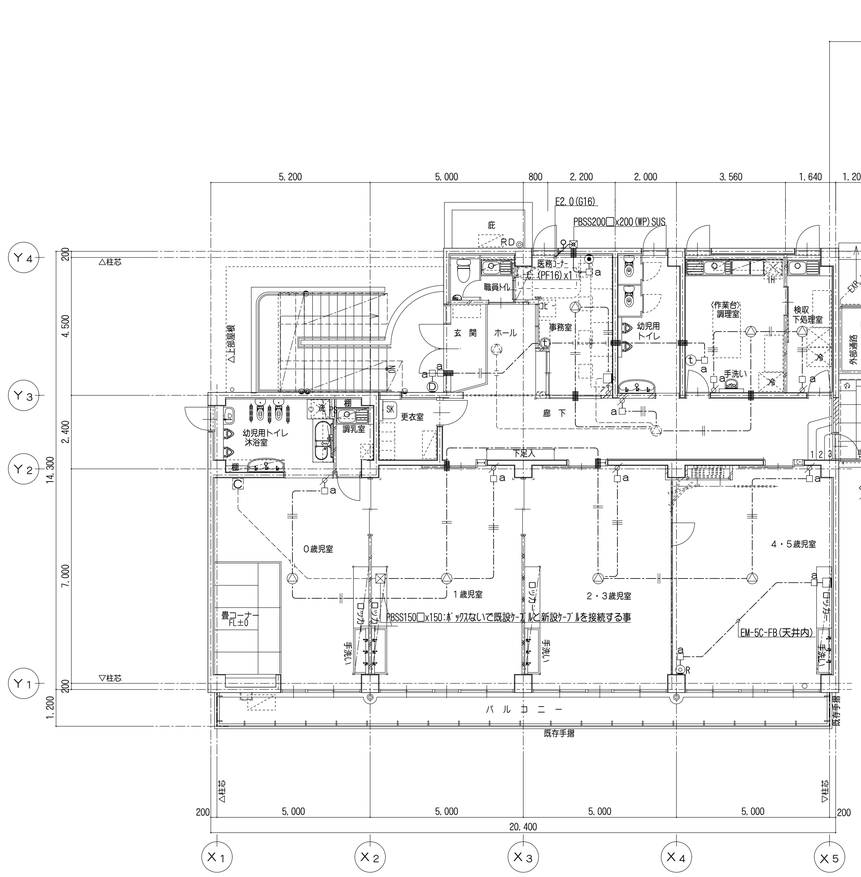
代表設計者 管理建築士　一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄

その他の設計者

縮尺	工事名称	図面番号
A3:1/200 A1:1/100	平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事	E・08
	図面名称：２階弱電設備図（改修前）　設計年月日：2015.06/**	

凡　例

1. 拡声設備			
---‖---	EM-AE1.2mm-2C（天井内）	：新設	（新設）
---‖---	EM-AE1.2mm-3C（天井内）	：新設	（新設）
----------	既設配線（再使用）		
1. ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備			
---‖---	EM-AE1.2mm-2C（天井内）	：新設	（新設）
EM-AE1.2mm-2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
◎R EM-5C-FB（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
□ EM-5C-FB（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
Ⓓ EM-AE1.2mm-2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
ⓣ EM-AE1.2mm-2C（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
◉ -C-（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型）：新設			
△	天井埋込型スピーカ	SC3Hi-3V3	（新設）
⌀	アッテネータ	金属製　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
◌	天井埋込型スピーカ	（既設再使用）	
C	電源カットリレー	（既設再使用）	
◎R	直列ユニット	中間用　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	（新設）
□	ブランクプレート	金属製	（新設）
Ⓓ	インターホン子機	（露出型）	（新設）
ⓣ	インターホン親機	AC100V	（新設）
ⓣ	インターホン増設親機		（新設）
◉	電話用プレート	金属製	（新設）
□a	メタルモール用コーナーボックス　A型		（新設）
▨	壁貫通補修共　100φ		

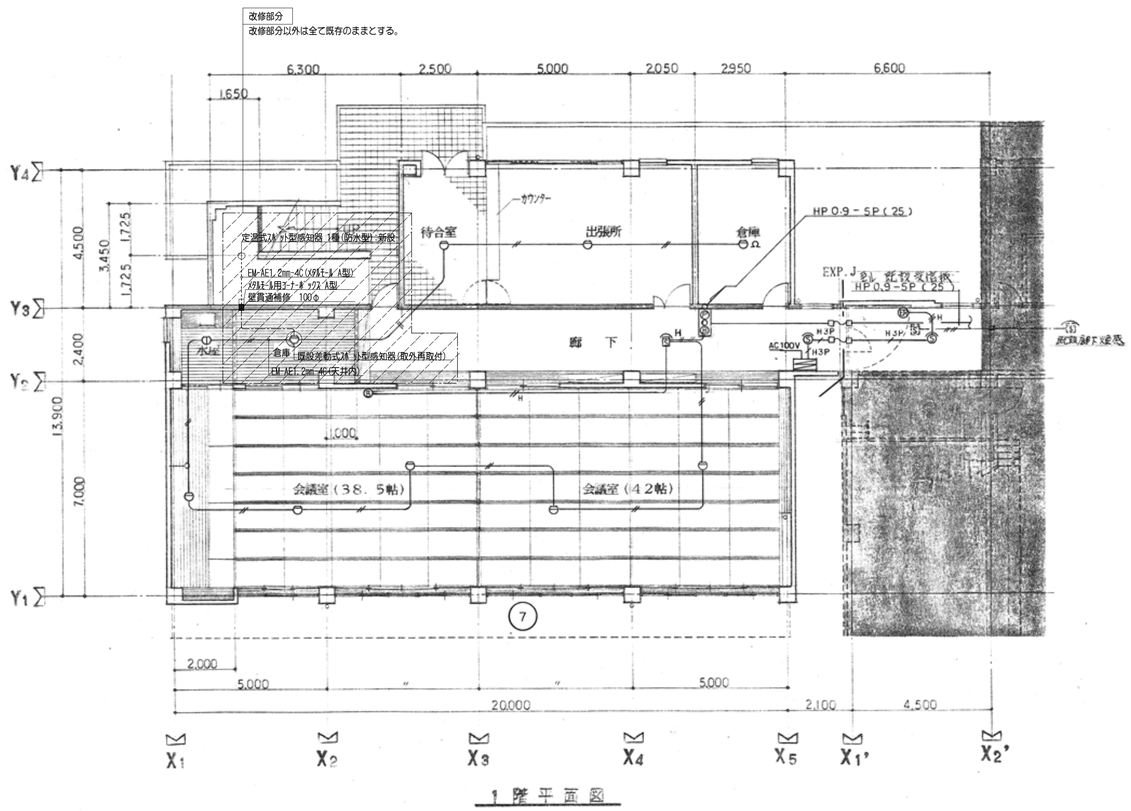


改修後　２階平面図　1/100

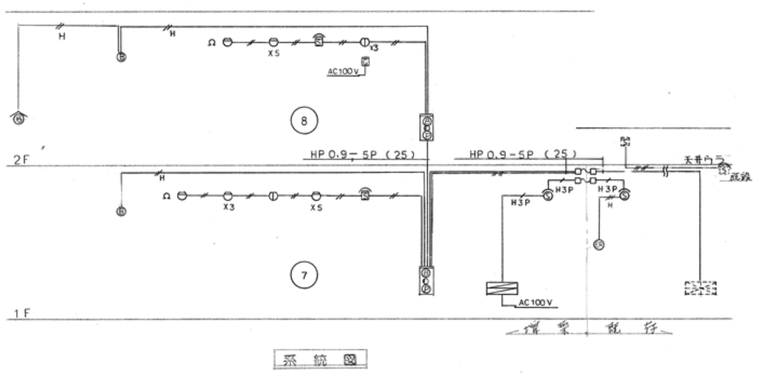
255.53m²

| | | |

改修部分
改修部分以外は全て既存のままとする。



1階平面図



系統図

記号	名称	摘要
	受信機	註記参照
	機器収容箱	埋込型，◎◎回路，タテ型
	電鈴	DC 24 V，100φ，150φ，防水型
	表示灯	AC 30 V，2W
	発信機	P 型 1 級
	差動式スポット型感知器	2 種
	定温式 〃 〃	1 〃，防水型
	煙感知器	2 種，光電式，埋込型
	〃	3 〃，〃，〃
	自動閉鎖装置	防火戸，ラッチ式
	防火重動制御盤	1 回線，壁掛型
	ガス漏れ検出器	AC 100 V，プロパン用
	配管配線	
	立上げ引下げ	
	警戒区域線	
○	警戒番号	7，8
	終端抵抗	

註記
1，受信機は既設P型1級10回線（実装6回線）の空きを使用し，今回工事で番増付加装置を設置
2，特記なきは千記とする
AE 0.9－2C（19）　H　HP 0.9－2C（19）
HP 0.9－3C（19）　H3P　HP 0.9－3P（19）

特記		
	・	
	・	
	・	
	・	

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第106100032号

Camury
(有) 冠設計（カムリ）

管理建築士
代表設計者
一級建築士
第173108号
関内重雄

その他の設計者

縮尺
A3:1/200
A1:1/100

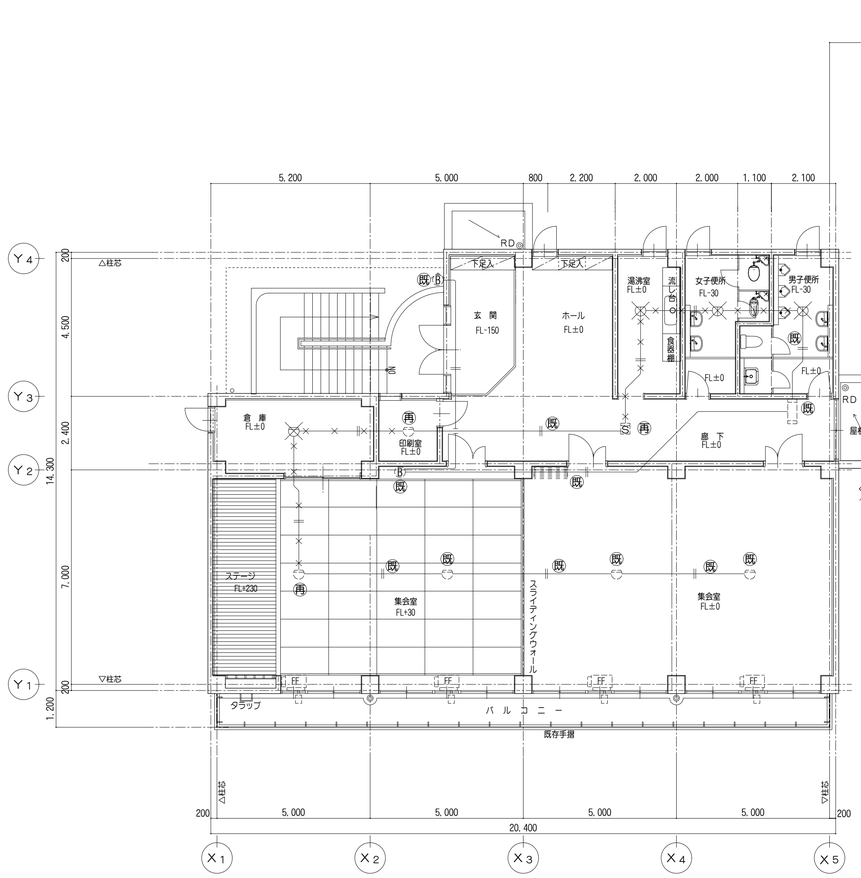
工事名称　平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事
図面名称　1階自動火災報知設備図（改修後）
設計年月日　2015.06/**

図面番号　E・10

凡　例

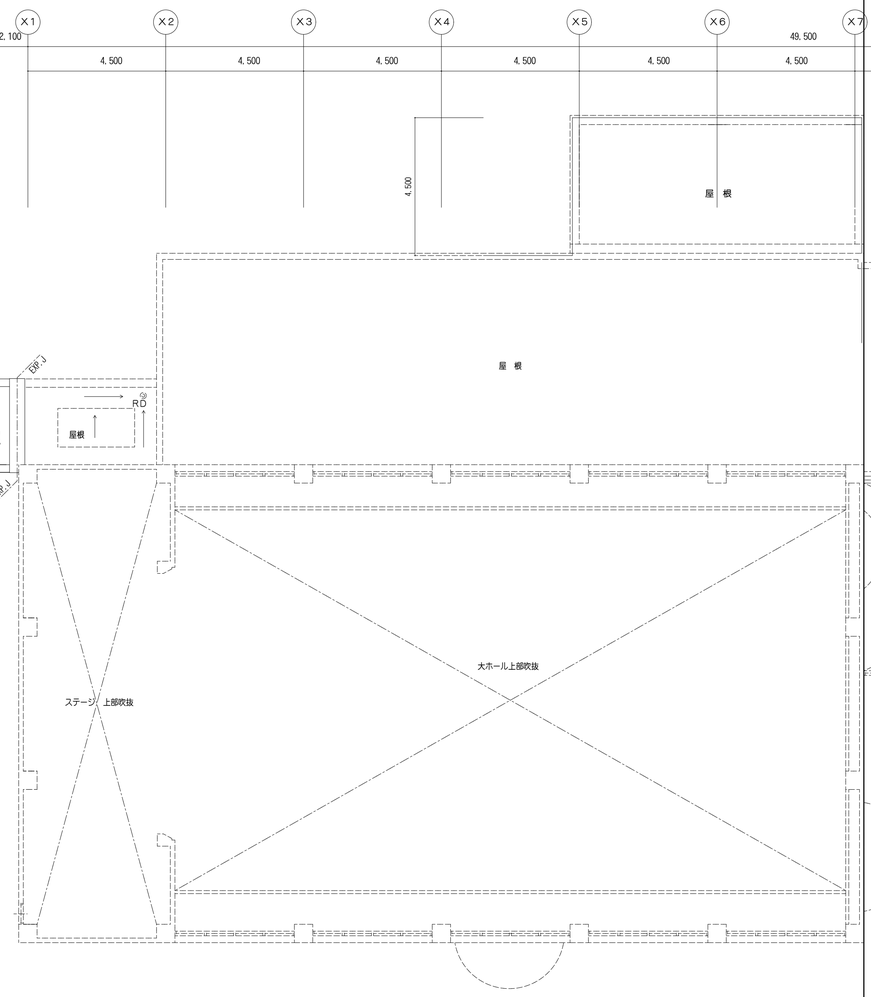
1. 配線凡例		
	AE1.2mm-2C（19）：ｹｰﾌﾞﾙのみ撤去	
既	AE1.2mm-3C（19）：既設再使用	
既 S	既設差動式スポット感知器	（既存のまま）
再 S	既設煙感知器	（取外再取付）
再 S	既設差動式スポット感知器	（取外再取付）
× S	既設差動式スポット感知器	（撤去）
× S	既設定温式スポット感知器	（撤去）
既	既設機器収容箱	（既存のまま）
既 B	既設電鈴	（既存のまま）
既 防B	既設電鈴（防水型）	（既存のまま）

2. 共通事項
× 印の付いた電線及びケーブルは撤去とする。
再 印の付いた機器は取外再取付とする。
既 印の付いた機器は既存のままとする。



改修前　２階平面図　1/100

255.53m²



特記		
	・	
	・	
	・	
	・	

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury
(有) 冠設計（カムリ）

代表設計者 / 管理建築士：一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄

設計者 / その他の：

縮尺	工事名称	図面番号
A3:1/200 A1:1/100	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	E・１１
	図面名称：２階自動火災報知設備図（改修前） 設計年月日：2015.06/**	

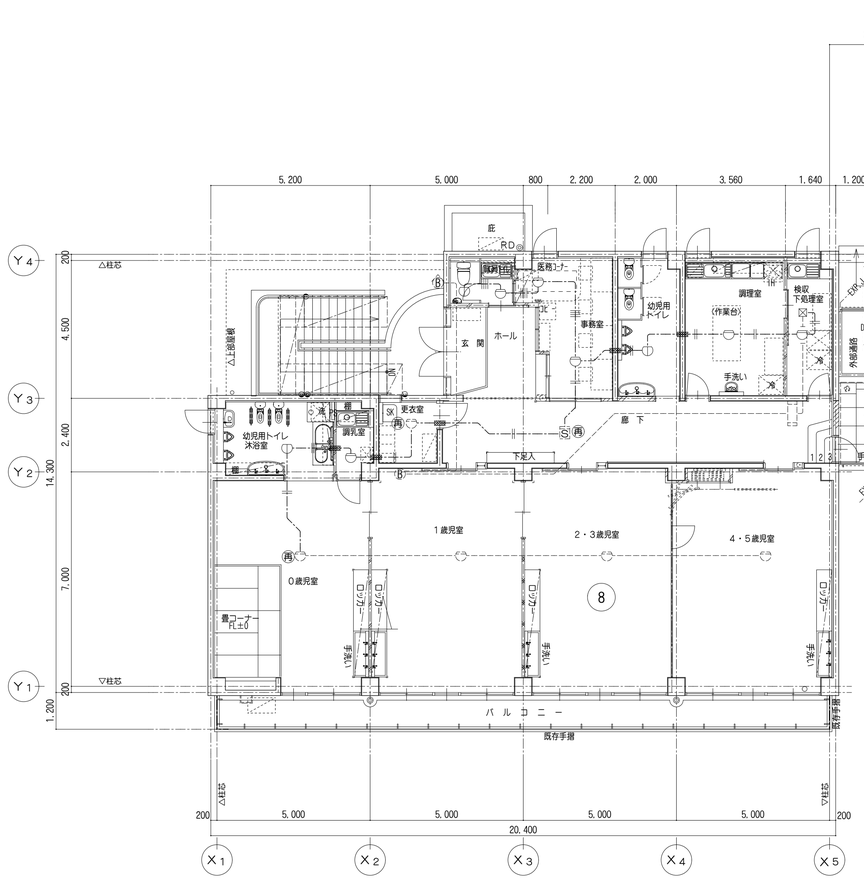
凡　例

1.配線凡例	
―――‖――――	EM-AE1.2mm-2C（天井内）：新設
―――‖‖――――	EM-AE1.2mm-4C（天井内）：新設
――――――――	既設配線（再使用）

◯	差動式スポット型感知器　2種 露出型	（新設）
◯	定温式スポット型感知器　1種　防水型	（新設）
◯	既設差動式スポット感知器	（既存のまま）
◯	既設定温式スポット感知器	（既設再使用）
(B)	既設電鈴	（既存のまま）
(B)	既設電鈴（防水型）	（既存のまま）
□	既設機器収容箱	（既存のまま）
再 S	既設煙感知器	（取外再取付）
再 ◯	既設差動式スポット感知器	（取外再取付）
▨	壁貫通補修共　100φ	

2.共通事項

(再) 印の付いた機器は取外再取付とする。



改修後　2階平面図　1/100

255.53m²

| | | |

機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成２７年度旧富ケ丘北部会館保育所改修工事

2．工事場所　富谷町富ケ丘三丁目一番３９８

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
富ケ丘公民館（保育所）	ＲＣ	2	300.525	525.70 2階（255.53）		2階改修

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び階別	工事種別							屋外
	2階保育所							
◎空気調和設備	新設一式							
◎換気設備	改修一式							
・排煙設備								
・自動制御設備								
◎衛生器具設備	改修一式							
◎給水設備	改修一式							改修一式
◎排水設備	改修一式							改修一式
◎給湯設備	新設一式							
◎消火設備	改修一式							
・厨房機器設備								
◎ガス設備	改修一式							
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								
・その他工事								

5．指定部分　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）（対象部分：　　）

6．概成工期　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）

7．設備概要　（　◎印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	◎ 空気調和　・　全空気方式　・　ファンコイルユニット，ダクト併用方式　◎ パッケージ方式 ・ 温風暖房　・　全空気方式　・　ファンコンベクター，ダクト併用方式 ・ 直接暖房　・　温水暖房　・
自動制御方式	・　電気式　・　電子式　・　デジタル式　・　空気式　・　中央監視制御
給水方式	◎　水道直結方式　・　高置タンク方式　・　タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（◎　分流式　・　合流式） 建物内の汚水及び雑排水（・　分流式　◎　合流式） 放流先　汚　水　◎　下水道直放流既設桝接続　・　浄化槽） 雑排水　◎　下水道直放流既設桝接続　・　浄化槽　・　側溝　・　別途桝）
給湯方式	◎　局所式　・　中央式
消火設備方式	・　屋内消火栓　（・　湿式　・　乾式）　・　連結送水管　・　屋外消火栓 ・　スプリンクラー　（・　湿式　・　乾式）　・　不活性ガス消火　・　泡消化 ・　粉末消火　・　連結散水　・　フード等用簡易自動消火
ガス設備方式	・　都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　◎　液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編、平成２５年版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編、平成２５年版）」（以下「標準仕様書」という。）、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編、平成２５年版）」（以下「標準図」という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２５年版）」による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に◎印のついたものを適用する。

（2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。○印のすべてがない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	◎ 営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２４年度版） ◎ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ◎ 宮城県建設工事共請・下請適正化要綱（平成２５年９月１日施行） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「廃棄施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド性状は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するこの旨明書料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④ 保　険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇　用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画（実施）書を作成し、監督職員に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録（ＣＯＲＩＮＳ）	請負額が５００万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（◎　１級　・　２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ◎　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　◎　熱絶縁施工（保温工事） ◎　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	・　別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水，及び請手続等の費用はすべて引渡まで請負者の負担とする。
	15．工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	⑯ 残土処理	・　構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積 建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（職数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。 ２ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出申管理表を、搬出を行う日毎に作成し、１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。
	⑰ 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務の該当　・　なし　・　あり（　　） （２）　冷媒回収義務は（　・　本工事　・　別途工事　） 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い、監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し、フロン類回収証明書を提出する。 ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に、特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。 （３）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　） （４）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分する。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※　なし　・　あり（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・　コンクリート（　　） ・　コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・　木　　材（　　） ◎　アスファルトコンクリート　（笹倉業急工業興仙台混合所　　富谷町上桜木2-5-1（3.0km）　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ◎　ガラス・陶器類　（ﾀｲﾝ仙台港資源センター　仙台市宮城野区蒲生2-2-1（20.1km）　） ・　木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　） 建設リサイクル法 ・　対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・　対象外工事
一般共通事項	⑱ 総合調整	※　本工事において契約の項目の総合調整を行い、報告書を提出する。　・　別途 総合調整の項目 ・　風量調整　◎　水量調整　◎　室内外空気の温湿度測定 ・　室内気流及びじんあいの測定　・　騒音の測定　◎　初期運転状態の記録 ◎　末端水栓の水質測定　・　浄化槽放流水質の測定 ・　機器の絶縁抵抗の測定　◎　水圧調整 測定箇所は、監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	20．耐震措置	機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し壁面に据え付け、取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。 設計用標準水平震度（Ｋｓ） 設置場所 ／ 特定の施設：重要機器 ／ 特定の施設：一般機器 ／ 一般の施設：重要機器 ／ 一般の施設：一般機器 上層階、屋上及び塔屋：２．０（２．０）／１．５（２．０）／１．５（２．０）／１．０（１．５） 中層階：１．５（１．５）／１．０（１．５）／１．０（１．５）／０．６（１．０） 一階及び地下層：１．０（１．０）／０．６（１．０）／０．６（１．０）／０．４（０．６）
	21．弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	㉒ 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　１．１．１　電線類等　表１．１．１電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ、ＥＭ－ＵＴＰ、ＥＭ－ＭＥＥＳ、ＥＭ－ＥＢＴ）
	23．溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス 検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・　放射線透過検査（ＲＴ）
	㉔ はつり	既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明け跡原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉕ 支持及び固定	（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （２）横走りダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。
	㉖ 支持金物・固定金具	（１）ボンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取りけける。 （２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 （３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持金具を使用する。
	㉗ 埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。 ・　根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の部）　◎　山砂の盛
	㉘ 地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。 屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 （１）給水管　◎　地中埋設標　◎　埋設用表示テープ （２）ガス管　・　地中埋設標　・　埋設用表示テープ （３）油　管　・　地中埋設標　・　埋設用表示テープ （４）消火管　・　地中埋設標　・　埋設用表示テープ
	㉙ 保　温	・　主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。 主機械室： ◎　ダクトの保温の外装は下記による。内装は（◎　ロックウール　◎　グラスウール） 屋内露出：倉庫・書庫　・　アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・　アルミガラスクロス　・ 主機械室　・　アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・　カラー亜鉛鋼板　・ 屋内隠ぺい、ＰＳ内　◎　アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所　・　ステンレス鋼板 （　　） ◎　配管の保温の外装は下記による。内装は（・　ロックウール　・　グラスウール　◎　ポリスチレンフォーム） 屋内露出：倉庫・書庫　・　アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・　アルミガラスクロス　・ 主機械室　・　アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　◎　合成樹脂製カバー　・ 屋内隠ぺい、ＰＳ内　◎　アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所　◎　ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・　アスファルトプライマー　・
	㉚ 塗　装	（１）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外露出　※　厨室 （２）保温を行わない厨室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。
	㉛ 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製線手類（砲金製非・銀手を含む）にはポリエチレン系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）
	32．山留め	切取り面にその面所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが１．５ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。
	㉝ 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
	34．他工事との取り合い	図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。
	35．再使用品の清掃	再使用する機器類は現場内で可能な法則による水洗等の清掃を行う。
	㊱ 火気の使用	建物内での火気の使用は原則として行わない。
	37．室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定対象室（　　）、測定箇所数（　　）
	㊳ 施工調査	◎下記によるほか、改修標準仕様書第１編１．５．１及び１．５．２による。 ・施工計画調査　◎事前調査 調査項目（・　・　）　調査範囲（◎　給水◎排水　）　調査方法（・　・　）
	39．アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。 アスベスト使用状況（　　）
	㊵ あと施工アンカー	（１）あと施工アンカー　※接着系アンカー　（接着剤は有機系とする） ※金属拡張系アンカー　（※本体打込み式　） （２）試験等　性能確認試験　※行わない　・行う 施工確認　※行う　・行わない 既設インサート及びアンカーボルトを　※使用しない　・使用する
	㊶ 既設インサート及びアンカーボルト	
	42．宮城県リサイクル製品利用促進について	・　認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。 （使用製品名　　使用場所：　　） ※　認定製品使用対象外工事ばが、利用の促進に努めること。
	43．施工条件	別添の施工条件明示書による。
仮設工事	① 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。 既設コンセントの使用　※　不可　・　可 既設給水栓の使用　※　不可　・　可
	② 養生	養生範囲（　　） 養生方法（　　）
空気調和・冷房・暖房設備	① 設計温湿度	屋内（開整目標値） 外気：温度(DB)　湿度(RH) 一般系統：温度(DB)　湿度(RH) 一般系統：温度(DB)　湿度(RH) コンピューター室系統：温度(DB)　湿度(RH) 夏期：31.8 ℃　62.7 %　／　２６℃　５０％　／　℃　％　／　２４℃　４５％ 冬季：−2.4 ℃　57.6 %　／　２２℃　４０％　／　℃　％　／　２４℃　４５％
	② 逆流防止	取付箇所は図示による。
	③ 煙　突	※　別途　・　本工事（鋼板厚　　ｍｍ、高さ　　ｍ以上）
	④ 煙　道	※　煙道径３００ｍｍ以下は鋼板厚３．２ｍｍ、３００ｍｍを超えるものは４．５ｍｍとする。　・　図示による。 （煙道径が４００ｍｍを超えるものには、掃除口に蝶番を取りけける。）
	⑤ ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
	⑥ 長方形ダクトの工法	・　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法　（・　共板　・　スライド）
	⑦ 風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	⑧ チャンバ	（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けける。なお点検口の大きさは図示による。 （３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	⑨ 防煙ダンパ	（１）復帰方式　※　遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下） （２）復帰動作　※　順逃り
	⑩ 配管材料	（１）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （２）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （３）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （４）油管、油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※　ポリエチレン外面被覆鋼管 （５）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管　※　配管用炭素鋼鋼管　・
換気設備	① 準拠事項	〔　空気調和　・　冷房　・　暖房設備　〕の当該事項に準ずる。 ◎　５　・　６　・　７　・　９　・　１８　・　２１
	② 開放形遠隔器排気ﾌｧﾝ	※　別途　・　本工事　・　既設
	③ 厨房用排気ダクト	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	④ 厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	⑤ 厨房用排気フード	（１）フード周囲の天井（フード面から天井面まで）　※　取り付けする　・　取り付けない （２）フードコック　※　取り付けする　・　取り付けない （３）材質（天蓋とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ４３０又はＳＵＳ３０４）
	⑥ 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５、４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。 （　　）
排煙設備	① ダクト	・　亜鉛鉄板製　・　鋼板製（１．６ｍｍ以上）
	② 排煙口の形式	・　可動羽根（スリット共）　・　可動パネル
	③ 排煙口開放装置	・　ワイヤー式　・　電気式（遠隔操作機能　・　要　・　不要）
	④ 排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	① 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	② 計装工事の配線	（１）屋外・屋内間の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。
衛生器具設備	① 大便器洗浄弁	◎　洗浄タンク方式　・　洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	② 便器洗浄用タンク	※　手洗なし　・　手洗付
	③ 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（　・　小便器一体型　・　小便器分離型）
	④ 器具付属水栓	固定こまて（節水こまて）とする。
	⑤ 自動水栓	※　電源供給方式（　※　ＡＣ１００Ｖ）　・　乾電池　・自己給電
	⑥ 温水洗浄便座加熱方式	・　瞬間式　◎　貯湯式
	⑦ 大便器耐火カバー	設けう（ピット内を除く）
給水設備	① 量水器	（１）親メーター　※　措用　・　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無） （２）子メーター　※　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）
	② 量水器例	（１）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５７） （２）子メーター用　※　標準図（機材５７）　・　水道事業者の指定品
	③ 配管材料	（１）一般用 ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・　塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ） ◎　ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　◎ＰＢ） ・ （２）土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む） ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ （３）屋外土中用 ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・　ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ） 〃　（ＨＩＶＰ） ◎　ポリエチレン管 ・　水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・
	④ 不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・　合成樹脂製　）
	⑤ 弁　類	（１）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・　水道事業所の規定による　Ｋ （２）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付けける弁類は、ステンレス製とする。
	⑥ 給水栓	（１）屋内（　※　一般水栓　・　耐寒水栓　）　（２）屋外（　※　耐寒水栓　・　一般水栓　） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	⑦ 埋設深さ	（１）一般敷地内（　０．４５ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　　ｍ以上） （３）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）
	⑧ 保　温	（１）量水器例内の保温を行う。 （２）屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし 厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ、呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	⑩ 水道加入金等	水道加入金　◎　要（・　本工事　◎　別途　）　・　不要 ・　その他（　　）
	11．ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０Ａ以下　ＳＵＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ａ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
	⑫ その他	給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし、器具接続部分を除く。
排水設備	① 配管材料	（１）屋内汚水管 ・　排水用塩ビライニング鋼管 ・　排水用鉛管 ◎　ビニル管（ＶＰ） ◎　耐火二層管（ＶＰ）屋内配管 （２）屋内雑排水管 ・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　排水用塩ビライニング鋼管 ◎　ビニル管（ＶＰ） ◎　耐火二層管（ＶＰ）屋内配管 （３）屋外土中汚水、雑排水管 ◎　ビニル管（ＶＰ） ・　ビニル管（ＶＵ） ・　ビニル管（再生ＶＵ） （４）土間配管用 ・　排水用塩ビライニング鋼管 （５）通気管 ・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　ビニル管（ＶＰ） ◎　耐火二層管（ＶＰ）屋内配管 （６）ポンプアップ排水管 ・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） 台所流し等の床上露出部分の排水管は、ビニル管でもよい。

排水設備	② 掃水桝	・　桝リストは図面番号（　　） （１）材料　・　ＲＣ　◎　硬質塩化ビニル　・　ポリプロピレン　・　ＳＣ （２）ふた　・　鋳鉄製（　・　ＭＨＡ　・　ＭＨＢ　・　ＴＢＡ　） ◎樹脂製
	③ グリース阻集器	（３）規格　・　下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・　排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ◎　市町村別基準（◎　有　・　無）
	④ 満水試験継手	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	⑤ 試　験	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
	⑥ 放流負担金等	◎　衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・　衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。
	⑦ 基礎材	・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
		※　再生クラッシャーラン
給湯設備	① 配管材料	・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・　耐熱性ライニング鋼管　・　銅管　・　被覆銅管 ◎　保温付被覆銅管　＜断熱管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	② 弁　類	給水設備の当該事項による。
	③ 温沸器の沸気筒	厚さ０．５ｍｍ以上のステンレス鋼板製とする。
	④ 保　温	温沸器の給排気筒（二重管）のレベベい部保温を行う。（ｈ・（◎・Ｘ）
	⑤ ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０Ａ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ａ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
消火設備	① 配管材料	（１）一　般　（２）地中埋設部 ・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）　・　〃　（ＳＧＰ－ＰＳ） ・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （３）二酸化炭素用 ・　圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	② 屋内消火栓種別	・　易操作性１号消火栓　・　２号消火栓
	③ 消火栓開閉弁	・　ＪＩＳ１０Ｋ　・　ＪＩＳ２０Ｋ
	④ 保　温	（１）屋外露出管については給水管に準ずる。 （２）充水タンクの保温　・　施工しない　・　施工する （３）消火配管の保温　屋内消火栓　・　施工しない　・　施工する スプリンクラー　・　施工しない　・　施工する
	⑤ 消火器類	（１）消火器　種別（◎）数量（　ＡＢＣ１０形　３本　） （２）消火器収納箱　仕様・　材質・　数量（　　）
厨房機器設備	① 厨房機器類	（１）図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は参考とする。 （２）厨房機器据付基礎は、標準図施工７４による。
ガス設備	① 配管材料	（１）一般　（２）地中埋設部 ※　配管用炭素鋼鋼管（白）　※　ポリエチレン被覆鋼管 ・　ガス事業者の規定による　・　ガス事業者の規定による ・　・　ガス用ポリエチレン管 ・　・
	② 都市ガス	（１）ガスメーター 親メーターは ガス事業者の設置、子メーターは本工事
	③ 液化石油ガス	（２）引込み負担金　・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
	④ ガス漏れ警報器	（１）ガスボンベ　※　借用　・　買い取り　（　・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　・５０ｋｇ　本　） （２）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （３）集合装置　・　標準図（施工７２）による（　・　本組） （４）転倒防止等　・　標準図（施工７３）（・（ａ）・（ｂ））・ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・　容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	⑤ 埋設深さ	図示の場所に取付ける　（　・　分離形　・　一体形　）　・　別途電気工事 外部出力端子　（　・　あり　・　なし　）
	⑥ その他	（１）一般敷地内（　　ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　　ｍ以上） （３）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
		配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版） （作成は、また６請負業者が、他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	１部	７ 工事写真 ①工事施工写真 ②完成写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は、履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。 Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	１部 １部
２ 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版 （４機種完成図、５取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが、厚さを８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部	８ 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り） １部は設備課保管	２部	９ 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
④原図 ⑤完成図書電子データ	三つ折りケース収納 JWW又はDXF形式のCADﾃﾞｰﾀもしくはPDF形式	１部 CD １枚	10 工事に関する承認確認書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１式
３ 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は、完成図の二つ折り製本と合本可）	１部	①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ		
②原図	三つ折りケース収納	１部			
４ 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２ 完成図と合本可）	１部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
５ 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２ 完成図と合本可）	１部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②環境試験成績書 ・工事別試験報告書 総合運転および試験報告書		１部
６ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部			

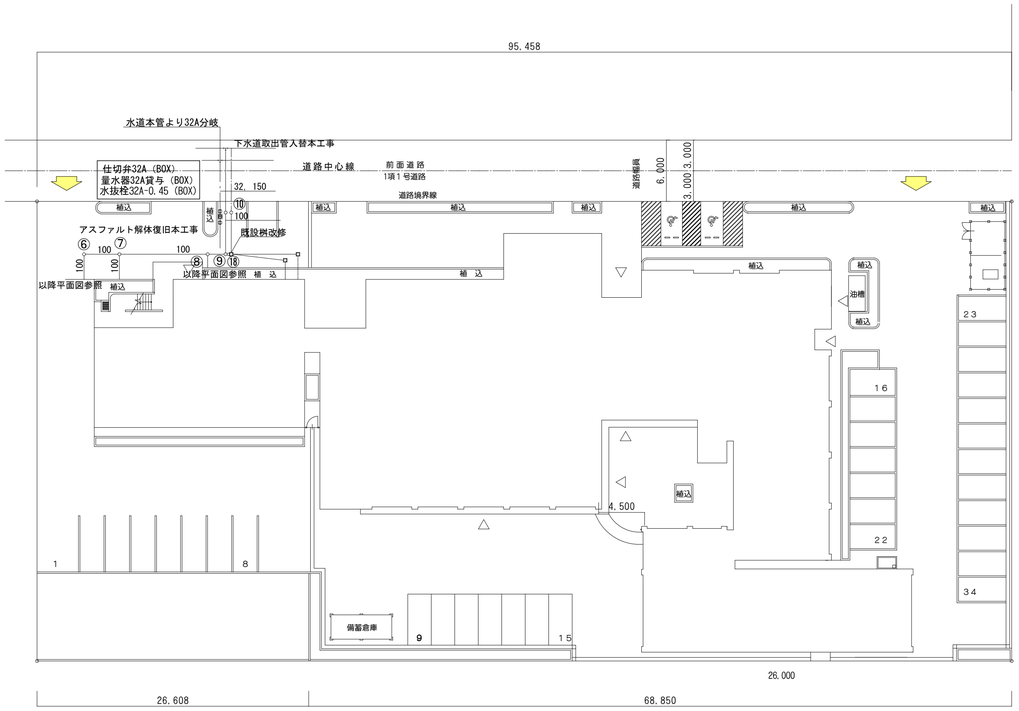
注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

特記	・	
	・	
	・	
	・	

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury　㈲ カムリ 冠設計

代表設計者 管理建築士　一級建築士 第１７３１０８号 関内



桝 リ ス ト

桝番号	桝種別	桝 仕 様 深 さ	
①	塩 ビ 桝	90L 100-150 -300 T-8	
②	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -390 T-8	
③	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -440 T-8	
④	塩 ビ 桝	90L 100-150 -710 T-8	
⑤	塩 ビ 桝	ST 100-150 -820 T-8	
⑥	塩 ビ 桝	90L 100-150 -860 T-8	
⑦	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -900 T-8	
⑧	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -970 T-8	
⑨	塩 ビ 桝	90WY 100-150 -1,050 T-8	
⑩	塩 ビ 桝	-1,100	公 設 桝
⑪	塩 ビ 桝	90L 100-150 -300	
⑫	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -350	
⑬	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -380	
⑭	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -440	
⑮	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -470	
⑯	塩 ビ 桝	90L 100-150 -300	
⑰	塩 ビ 桝	90Y 100-150 -350	
⑱	塩 ビ 桝	DR -400⇒1,000 T-8	

衛生器具リスト

名 称	記 号	仕 様 付 属 品	計	職員トイレ	幼児用トイレ	調理室	検収下処理室	幼児用トイレ沐浴	調乳室	更衣室	0歳児室	1歳児室	2・3歳児室	4・5歳児室	備 考
洋 風 大 便 器	CS230B	SH230BA 温水洗浄便座（貯湯式） YH40S 付属品一式	1	1											
幼 児 用 大 便 器	CS310B	S300BK YH40S 付属品一式	2					2							
幼 児 用 て す り	YYB10P2R	付属品一式	3					3							
幼 児 用 大 便 器	CS300B	S300BK YH40S 付属品一式	2		2										
幼 児 用 小 便 器	U310GY	T601PX 付属品一式	4		2			2							
幼 児 用 マルチシンク	SKL300LMAP	HK300k2 付属品一式	2		1			1							
幼 児 用 バ ス	PFS1400CBN	付属品一式	1					1							
汚 物 流 し	SK35	平付ロータンク T130AR013 付属品一式	1					1							
洗 面 器	L260C	水栓 止水栓 トラップ 付属品一式	1							1					
手 洗 器	L30DM	水栓 止水栓 トラップ 付属品一式	1			1									
手 洗 器	LSL870AP	水栓 止水栓 トラップ 付属品一式	1	1											
化 粧 鏡	耐食鏡	≒450×600	3	1		1				1					
化 粧 鏡	耐食鏡	≒300×450	18		3			3			3	3	3	3	
水 栓	TL106AQR		12								3	3	3	3	
湯水混合栓	泡沫自在	シングルレバー 13A	2			1	1								
洗濯機パン	900×640	トラップ付	1					1							
洗濯機用水栓	TW11R	緊急止水弁付	1					1							
電気温水器 EHW1	飲料用	貯湯量 35L 2.0kw（1Φ200V） 付属品一式 （REW35C22BH TOTO相当）							1						
電気温水器 EHW2	飲料用	貯湯量 12L 1.1kw（1Φ100V） 水栓T335D 付属品一式 （REK12ACN TOTO相当）		1					1						
ガス給湯器 GHW1	屋内設置形	FF式 16号 LPG消費量34.9kw 電源1Φ100V 給排気管 給排気トップ 付属品一式	1			1									

特記
・
・
・
・

一級建築士事務所
宮城県知事登録
第106100032号

Camury
(有) 冠設計（カムリ）

管理建築士 代表設計者 一級建築士 第173108号 関内重雄

その他の設計者

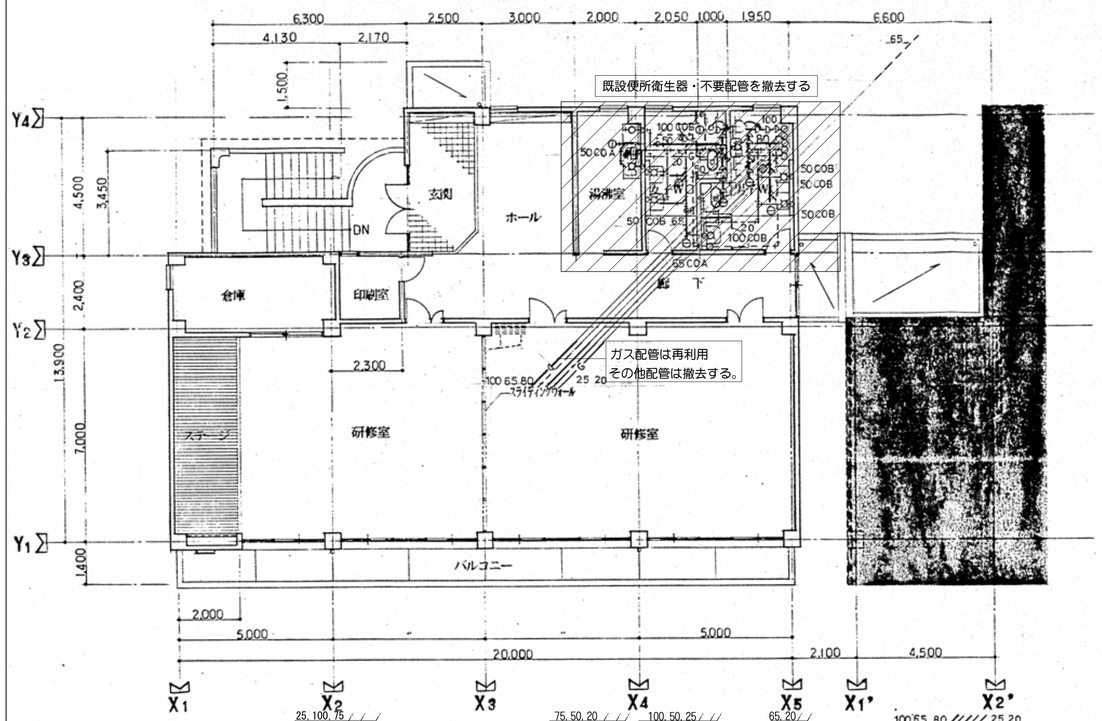
縮尺
A3:1/400
A1:1/200

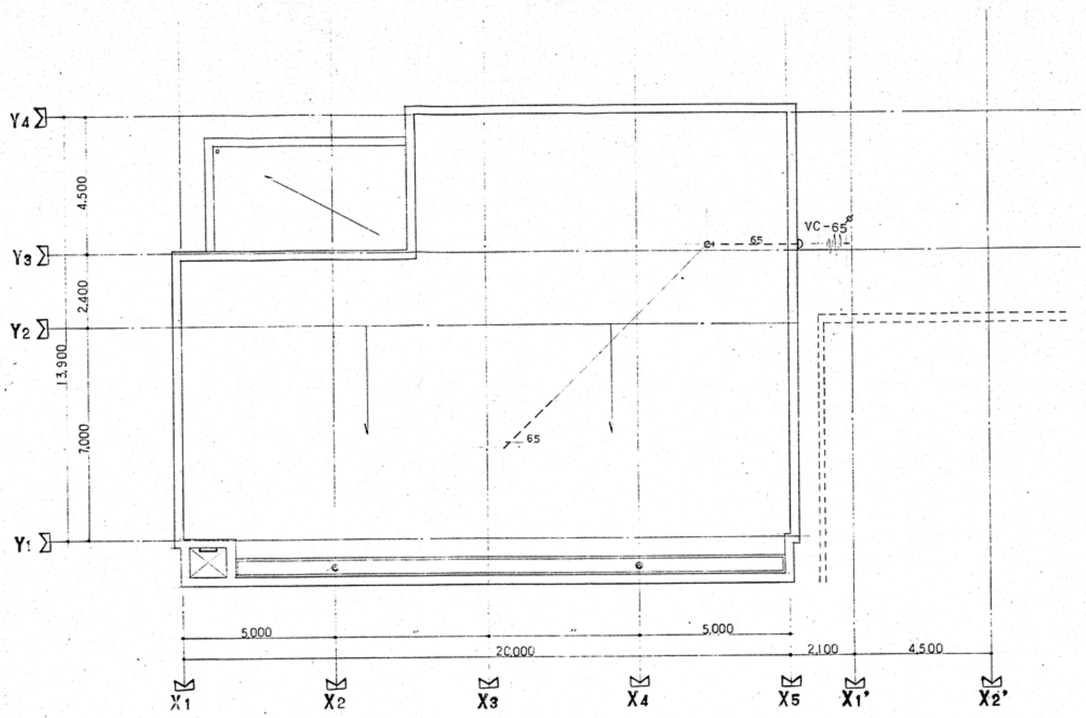
工事名称 平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事

図面名称 配置図・桝リスト・衛生基部リスト

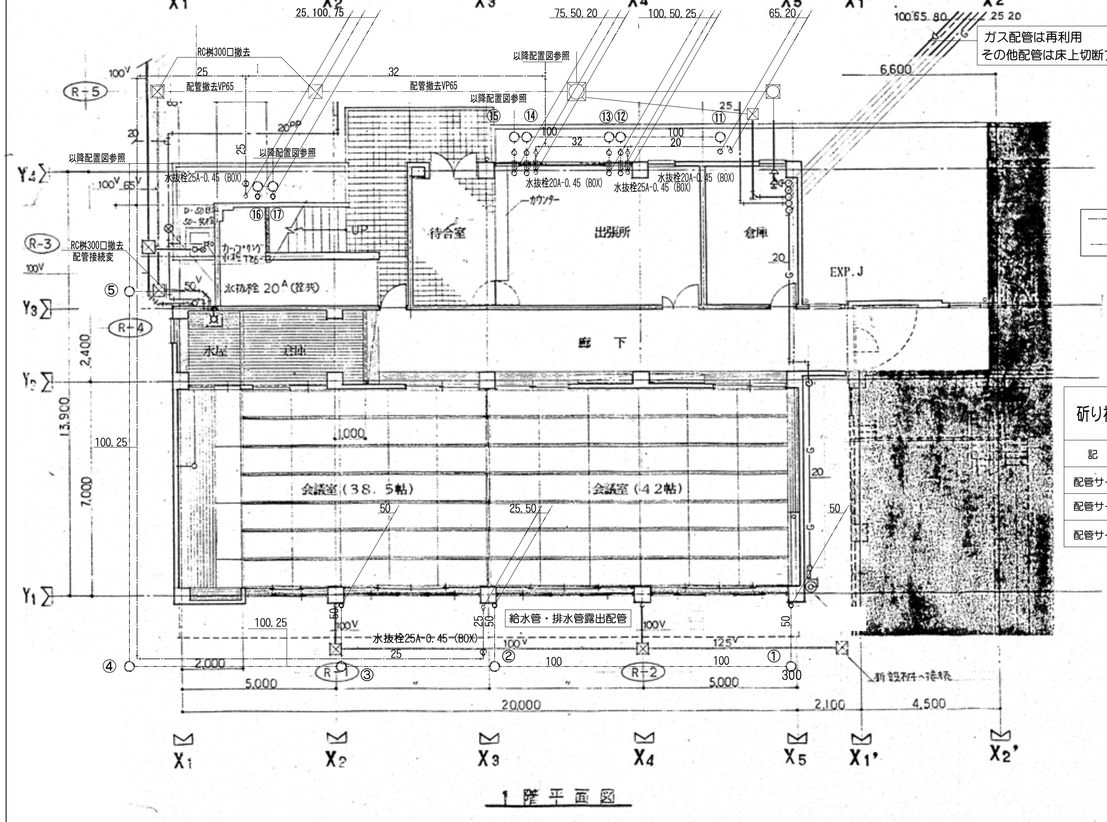
設計年月日 2015.06/**

図面番号 M・02





R 階 平 面 図



1 階 平 面 図

衛生器具表

2階衛生器具を撤去

器具表	型式及主要附属品	1階水屋	男子便所	女子便所	湯沸室	屋外		数量
和風大便器	C-375VFS-570S TS-570MN52T-53FWA75		1	1				2
洋風大便器	C-14S-570S TC-262N TS-570MN38 TS-53WN			1				1
小便器	U-308 T-62T-64FWN T-61B		3					3
個上洗浄装置	S-409B A-113 TS-409Z3		1					1
洗面器	L-250D T-205 T-4AT-6P T-9R		2	2				4
鏡	TS-119AS5		2	2				4
掃除用流し	SK-22A T-25AE20 T-37SN TK-22T-8R		1					1
自在水栓	T-30AR13				1			1
水栓	既設品移設	1						1
湯沸器	5号 元止式 LPG用				1			1
散水栓	T27-13 (屋外)					1		1
紙巻器	TS-116R		1	2				3
カウンター	T26-13					1		1
目皿	50~D					1		1
大便	50					1		1

斫り補修等(本工事)

▨ 個所及び床貫通部

記号	種類	寸法等
配管サイズ32A迄	機械斫り補修	50φ−150mm
配管サイズ65A迄		100φ−150mm
配管サイズ100A迄		150φ−150mm

排水桝表

記号	名称	寸法	マンホールカバー
S-1	汚水桝	350×320h	MHB
S-2	〃	〃×370h	〃
R-1	雨水桝	300×300h	MHB
R-2	〃	〃×400h	〃
R-3	〃	〃×250h	〃
R-4	雑水桝	〃×250h	〃
R-5	〃	〃×300h	〃
R-6	〃	〃×330h	〃
R-7	〃	〃×〃	〃

特記	・	
	・	
	・	
	・	

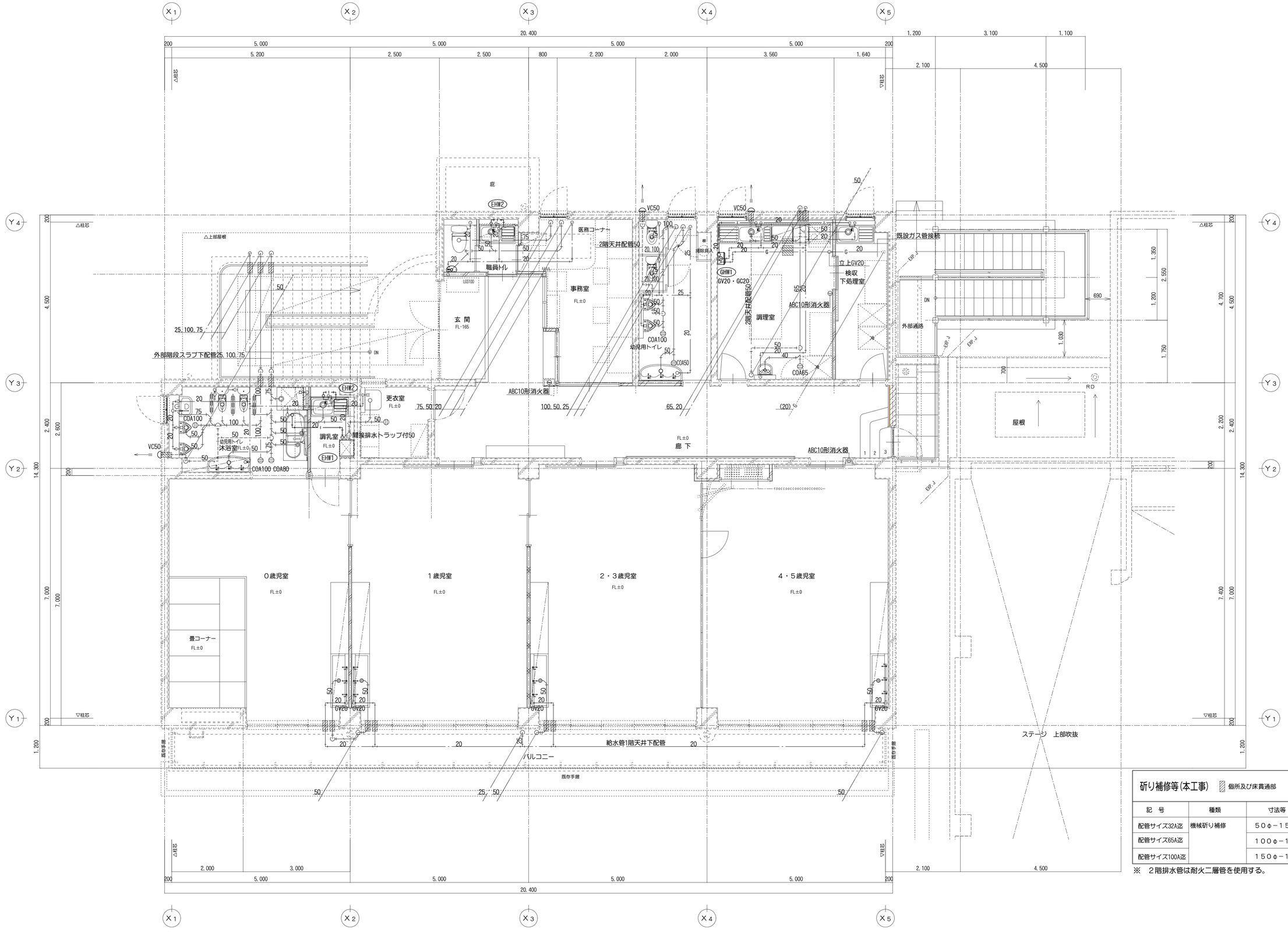
一級建築士事務所
宮城県知事登録
第10610032号

Camury (有) 冠設計 (カムリ)

管理建築士 代表設計者 一級建築士 第173108号 関内重雄

その他の設計者

縮尺	A1:1/200
工事名称	平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事
図面名称	給排水設備改修1・2階平面図
設計年月日	2015.06/**
図面番号	M・03



斫り補修等(本工事)　個所及び床貫通部

記 号	種類	▽法等
配管サイズ32A迄	機械斫り補修	50φ－150㎜
配管サイズ65A迄		100φ－150㎜
配管サイズ100A迄		150φ－150㎜

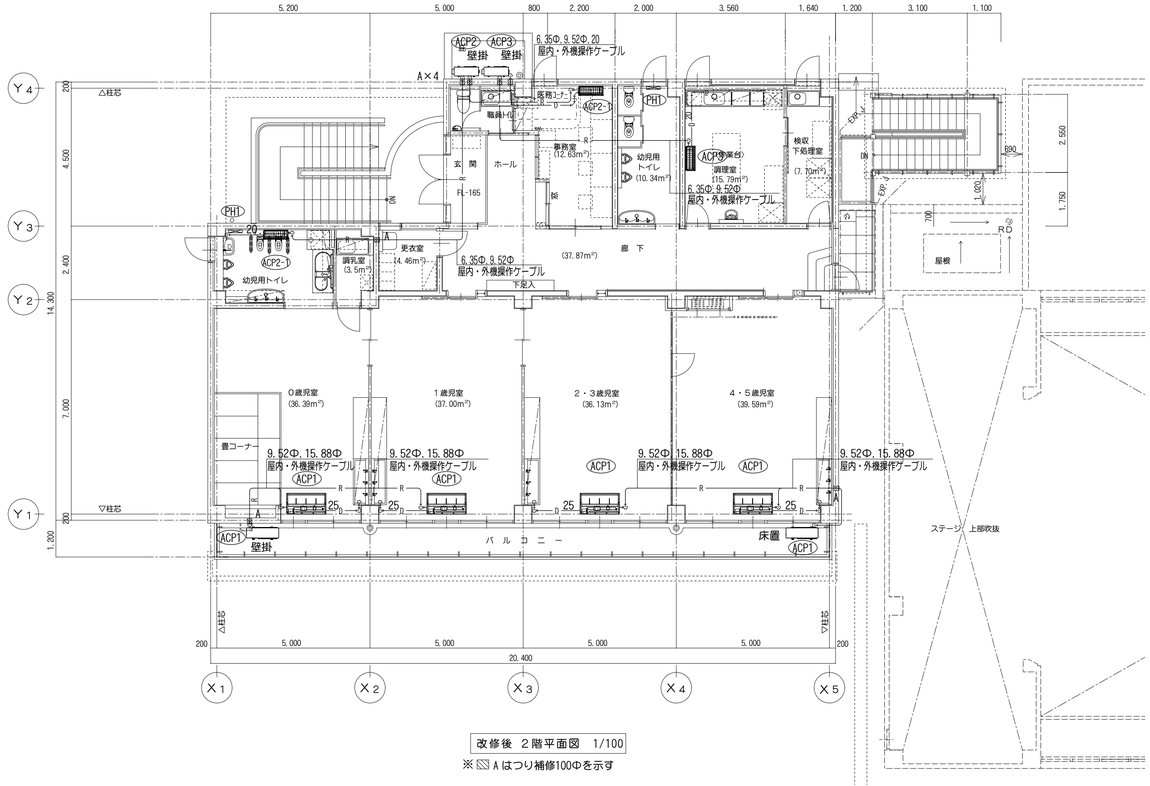
※　2階排水管は耐火二層管を使用する。

特記	・	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camurry	(有)冠設計（カムリ）	管理建築士	代表設計者 一級建築士 第１７３１０８号 関内 重雄	設計者 その他の		縮尺 A1:1/100 A1:1/50	工事名称 平成26年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事
	・									図面名称 改修後衛生設備　２階平面詳細図
	・									設計年月日 2015.06/**
	・									図面番号 M・04

機 器 表

記 号	機 器 名		機 器 仕 様	電気 容量Kw	電気 電 源	台 数
ACP1	空冷ヒートポンプパッケージ同時ツイン	架台付属	天吊露出形×２台 新冷媒対応品 （ＪＩＳ条件値） 室外圧縮機	3.1	3Φ200V	2
			冷房能力 １４．０Kw 暖房能力 １６．０Kw 室外送風機	0.06×2		
			ドレンアップ コントロールスイッチ共 室内送風機	0.095×2		
ACP2	空冷ヒートポンプパッケージ住宅用マルチ	架台付属	冷房能力 ５．２Kw 暖房能力 ６．２Kw 室外圧縮機	1.4	1Φ200V	1
			室外送風機	0.05		
		ACP2-1	壁掛露出形×２台 新冷媒対応品 室内送風機 冷房能力 ２．５Kw 暖房能力 ３．１Kw	0.04×2	1Φ200V	
ACP3	空冷ヒートポンプパッケージ	架台付属	壁掛露出形 新冷媒対応品 （ＪＩＳ条件値） 室外圧縮機	0.95	1Φ100V	1
			冷房能力 ３．６Kw 暖房能力 ４．２Kw 室外送風機	0.05		
			ドレンアップ コントロールスイッチ共 室内送風機	0.028		
PH1	電気パネルヒーター		暖房能力 １．０Kw サーモスタット（いたずら防止カバー付）	1.0	1Φ100V	2

※ 空気調和機屋内外操作ケーブル・電源線・リモコンケーブルは本工事にて施工する



改修後 ２階平面図 1/100

※ ▨ A はつり補修100Φを示す

機 器 表

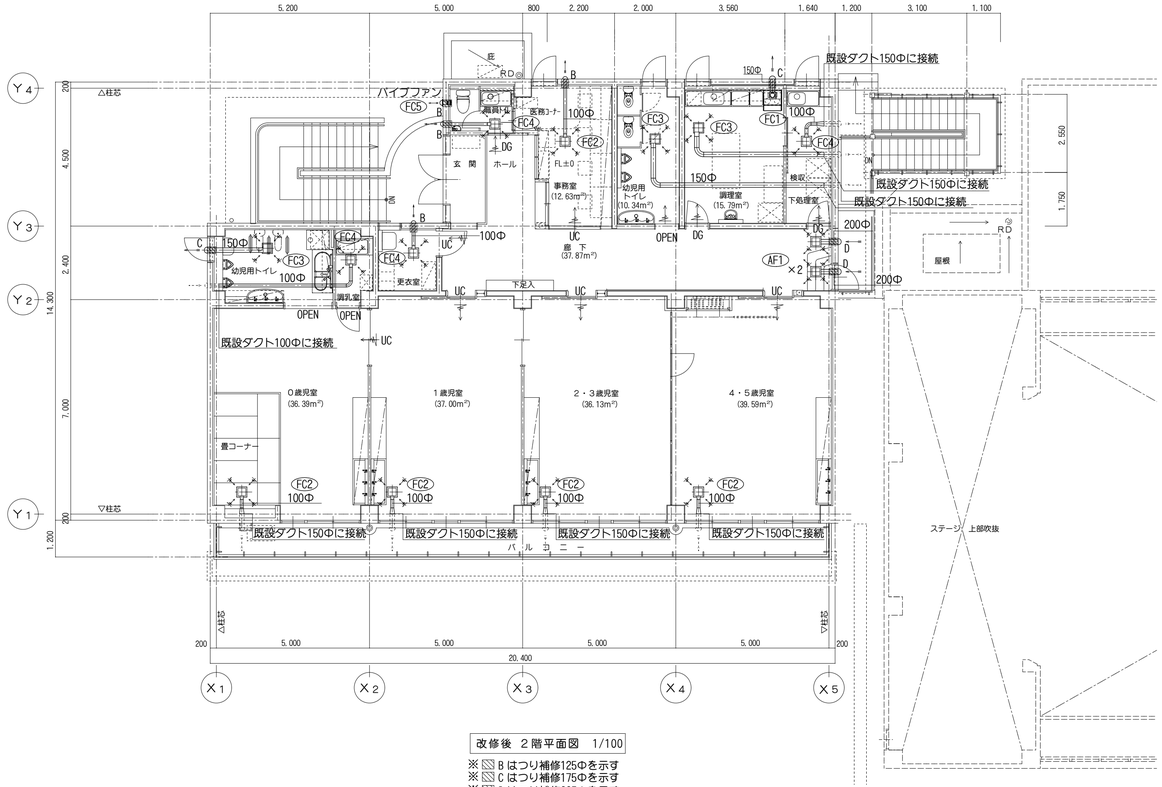
記 号	機 器 名		機 器 仕 様	電気 容量 W	電気 電 源	台 数
FC1	レ ン ジ フ ー ド		６００タイプ ３５０m3/h×４０pa 深形ＳＵＳベンドキャップ	50.0	1Φ100V	1
FC2	天 井 換 気 扇	２４時間換気	１５０Φ×１４０（６５）m3/h×４０pa ２４時間換気スイッチ 深形ＳＵＳベンドキャップ	14.0	1Φ100V	5
FC3	天 井 換 気 扇		２３０Φ×５００（２５０）m3/h×５０pa 強弱スイッチ 深形ＳＵＳベンドキャップ	74.0	1Φ100V	3
FC4	天 井 換 気 扇		１５０Φ×１４０m3/h×４０pa 深形ＳＵＳベンドキャップ	14.0	1Φ100V	4
FC5	バ イ プ フ ァ ン		１００Φ×６０m3/h×５pa 深形ＳＵＳベンドキャップ	4.6	1Φ100V	1
AF1	自 然 給 気 口		天井埋込グリルサイレンサー（ダクト200Φ用） 深形ＳＵＳベンドキャップ			2

換 気 量 計 算

室 名	面 積	天井高	容 積	２４時間 換気量計算 換気回数	必要換気量	設計換気量	機器 記号	備 考
	m2	m	m3	回/h	m3/h	m3/h		
０ 歳 児 室	36.39	2.66	96.80	0.5	48.40	60.0	FC2	第3種換気
１ 歳 児 室	37.00	2.66	98.42	0.5	49.21	60.0	FC2	第3種換気
２ ・ ３ 歳 児 室	36.13	2.66	96.11	0.5	48.06	60.0	FC2	第3種換気
４ ・ ５ 歳 児 室	39.59	2.66	105.31	0.5	52.66	60.0	FC2	第3種換気
事 務 室	12.63	2.47	31.20	0.5	15.60	60.0	FC2	第3種換気

火気使用室における必要換気量

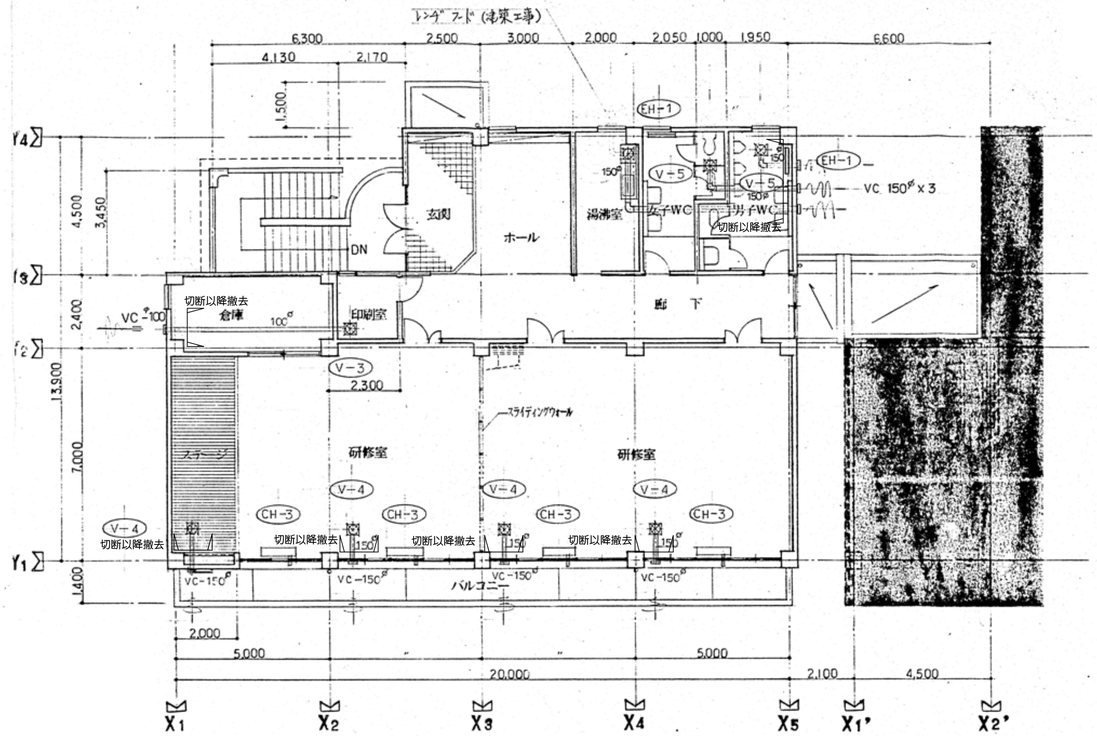
換 気 量 計 算 式		
室 名	LDK	
法 規	令第二十条の三	
計 算 式	V = 30・K・Q	m3/h
ガス消費量	Q = ｶﾞｽｺﾝﾛ二口＋ｸﾞﾘﾙ	8.6KW
理論廃ガス量	K = 0.93	m3/KWh
必要換気量	V = 240	m3/h
設計換気量	300	m3/h (FC1)



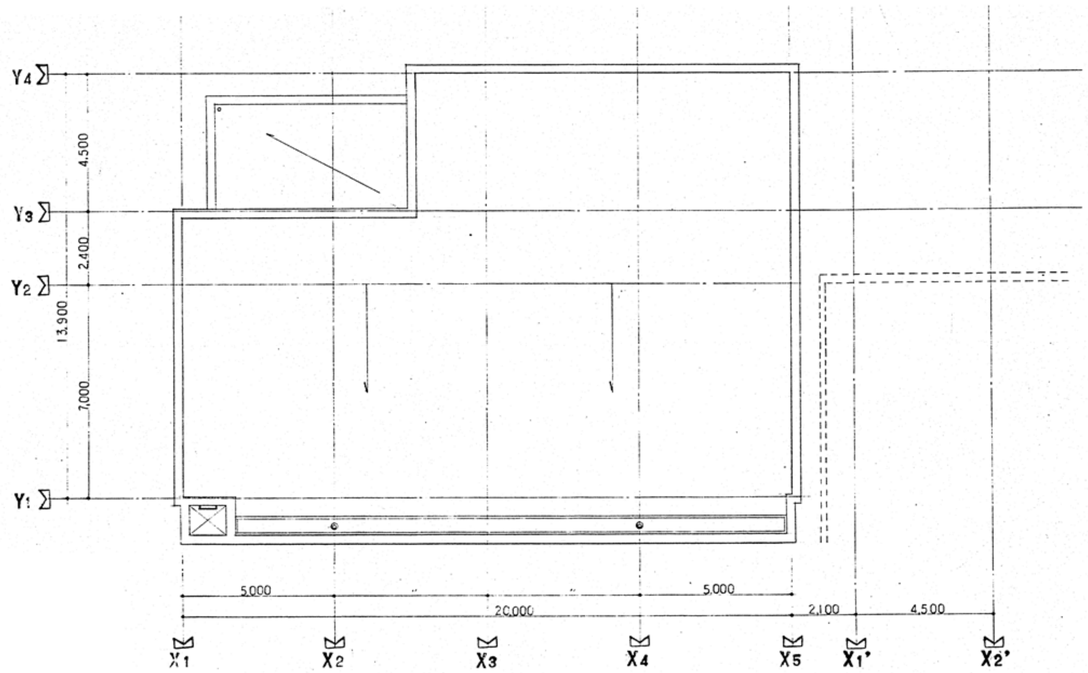
改修後 ２階平面図 1/100

※ ▨ B はつり補修125Φを示す
※ ▨ C はつり補修175Φを示す
※ ▨ D はつり補修225Φを示す

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	その他の設計者	縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号	M・05
	・									図面名称	改修後空調・換気設備 ２階平面図	設計年月日	2015. 06/**
	・												
	・												

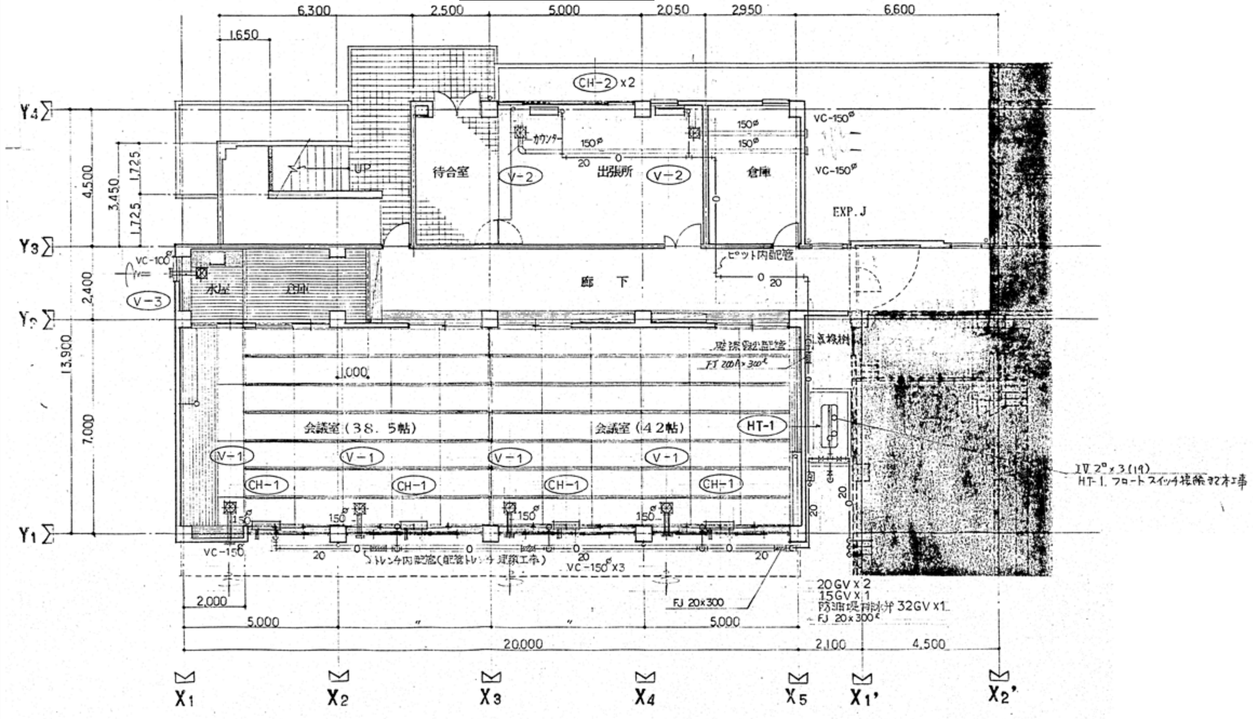


2 階 平 面 図



R 階 平 面 図

2階は保育所に改修する



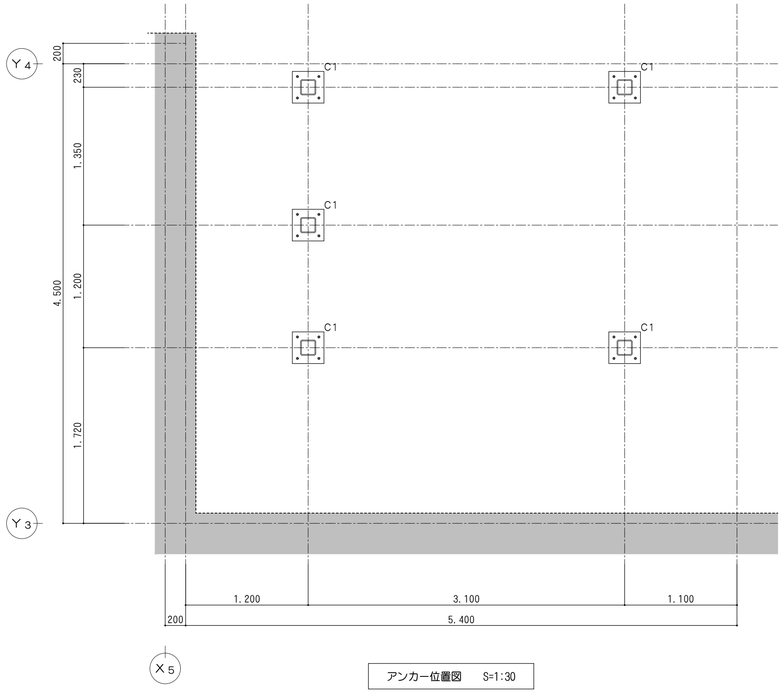
1 階 平 面 図

1階は現況を使用する

機器仕様表

記号	名称	型式仕様	数量	
CH-1	FF式ファンヒーター	灯油用 電気着火 ポット式 強制対流型 暖房能力6370kcal/hr～2610kcal/hr	4	
		燃料消費量0.84Lit/hr～0.36Lit/hr 附属品 排気ホース, エック ストレーナー共		
		電源1φ100V114W 附属品一式 防ご カバー共 FF-7000T7 相当		
CH-2	FF式ファンヒーター	灯油用 電気着火 ポット式 強制対流型 暖房能力4000kcal/hr～1720kcal/hr	2	
		燃料消費量0.54Lit/hr～0.24Lit/hr 附属品 排気ホース, エック ストレーナー共		
		電源1φ100V114W 防ご カバー共 FF-5000T7 相当		
CH-3	FF式ファンヒーター	灯油用 電気着火 カートリッジ式 暖房能力6370kcal/hr～2610kcal/hr ベースタンク	4+2	2階 4台取り外し再設置
		燃料消費量0.84Lit/hr～0.36Lit/hr 電源1φ100V114W FF-7000T7相当	防ご カバー共	
HT-1	貯油槽	屋外用 ホームタンク HT-K490型 外壁面ブラケット取付(SUS)	1	
EH-1	電気ヒーター	パネル式 1φ200V 500W	2	2階 2台撤去
V-1	天井換気扇	風量400m3/hr 1φ100V 40W VD-20ZX-G 相当	4	
V-2	〃	風量258m3/hr 1φ100V 18.5W VD-18ZA-W 〃	2	
V-3	〃	風量138m3/hr 1φ100V 13W VD-15ZX-G 〃	2	2階 1台撤去
V-4	〃	風量400m3/hr 1φ100V 46W VD-20ZX-W 〃	4	2階 4台撤去
V-5	〃	風量258m3/hr 1φ100V 18.5W VD-18ZA-W 〃	2	2階 2台撤去

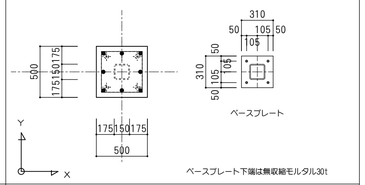
特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計 (カムリ)	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第173108号 関内重雄	設計者 その他の	縮尺 A3:1/200 A1:1/100	工事名称	平成27年度旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号	M・06
	・									図面名称	換気設備撤去平面図	設計年月日	2015.06/**
	・												
	・												



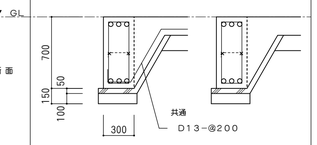
アンカー位置図　S=1:30

基礎柱リスト

＊基礎柱天端はＧＬ±０とする。

符号	C1
部材	□−１５０×１５０×９
断面	
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	BR−３１０×３１０×２２（ＳＳ４００）
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	４−Ｍ１６　Ｌ＝４８０（ＳＮＲ４９０Ｂ（ＡＢＲ４９０））ﾅｯﾄ
主　筋	８−Ｄ１９
ﾌｰﾌﾟ	Ｄ１３□@１００

地中梁リスト

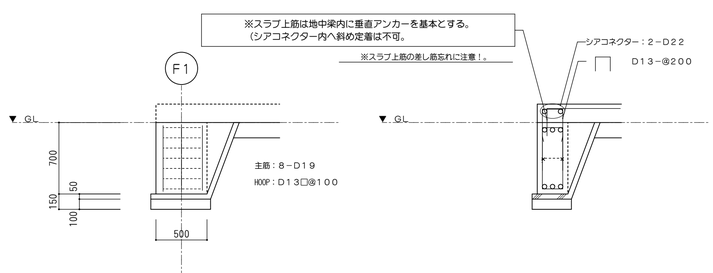
符号	FG1	
位置	端部	中央
断面		
上端筋	３−Ｄ２２	３−Ｄ２２
下端筋	３−Ｄ２２	３−Ｄ２２
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	Ｄ１３□@２００	
腹　筋	２−Ｄ１３	

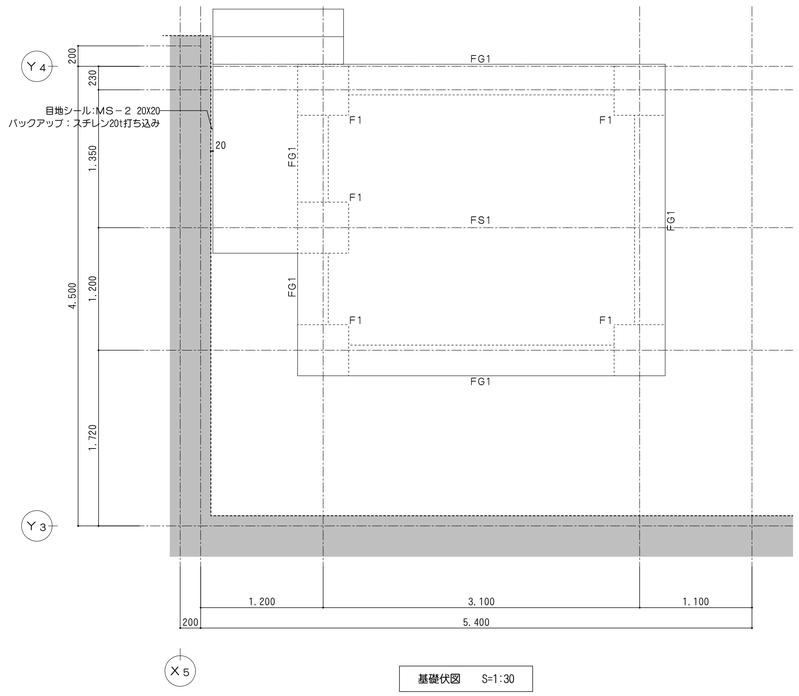
＊　腹筋は２−Ｄ１３@３００とし、幅止め筋はＤ１０@１，０００とする。
＊　Ｄ１６以下ＳＤ２９５Ａ。Ｄ１９以上ＳＤ３４５
＊　鉄骨、アンカーボルト：ＳＳ４００
＊　鉄骨、手摺り：溶融亜鉛メッキ　ＨＴＢ：Ｓ８Ｔ溶融亜鉛メッキ　ターンバックル、中ボルト：溶融亜鉛メッキ
＊　コンクリート：Ｆｃ２１＋Ｓ　N/mm2 SL-15

床版リスト

符号	TYPE	版厚	位置	短辺（主筋）方向			長辺（配力筋）方向		
				端部	中央	周辺部	端部	中央	周辺部
FS1	D	１８０	上端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
			下端筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200

基礎リスト





基礎伏図　S=1:30

特記		
	・	
	・	
	・	
	・	

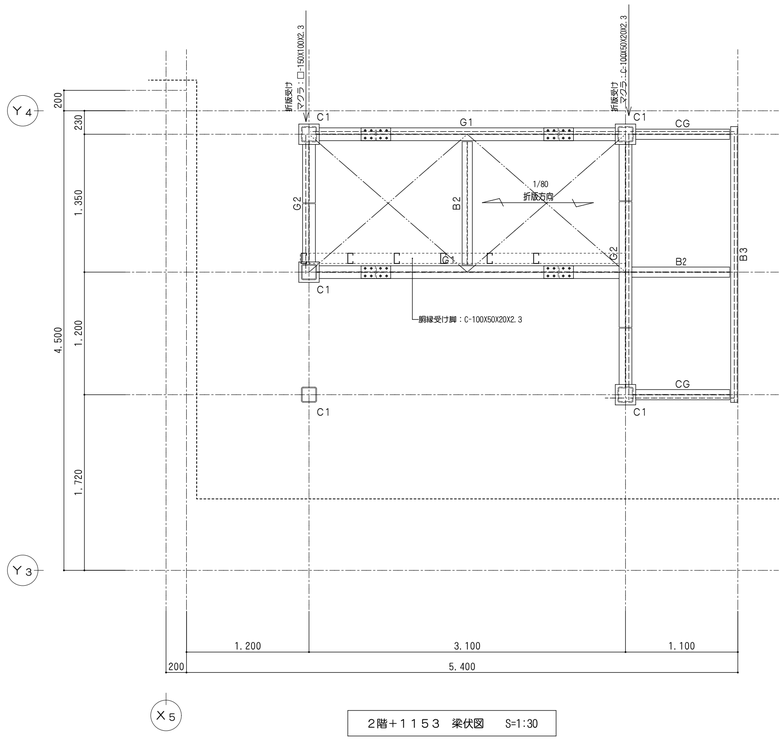
一級建築士事務所
宮城県知事登録
第１０６１００３２号

Camury
(有)冠（カムリ）設計

代表設計者
管理建築士
一級建築士
第１７３１０８号
関内重雄

設計者
その他の者

縮尺	工事名称	図面番号
A1:1/60 A1:1/30	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	S・０１
	図面名称：屋外階段　基礎伏図	設計年月日：2015.06/**



2階＋１１５３　梁伏図　S=1:30

柱部材リスト

柱	部　材	継　手	備　考
C1	□-150×150×9		

大梁部材リスト

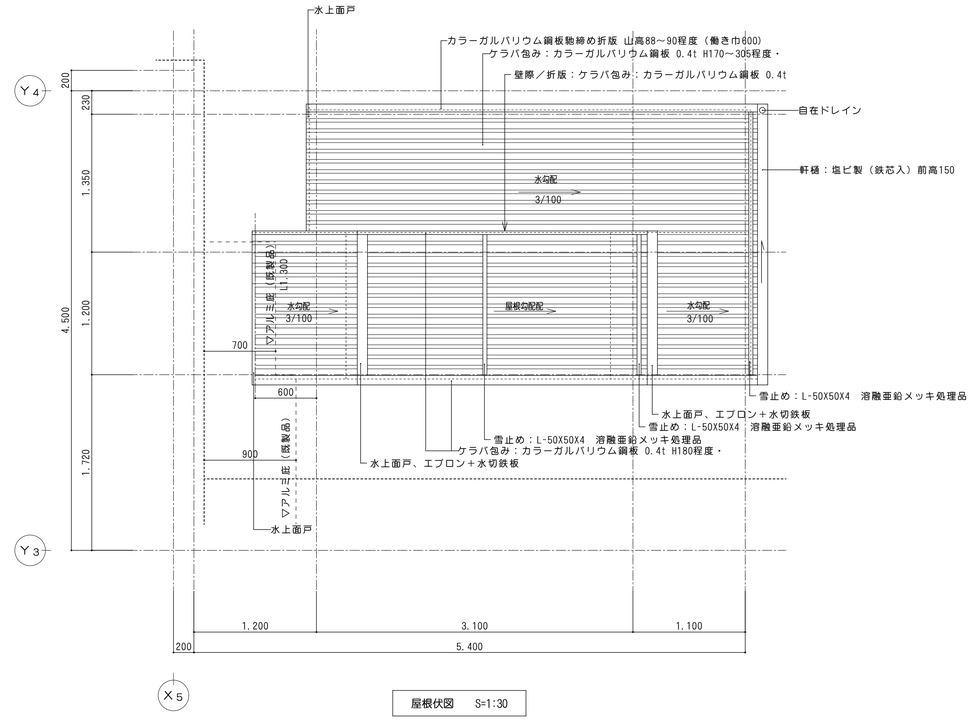
大梁	部　材	継　手	備　考
G1	H-250×125×6×9	GJ1	
G2	H-250×125×6×9	GJ1	
CG	H-200×100×5.5×8		

小梁部材リスト

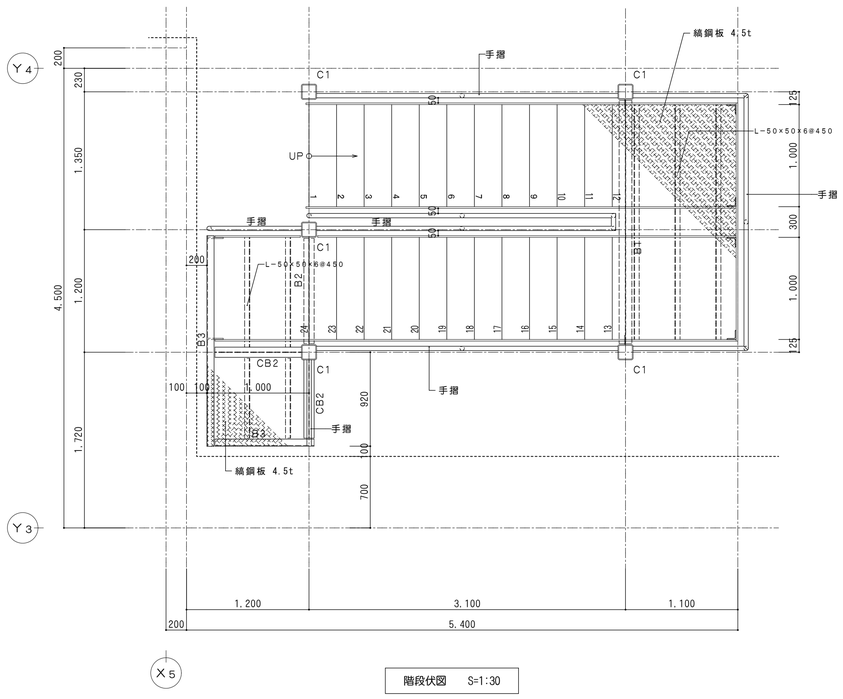
小梁	部　材	継　手	備　考
B1	H-250×125×6×9	BJ1	
B2・CB2	H-200×100×5.5×8	BJ2	
B3	[-200×70×7×10		
階段 ササラ桁	PL-16		
V	1-M16(ターンバックル付)	VJ1	
床板	縞甲板 4.5t		

鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ処理品

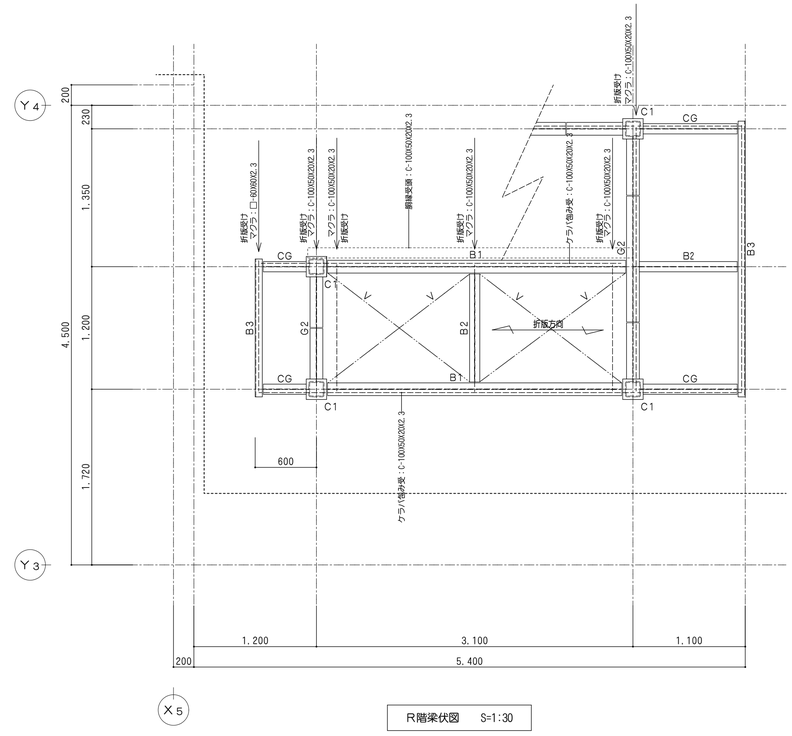
ＨＴＢ：Ｆ８Ｔ、鉄骨：ＳＳ－４００、ＳＴＫＲ４００

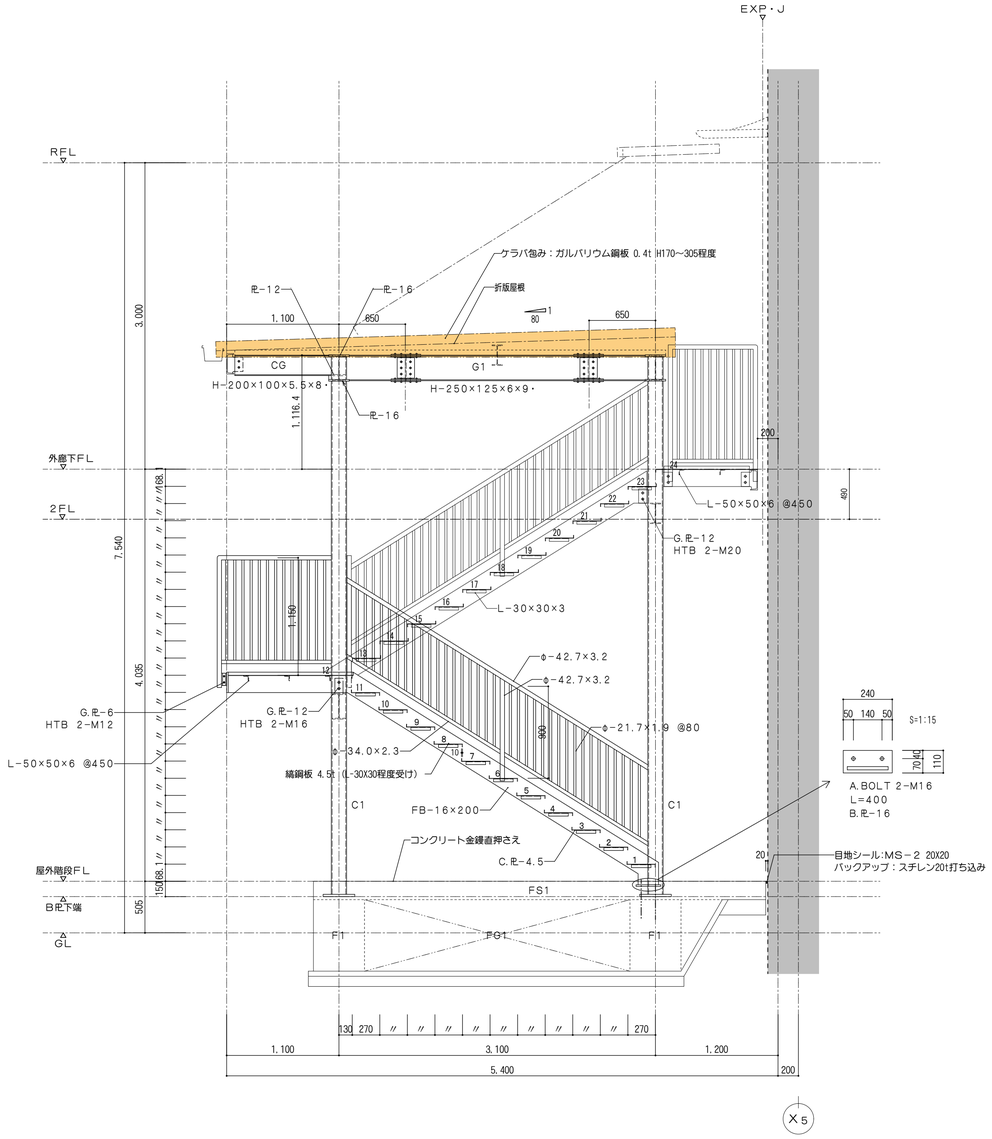


屋根伏図　S=1:30

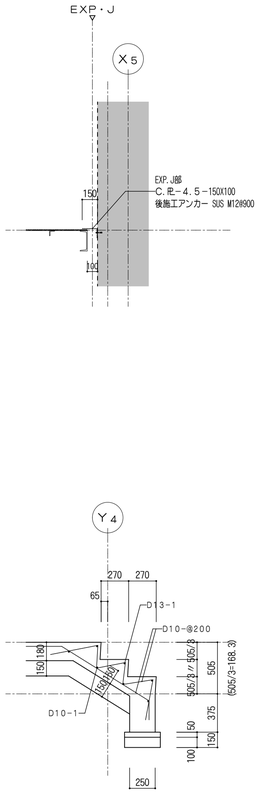


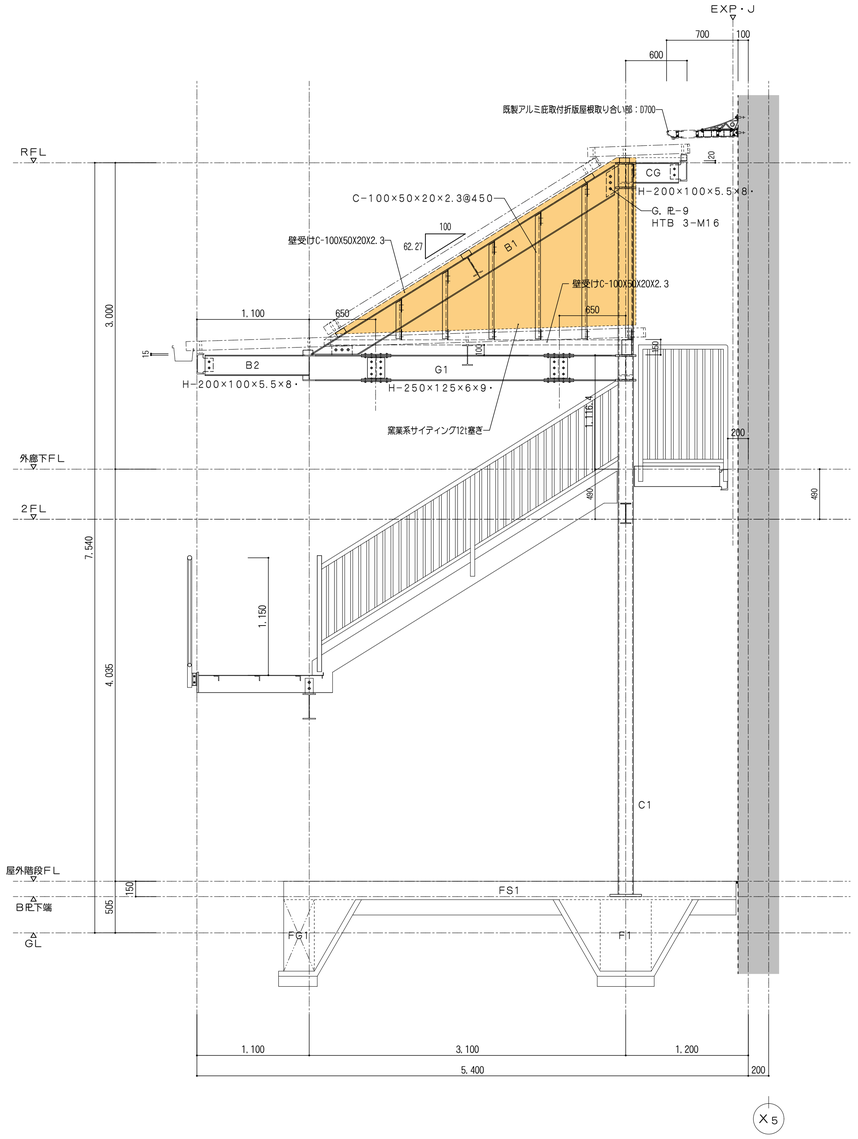
階段伏図　S=1:30


Y4
Y3
X5
折版受け
マクラ：C-100X50X20X2.3
折版受け
マクラ：□-150X100X2.3
折版受け
マクラ：C-100X50X20X2.3
折版受け
マクラ：C-100X50X20X2.3
折版受け
マクラ：C-100X50X20



Y４−２３０通り軸組図　S=1:30

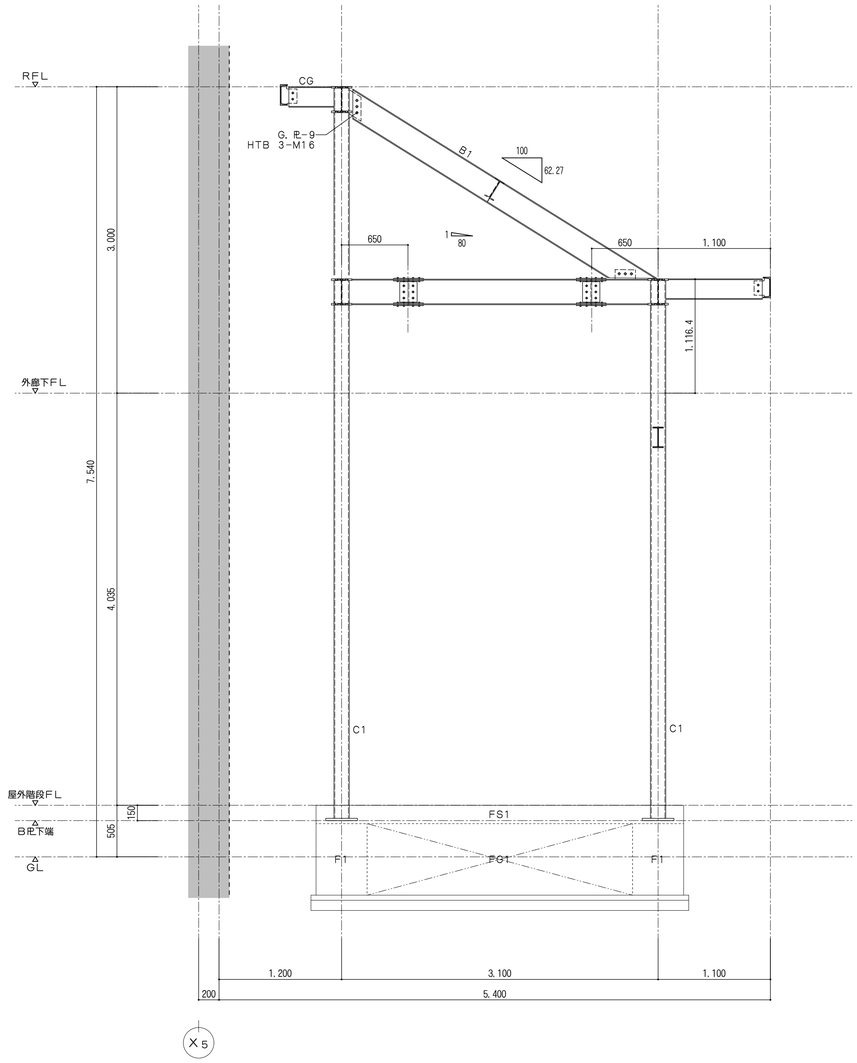




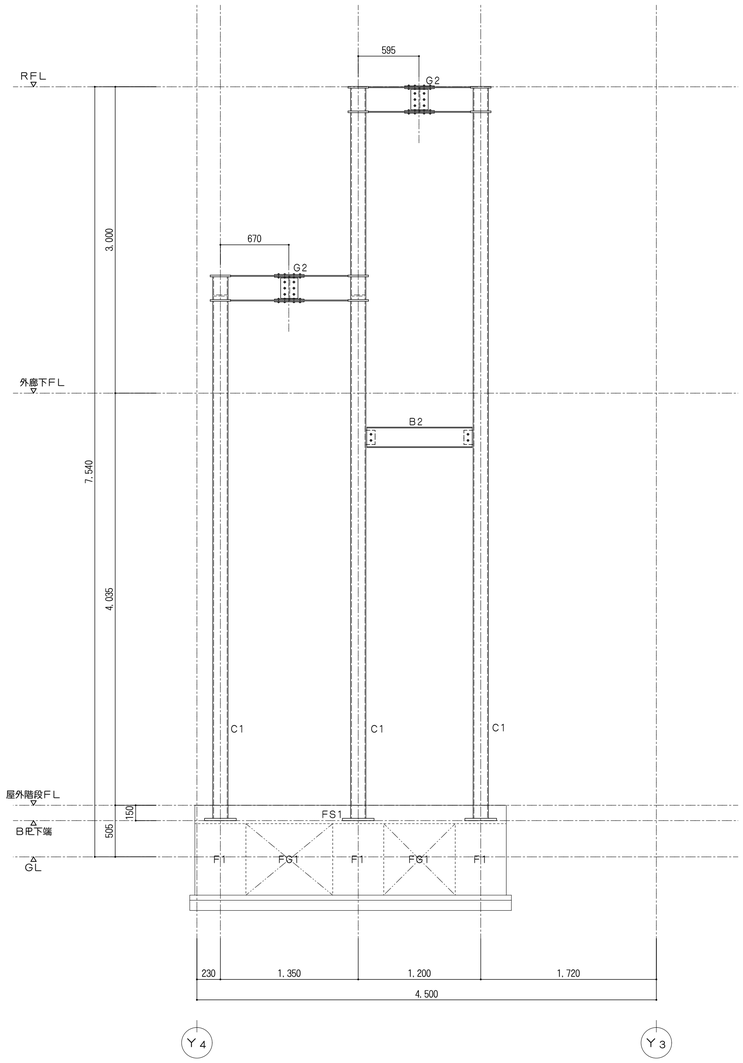
Y４＋１５８０通り軸組図　S=1:30

鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ処理品

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury	(有) 冠設計	管理建築士	代表設計者	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/60 A1:1/30	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号
	・											図面名称	屋外階段 軸組図１	S・０３
	・											設計年月日	2015.06/**	
	・													



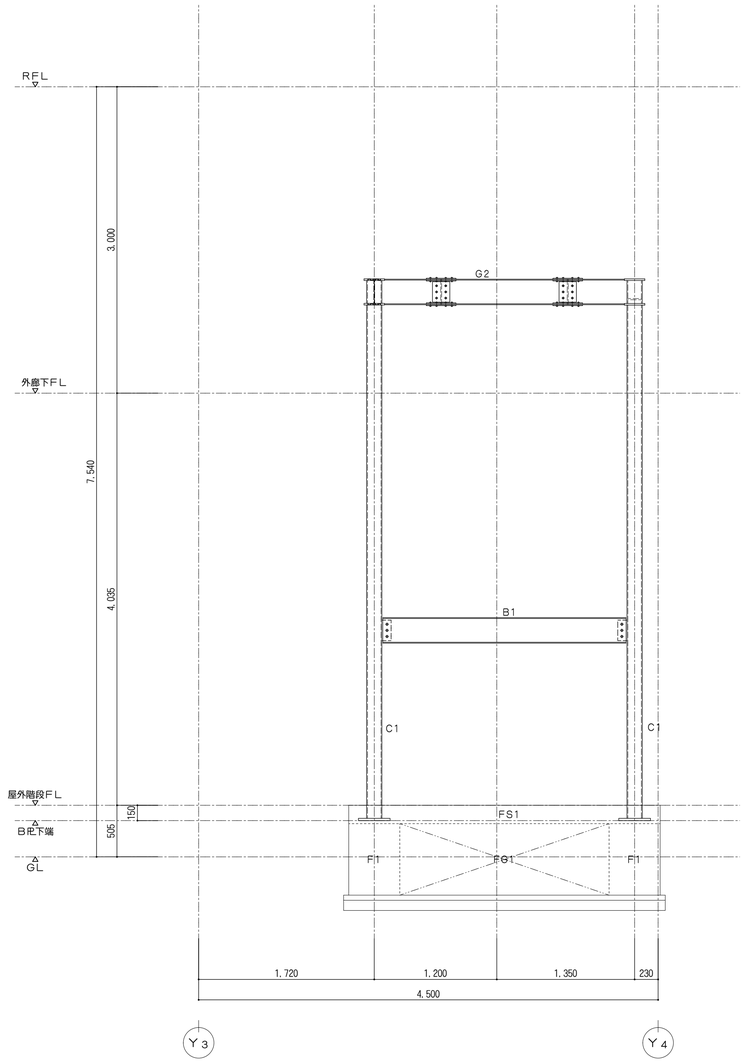
Y3＋1720通り軸組図　S=1:30



X5＋1400通り軸組図　S=1:30

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第106100032号	Camury	(有) 冠設計	代表設計者 管理建築士	一級建築士 第173108号 関内重雄	設計者 その他の		縮尺 A3:1/60 A1:1/30
	・									
	・									
	・									

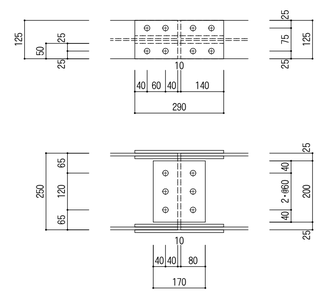
工事名称	平成27年度 旧富ケ丘北部会館保育所改修工事	図面番号 S・04
図面名称	屋外階段　軸組図2	設計年月日 2015.06/**



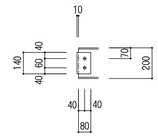
X5＋4500通り軸組図　S=1:30

継手リスト

GJ1	H−250×125×6×9		BJ2	H−200×100×5.5×8	
FLG	1 SE-9×125×290	HTB	FLG		HTB
	2 SE-9×50×290	4-M16×60			
WEB	3 SE-6×200×170	3-M16×50	WEB	GE-6	2-M16×45

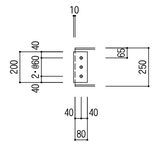


S=1:10

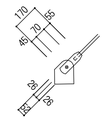


S=1:20

BJ1	H−250×125×6×9		VJ1	FB.B−16 PL-6×52×170	
FLG		HTB	GPL	N B PL-6	HTB
WEB	GE-9	3-M16×45			1-M16×45



S=1:20



S=1:20

鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ処理品
ＨＴＢ：Ｆ８Ｔ、鉄骨：ＳＳ−４００

特記	・		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第１０６１００３２号	Camury (有) 冠設計	管理建築士	一級建築士 第１７３１０８号 関内重雄	その他の設計者		縮尺	工事名称	平成27年度 旧富ヶ丘北部会館保育所改修工事	図面番号
	・								A3:1/60 A1:1/30	図面名称	屋外階段 軸組図３	S・05
	・									設計年月日	2015.06/**	
	・											